

# 福井城史料調査委員会

## 報告書

平成 25 年 3 月  
福井県・福井市

## はじめに

県と福井市は、2050年を見据えた県都のまちづくりの指針を示す「県都デザイン戦略」の柱の一つに、「歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都」を掲げました。具体策のひとつが、県都の新たな顔となる「福井城址公園」の整備です。城址と中央公園を一体化し、御門、櫓、天守閣等の復元や御座所の遺構活用等を進め、歴史を象徴し、人が集まる中心となる公園の整備を目指すこととしました。

そのため本委員会の調査では、福井城の復元を念頭に、福井城や福井藩に関する史料として、これまで一般に知られている福井県立図書館保管の「松平文庫」や福井市立郷土歴史博物館保管の「越葵文庫」などに加え、明治大学所蔵の「蘆田文庫」や個人所蔵の史料などについても、復元整備の観点から、史料を再度、収集、整理・分析いたしました。

調査にあたっては、福井県立図書館、福井市立郷土歴史博物館をはじめ、多くの機関・個人のご協力をいただきました。県民の皆さんにも情報提供を呼びかけたところ、2点の城下絵図が初めて確認されるなど、大きな成果を得ることができました。

今回の調査は、県都デザイン戦略を形にしていく第一歩です。本調査が、歴史の掘り起こしや積み重ねてきた歴史の理解、県民、市民の誇りにつながることを期待しています。また、福井城の復元整備を含め、今後、様々な形で、歴史と文化を感じる県都を実現し、次代へと受け継いでいくことに寄与できれば幸いです。

最後に、今回の調査、報告書出版にあたり、ご指導・ご助言や貴重な史料を提供いただいた皆様方に対し、心より感謝申し上げます。

平成25年3月

福井城史料調査委員会

委員長 仁科 章

# 例 言

1. 本報告書は、平成24年度に福井県および福井市が「県都デザイン戦略」の策定にあたり、歴史を活かした福井城址と中央公園の一体的整備を検討するため、福井城に関する歴史的史料を収集、整理・分析した成果をまとめた報告書である。
2. 本事業は、「福井城史料調査委員会」（事務局 福井県総合政策部政策推進課、福井市総務部政策調整室）が担当した。  
また、県財産・事務管理課および生涯学習・文化財課、市文化課等の関係課の協力を得て実施した。
3. 本報告書作成にあたっては、調査の概要、福井城諸施設の復元の参考となる史料のうち主要なもの、県民等から募集した古写真等、埋蔵文化財の調査結果を掲載した。
4. 遺構の発掘調査図・同写真は県埋蔵文化財調査センター、福井藩に関係する古絵図・文献・古写真等の資料は、松平宗紀氏、福井県立図書館 松平文庫、福井県立歴史博物館、福井市立郷土歴史博物館 越葵文庫、福井市春嶽公記念文庫、市行政管理室分室、明治大学 蘆田文庫、福井市白地図は市情報課から資料の提供や協力を受けた。特に考察の基本資料となる松平文庫は、松平文庫 福井県立図書館保管とすべきところを、資料掲載の際の煩雑を避けるために単に松平文庫と、越葵文庫 福井市立郷土歴史博物館保管を越葵文庫と、福井市春嶽公記念文庫を春嶽公記念文庫と表記した。
5. 埋蔵文化財発掘調査に関する資料は、平成25年度に刊行予定の県埋蔵文化財調査センターの報告書の一部、平成24年度に市文化課が実施した中央公園における福井城址確認調査の報告を掲載した。
6. 本報告書に掲載している画像については、無断で転載できません。

# 目 次

第I部 調査の経緯 .....	1
第II部 調査の結果	
第1節 福井城下について .....	7
第2節 本丸御殿について .....	27
第3節 御天守について .....	35
第4節 御座所について .....	37
第5節 櫓・御門について .....	47
第6節 城郭について .....	91
第7節 史料調査の結果 .....	95
第III部 資料編	
第1節 県民等からの史料募集結果 .....	99
第2節 過去の埋蔵文化財調査の実施状況 .....	105
第3節 中央公園における福井城跡確認調査 .....	111
第4節 史料目録 .....	113



# 第 I 部 調査の経緯



# 調査概要

## 1 調査目的

2050年を見据えた県都のまちづくりの指針を示す県都デザイン戦略において、歴史を活かした福井城址と中央公園の一体的整備を検討するため、福井城に関する歴史的史料を収集、整理し、復元整備の可能性について検討を実施

## 2 調査内容

○福井城等に関する史料の収集および分析・整理

○福井城等の復元整備の検証

※復元整備の検証対象は、福井城、山里口御門等の各御門、坤櫓等の各櫓、御座所、石垣等を主として実施

※公立研究機関に寄託等された史料の分析以外に、福井城等に関する古写真や絵図等に関する情報提供を広く呼びかけ、新たな史料の収集を実施

### 【主な調査対象史料】

#### □松平文庫

藩主家所蔵本と藩校蔵書一部および藩庁関係の古文書  
(福井県立図書館保管)

#### □越葵文庫

松平家本家に伝来した藩主の遺品・遺墨・古文書・記録、什器など美術工芸品  
(福井市立郷土歴史博物館保管)

#### □福井市春嶽公記念文庫

第16代藩主慶永(春嶽)関係の遺品・遺墨・古文書・記録、什器など美術工芸品  
(福井市立郷土歴史博物館蔵)

## 3 調査の体制

### ○福井城史料調査委員会

委員長 仁科 章 (元福井県歴史博物館館長)

委員 田中 哲雄 (元東北芸術工科大学教授)

委員 吉田 純一 (福井工業大学教授)

委員 舟澤 茂樹 (元福井市教育委員長)

委員 印牧 信明 (福井市立郷土歴史博物館学芸員)



#### 4 調査等の経過

「第1回福井城史料調査委員会」(平成24年11月1日)

- ・ 判明済みの史料の確認
- ・ 新たな史料収集方法の検討

県民からの史料募集 (平成24年10月30日～12月21日)

- ・ 福井城等に関する写真、絵図、古文書等に関する情報を募集

「第2回福井城史料調査委員会」(平成25年1月10日)

- ・ 史料収集状況の報告
- ・ 各施設の復元整備の検証

「第3回福井城史料調査委員会」(平成25年2月26日)

- ・ 調査結果の報告
- ・ 報告書(案)とりまとめ

## 第Ⅱ部 調査の結果



---

## 第 1 節 福井城下について

---

徳川家康の次男の結城秀康を藩祖とする福井藩は、当初68万石を領有する全国有数の大大名であり、その城下町はこの格式にふさわしい4重、5重の堀が巡る大規模なものであった。

この節では、松平文庫の城下絵図を中心に、描かれている時代および史料の内容（情報量の多さ、保存状態等）を考慮し、10点の城下絵図を選定し、全体図と拡大図により福井城下の構成と変遷を紹介する。

「御城下之図 貞享二年」



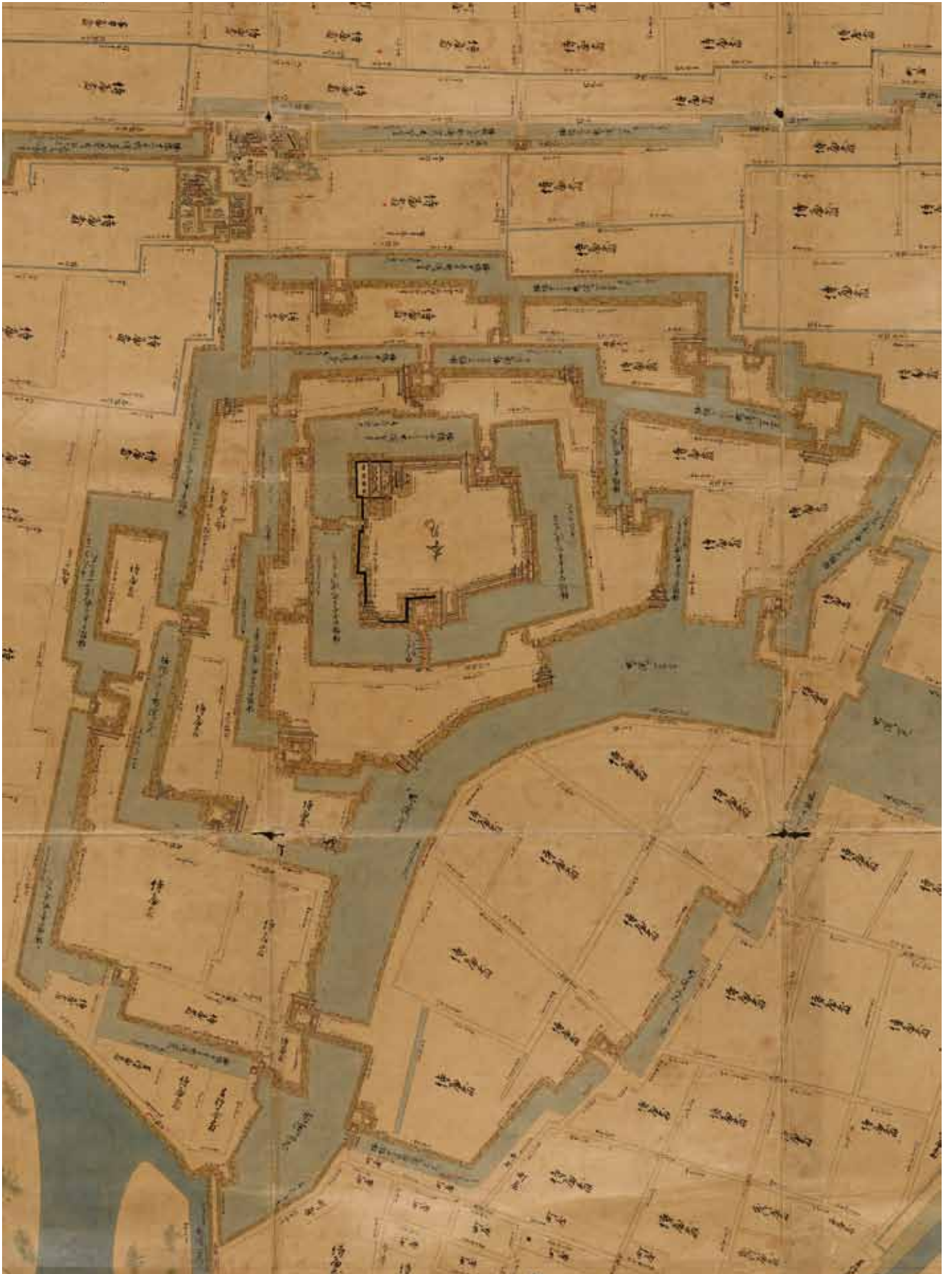
(松平文庫(1322) 福井県立図書館保管)

(255×241cm)

絵図の裏書には貞享2年(1685)とあるが、内容は正保年間(1644-48)のもの。幕府に提出した「正保城絵図」の控図と考えられ、櫓、城門、堀の幅や水深、石垣の高さなどが詳細に記されている。ただし武家屋敷には「侍屋敷」とのみで、各家臣の姓名は記されていない。

※「松平文庫」の後の括弧( )内の数字は松平文庫史料番号(以下同じ)

【拡大図】



「御城下絵図(寛文年間)」



(松平文庫(1319) 福井県立図書館保管)

(138×133cm)

寛文初年(1661)頃の状況を示す屋敷図と判断される。武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が付箋で記載されており、当時の武家屋敷割を具体的に知ることができる。

【拡大図】





「福居御城下絵図 貞享二年」



(松平文庫(1320) 福井県立図書館保管)

(282×317cm)

貞享2年(1685)藩命により作成された図。寛文9年の大火を経て、荒川の東にも武家屋敷が広がるなど、福井の城下町が最大となった時期を示す。「御城下之図 貞享二年」の描き方を踏襲し、さらに各武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が詳細に記されている。

【拡大図】



「御城下之絵図 正徳四年」

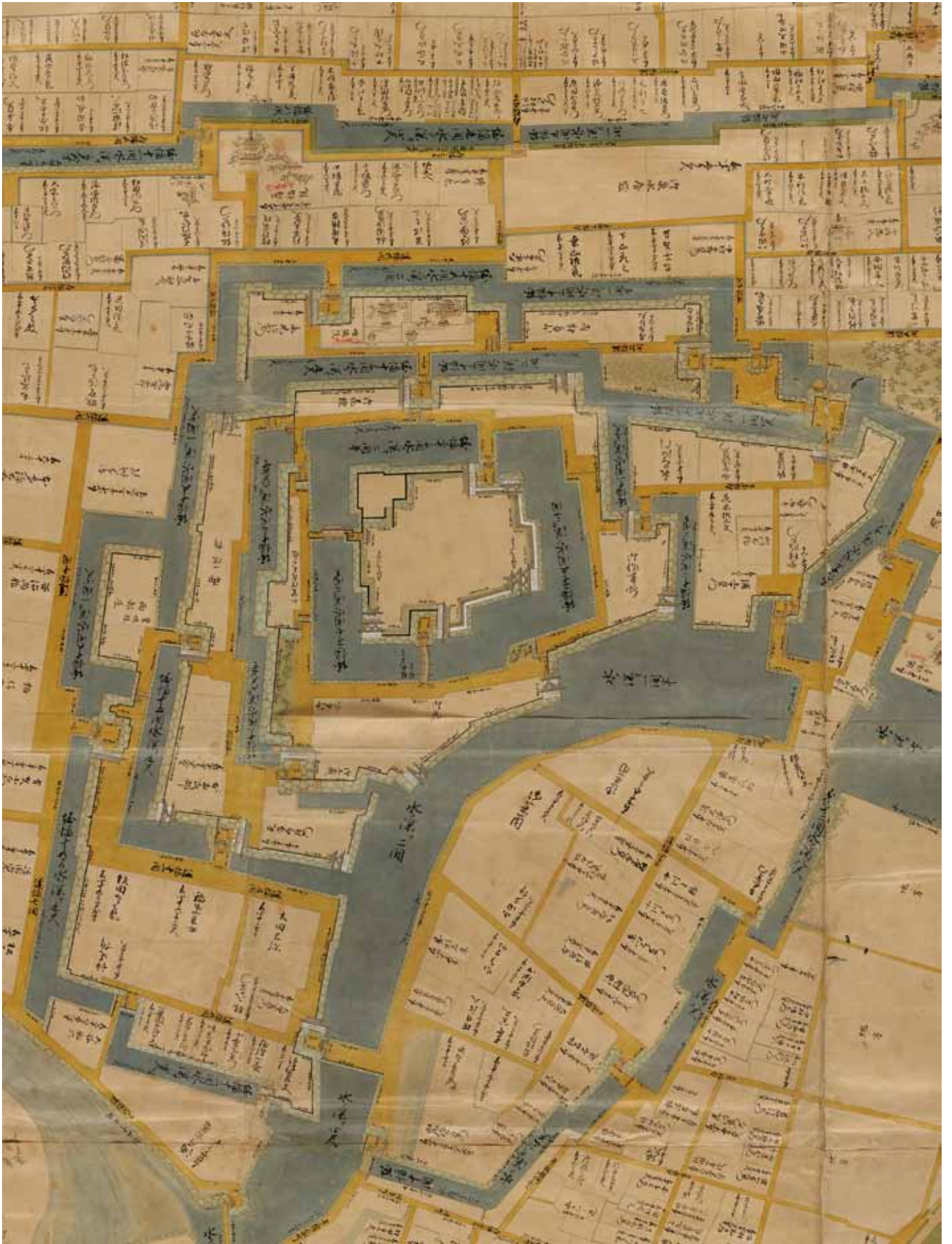


(松平文庫(1325) 福井県立図書館保管)

(285×320cm)

正徳4年(1714)藩命により作成された図。「福居御城下絵図 貞享2年」と同じく各武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が詳細に記されているが、貞享3年(1686)の「貞享大法」(25万石へ半減)後、荒川の東は勿論、城東域の広い範囲と足羽川の南の毛矢の侍屋敷が「地方」すなわち周辺農民の耕作地となっている。

【拡大図】



「御城下絵図 安永四年」



(松平文庫(1336) 福井県立図書館保管)

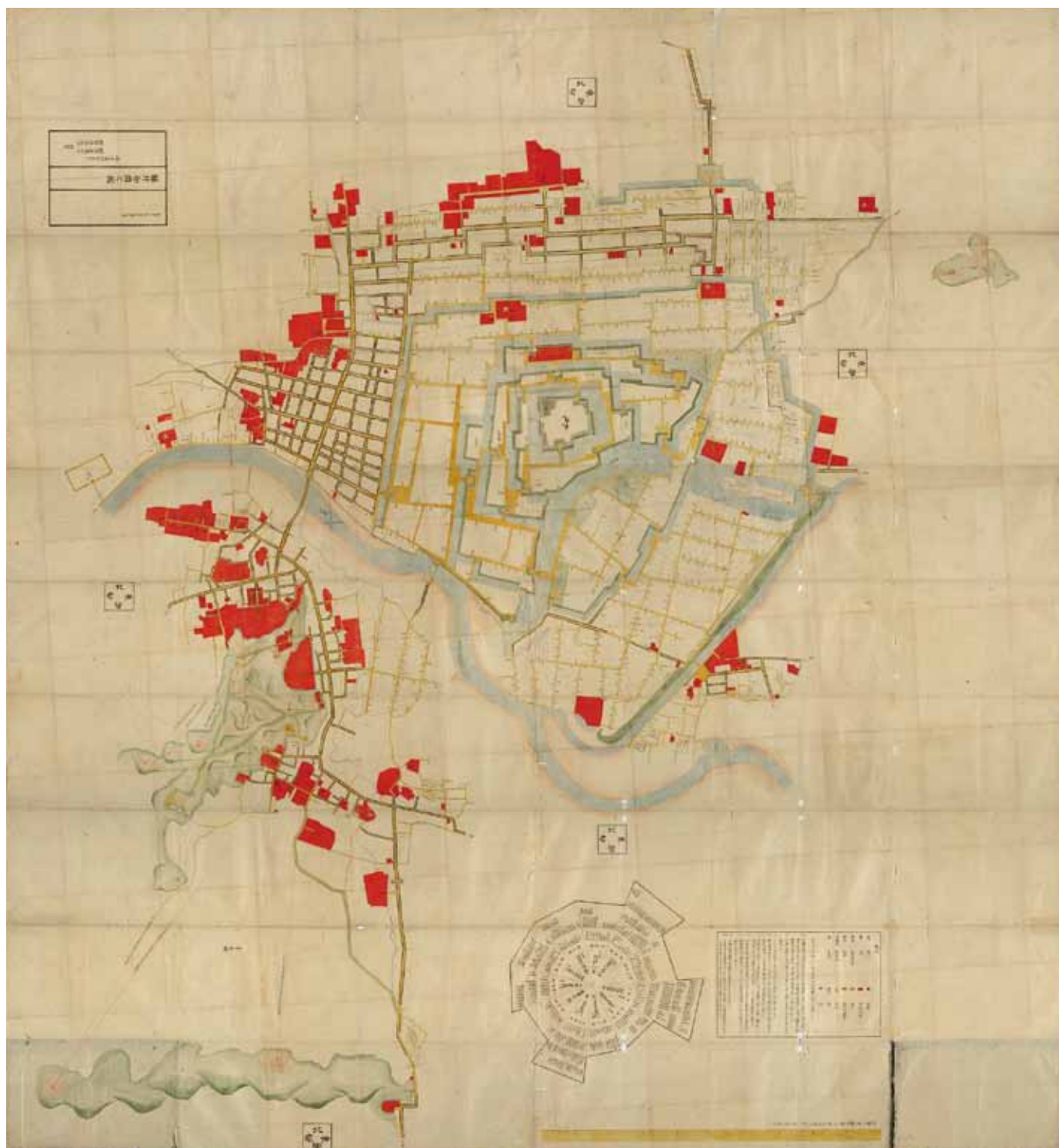
(230×217cm)

安永4年(1775)に作成された図。貞享3年(1686)の「貞享大法」後、削減された武家屋敷が享保6年(1721)の松岡藩合併による家臣団の移住により、再び回復している様子がわかる。ただし家臣姓名は張り紙のため、剥落したのか空白が多い。

【拡大図】



「福井分間之図 田辺利忠・跡部敏勝 享和三年」

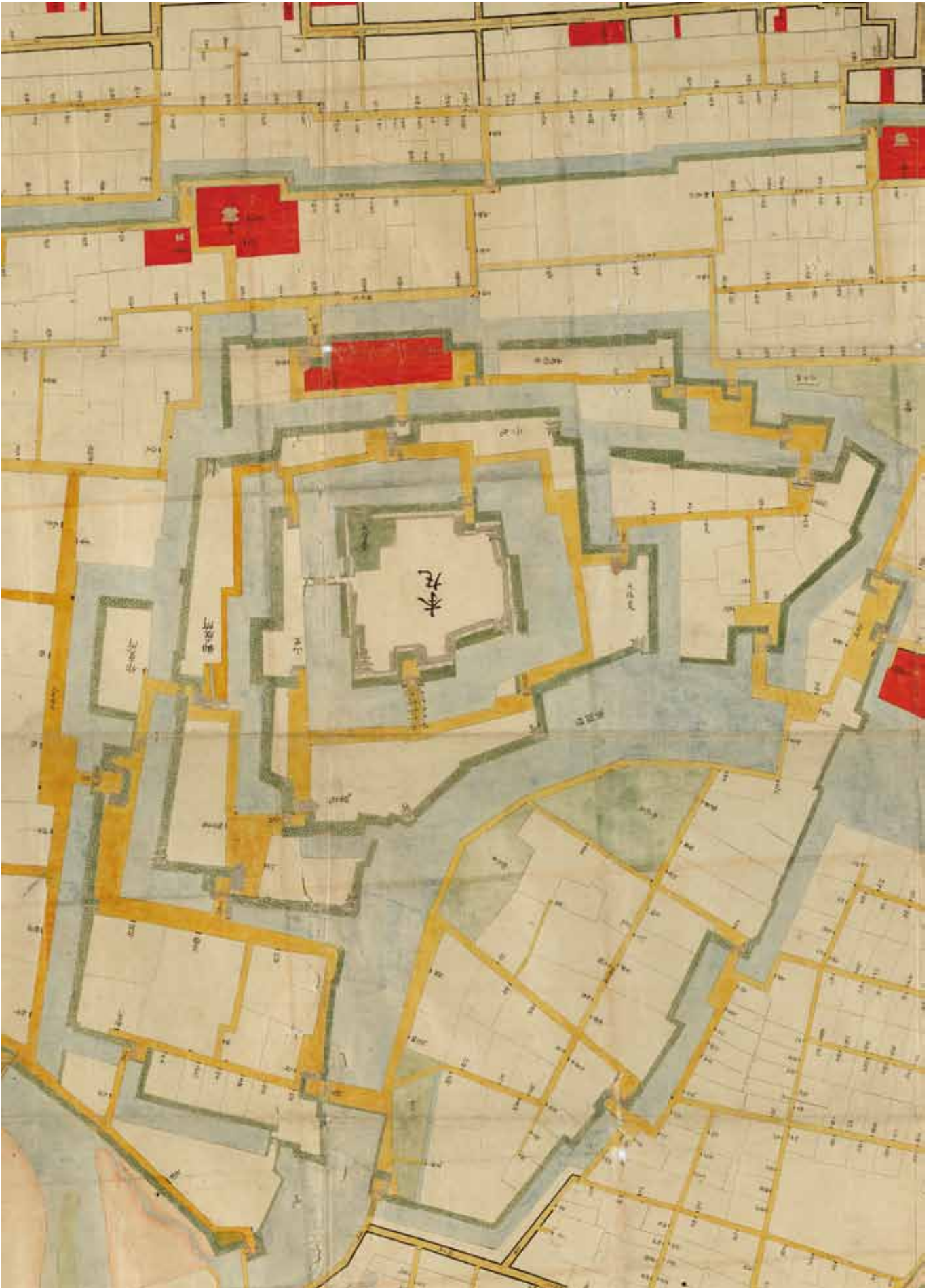


(松平文庫(1337) 福井県立図書館保管)

(306×282cm)

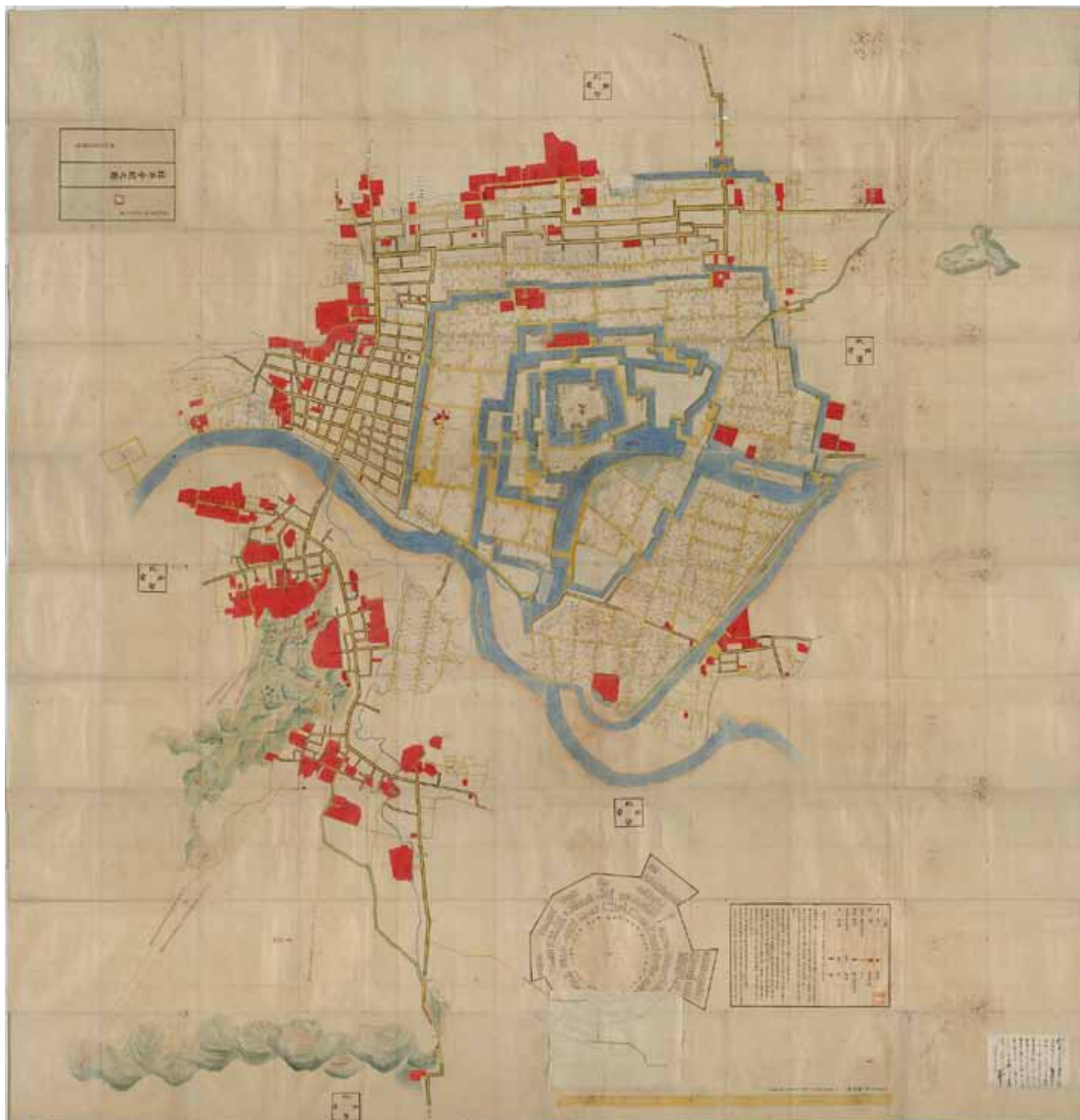
享和3年(1803)福井藩士田辺利忠と跡部敏勝が実測により作成した図で、以降の城下図の基本となった。武家屋敷地には門の位置に家臣の姓のみが記されている。

【拡大図】





「福井分間之図 中村清綿 文化八年」

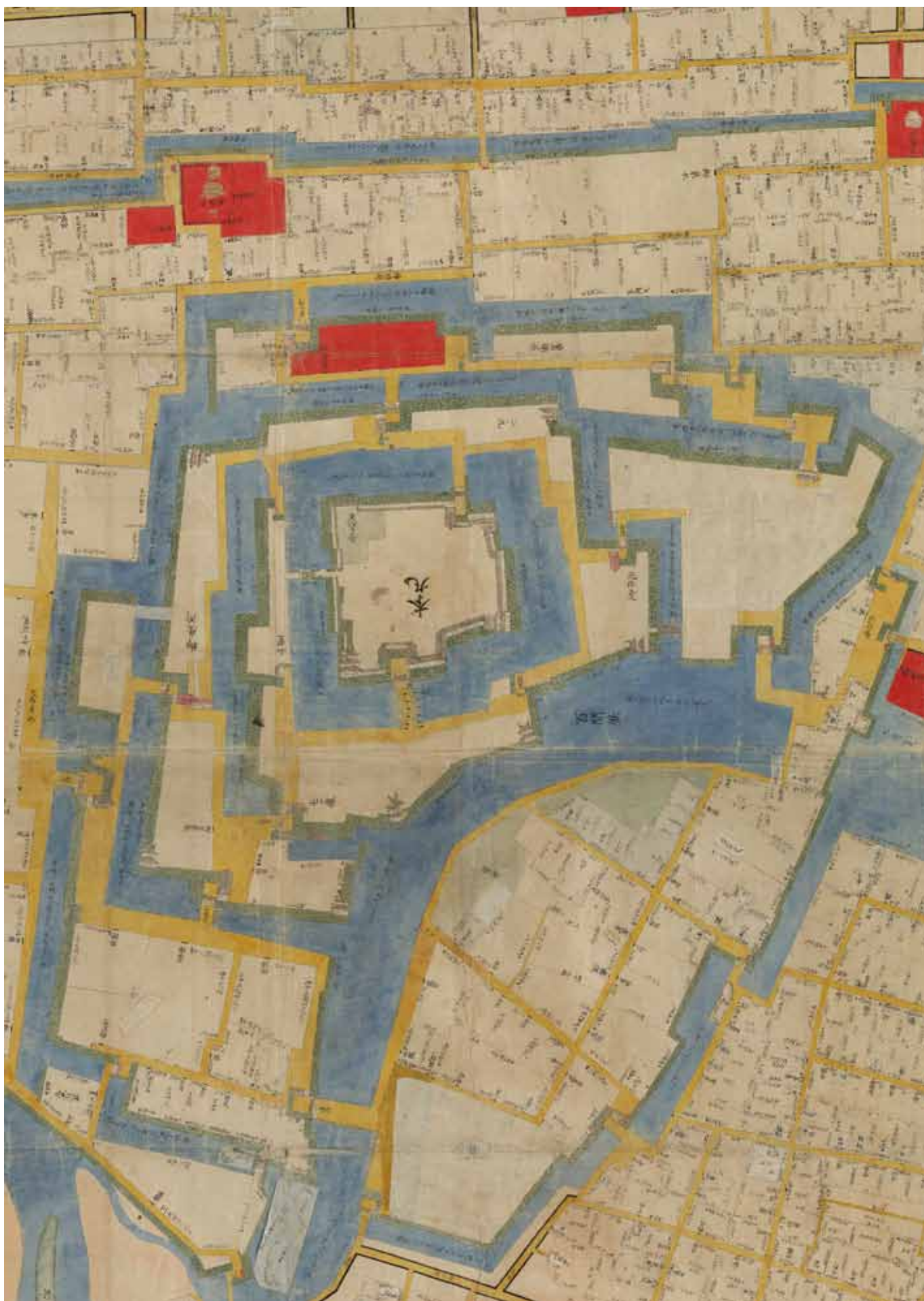


(松平文庫(1340) 福井県立図書館保管)

(290×302cm)

文化8年(1811)福井藩士中村多一郎(理大夫)が藩命により享和3年の分間図を写したもの。したがって武家屋敷地には門の位置に家臣の姓のみが記されているところは同じであるが、本図では屋敷地の間口・奥行の間数が記されており、また屋敷替えを付箋などによりその都度訂正して、明治初年まで使用しているところが異なる。

【拡大図】



「安政前後福井城下之図」

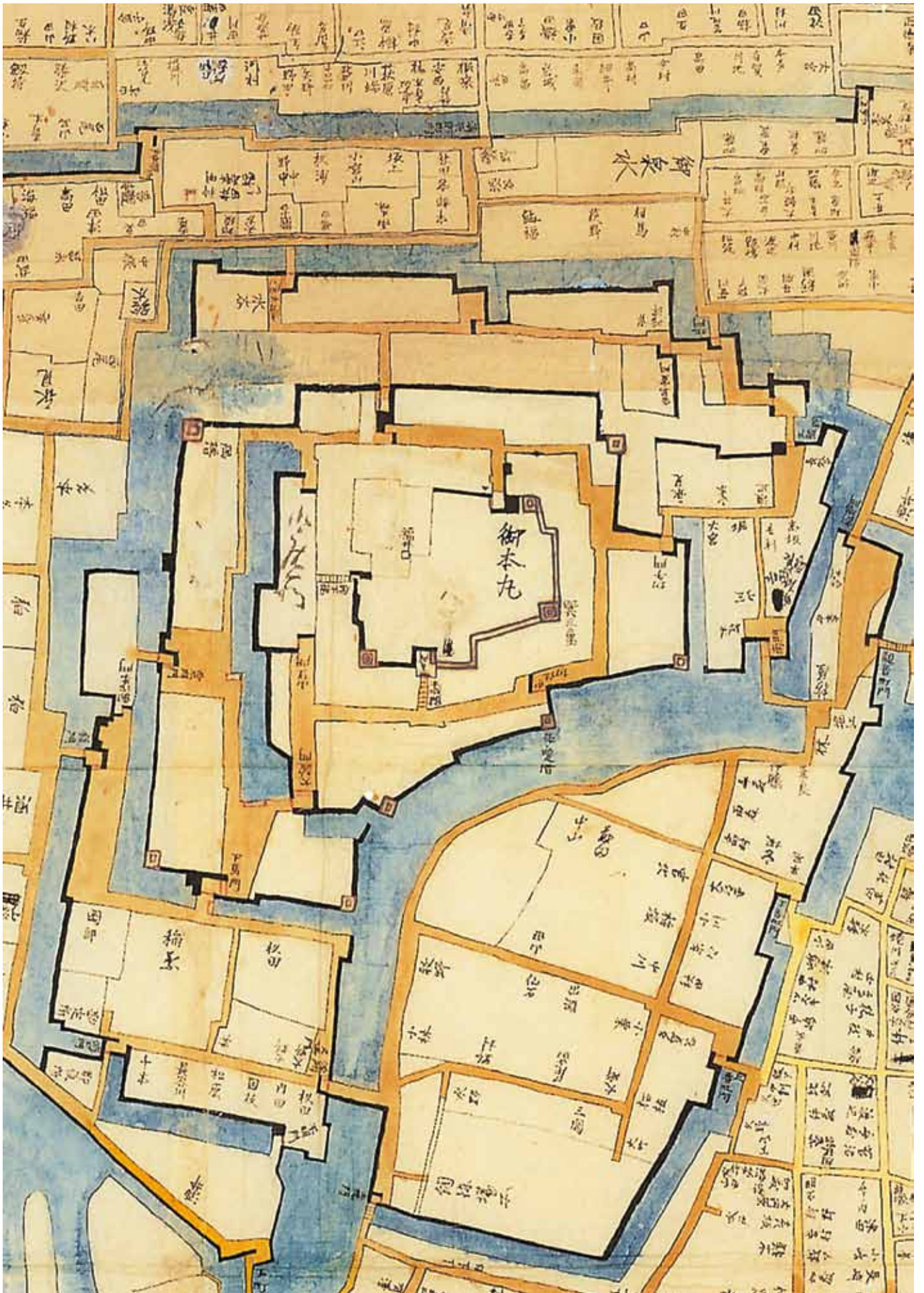


(明治大学図書館蔵)

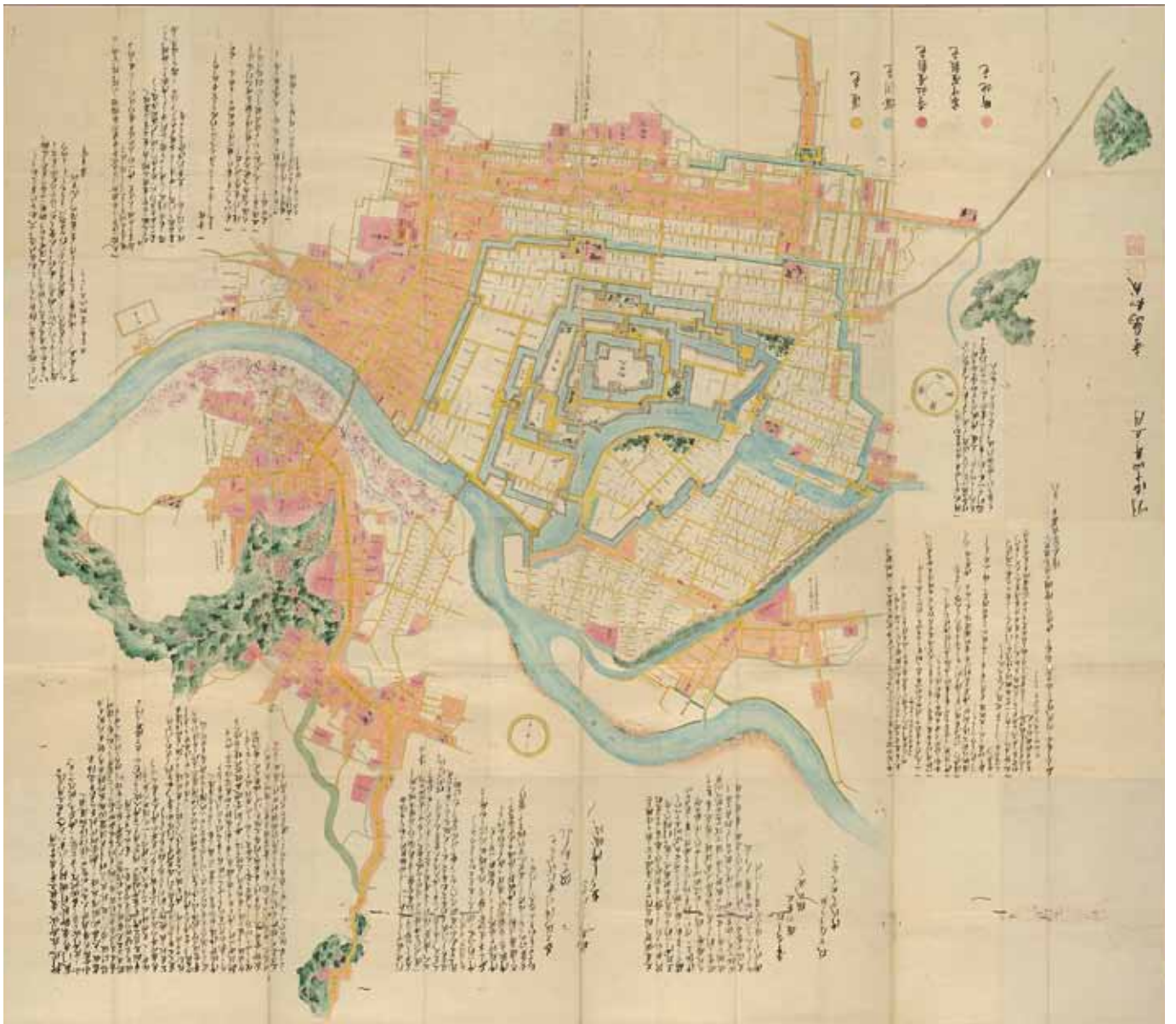
(91.2×117.5cm)

本図は91.2×117.5cmの大きさで、他の図、例えば「福井分間之図(文化8年)」(290×302cm)と比べると縦横とも約三分の一に過ぎない。したがって櫓、門などに絵画的な描写はないが、武家屋敷には各家臣の姓が記されている。内容から安政2年(1855)頃の図と判断される、幕末期の貴重な絵図の一枚である。

【拡大図】



# 「御城下之図」



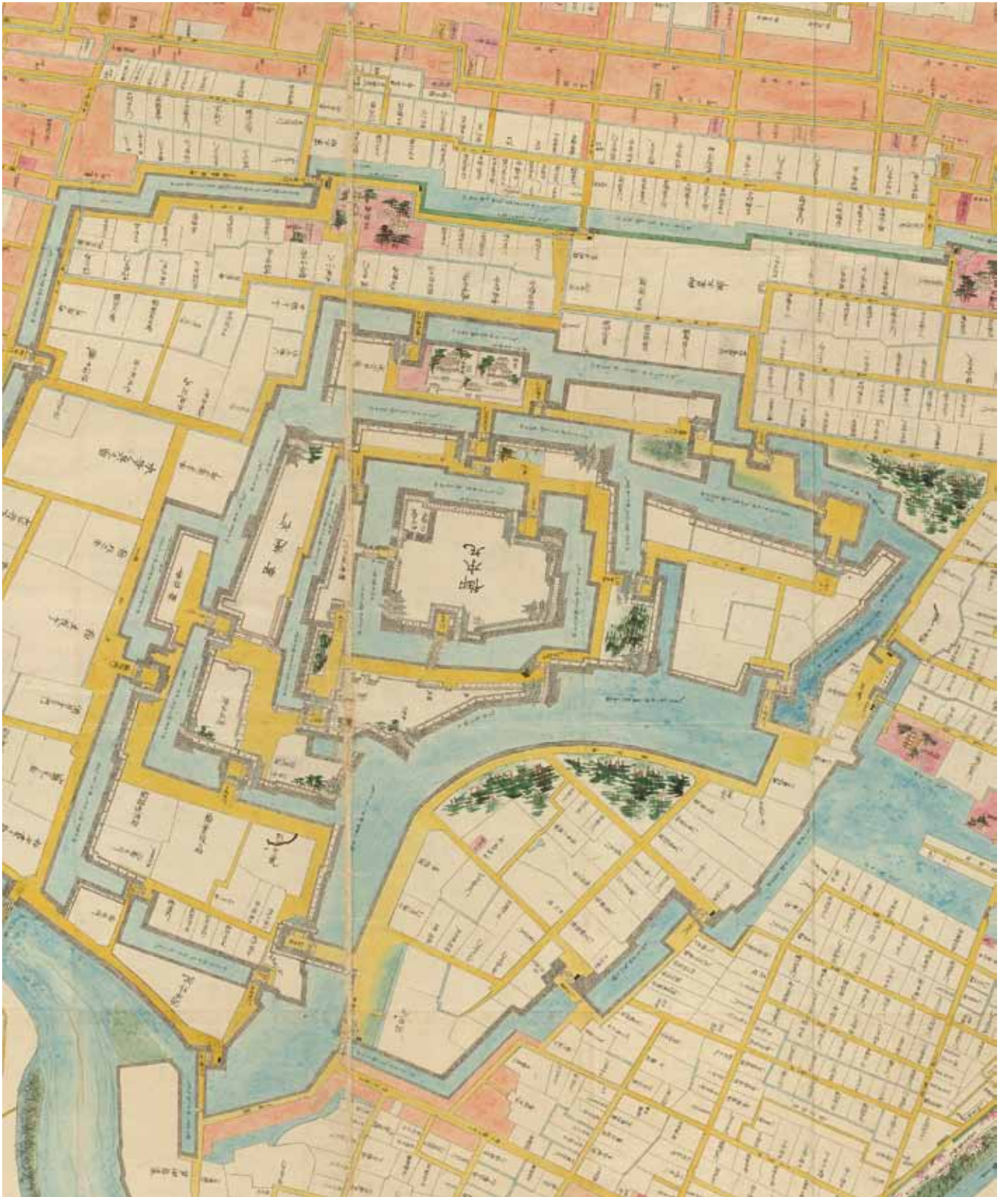
(松平文庫(1342) 福井県立図書館保管)

(232×228cm)

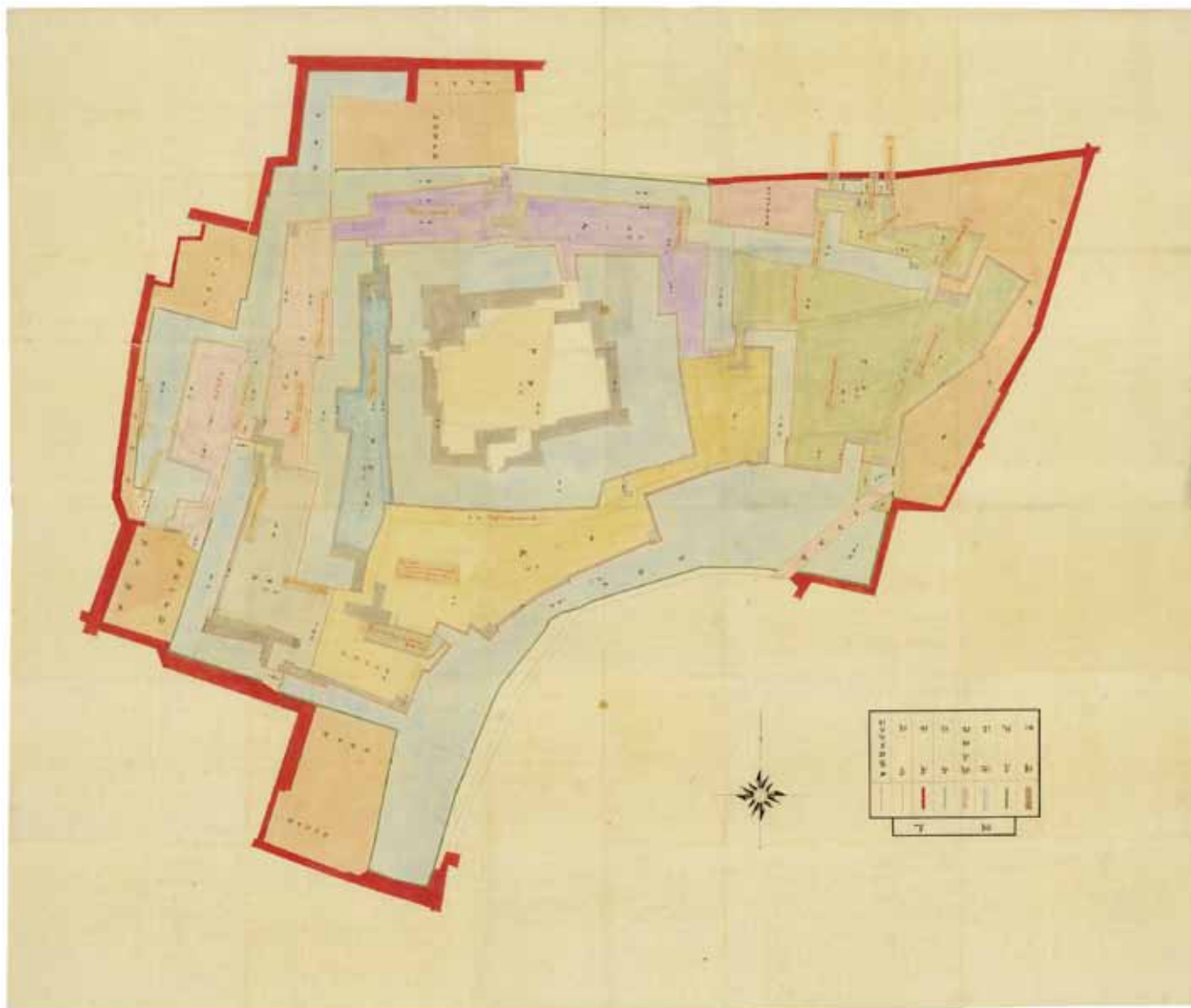
明治14年(1881)に旧藩士寺島知義が幕末頃の様子を回想して描いたもの。したがって、記術内容はやや正確さを欠く部分もある。公式に作成された城下絵図に比べると、色彩豊かで絵画的に描かれている。本図の最大の特徴は図の四周に作者の添書きがあることで、福井城の沿革や城下町の景況、明治維新以後の急激な変貌の様子を記録し、さらに続けて次のように本図作成の意図を述べている。

「(前略)従前之形更ニ無之、当節之ものすら途方を失ひ候体ニ有之、猶追々城中よりも木石引出し、四ノ曲輪相残る所々取壊居最中之形勢、如何ニも旧来全盛之事想像候得者難堪遺憾、心底より一途に思ひ立、御城内外之模様を初、諸士屋敷々々、市中之図明細書残し、後世へ伝へ、衆人之博覧ニ備度(中略)、近く御一新以前之図ニ夫々委敷書加ふるものなり」

【拡大図】



「福井城地世襲財産二御届出相成節城地調査絵図 明治三一年」



(松平文庫(1396) 福井県立図書館保管)

(156×190cm)

明治23年(1890)に松平家に払い下げられた旧城跡の明治31年(1898)の実測図。堀、石垣など廃藩後の旧城跡の状況を詳細に示している。

---

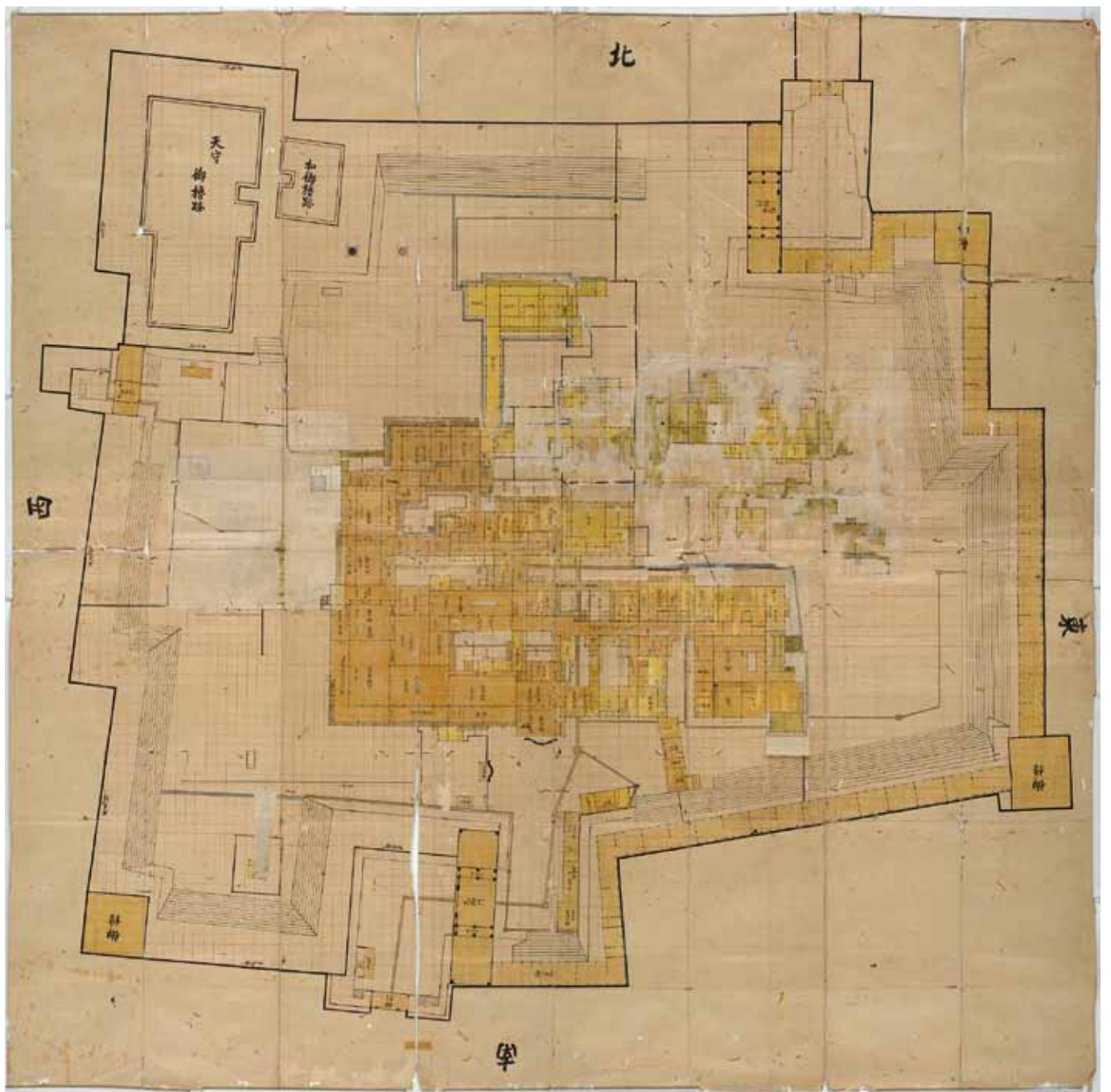
## 第 2 節 本丸御殿について

---

この節では、松平文庫の本丸指図から、描かれている時代および史料の内容（情報量の多さ、保存状態等）を考慮し、5点の指図を選定し、本丸御殿の構成と変遷を紹介する。



「御本丸指図 文政一三年」

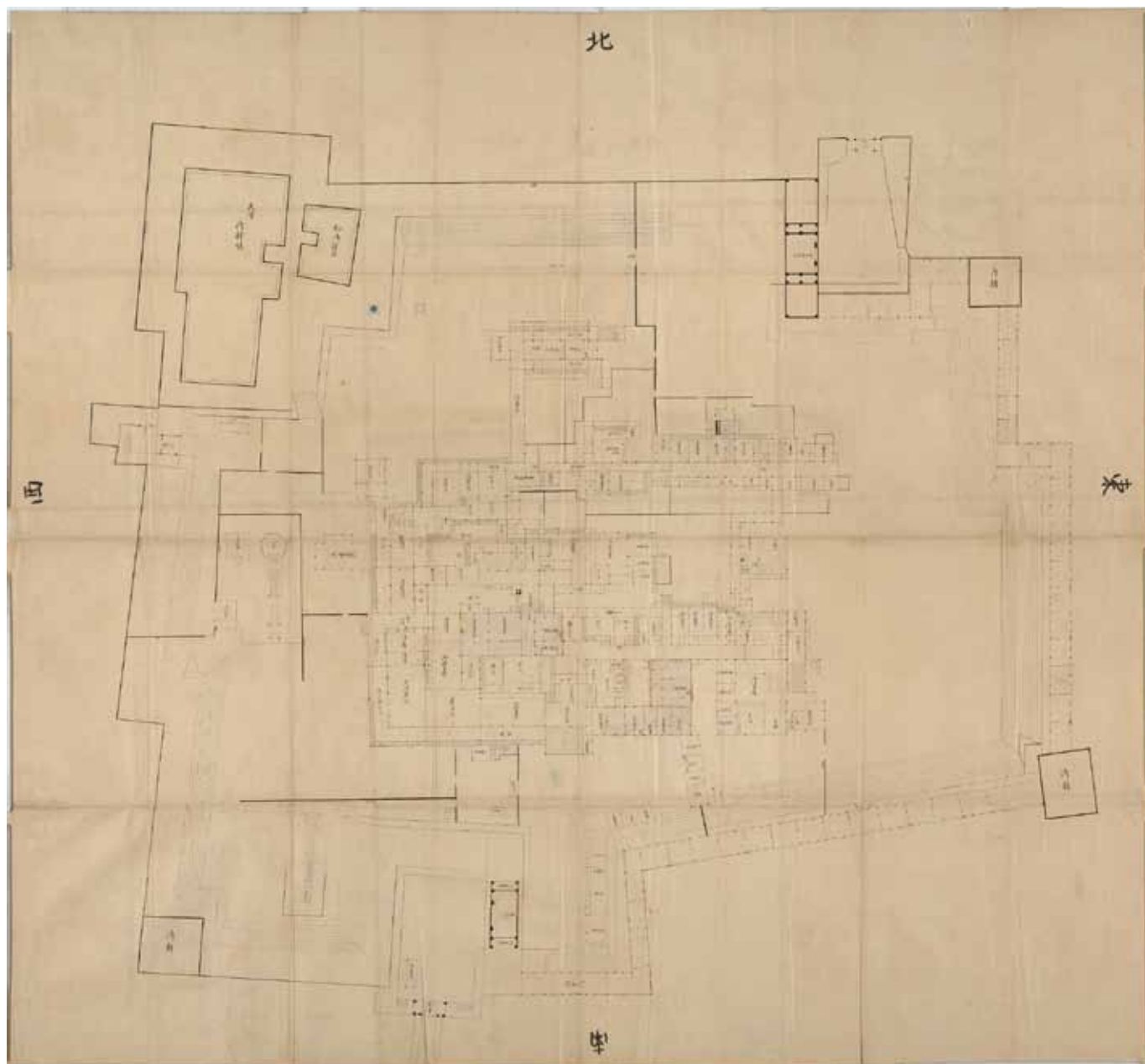


(松平文庫(1363) 福井県立図書館保管)

(162×163cm)

文政13年(1830)御本丸住居増築の計画図面で、その後さらに改築した部分を懸紙で改正してある。さらに天保13年(1842)に三の丸の御座所へ移した際、取り払われた部分を白懸紙で隠している。

「天保二卯年出来御本丸御住居中之図」

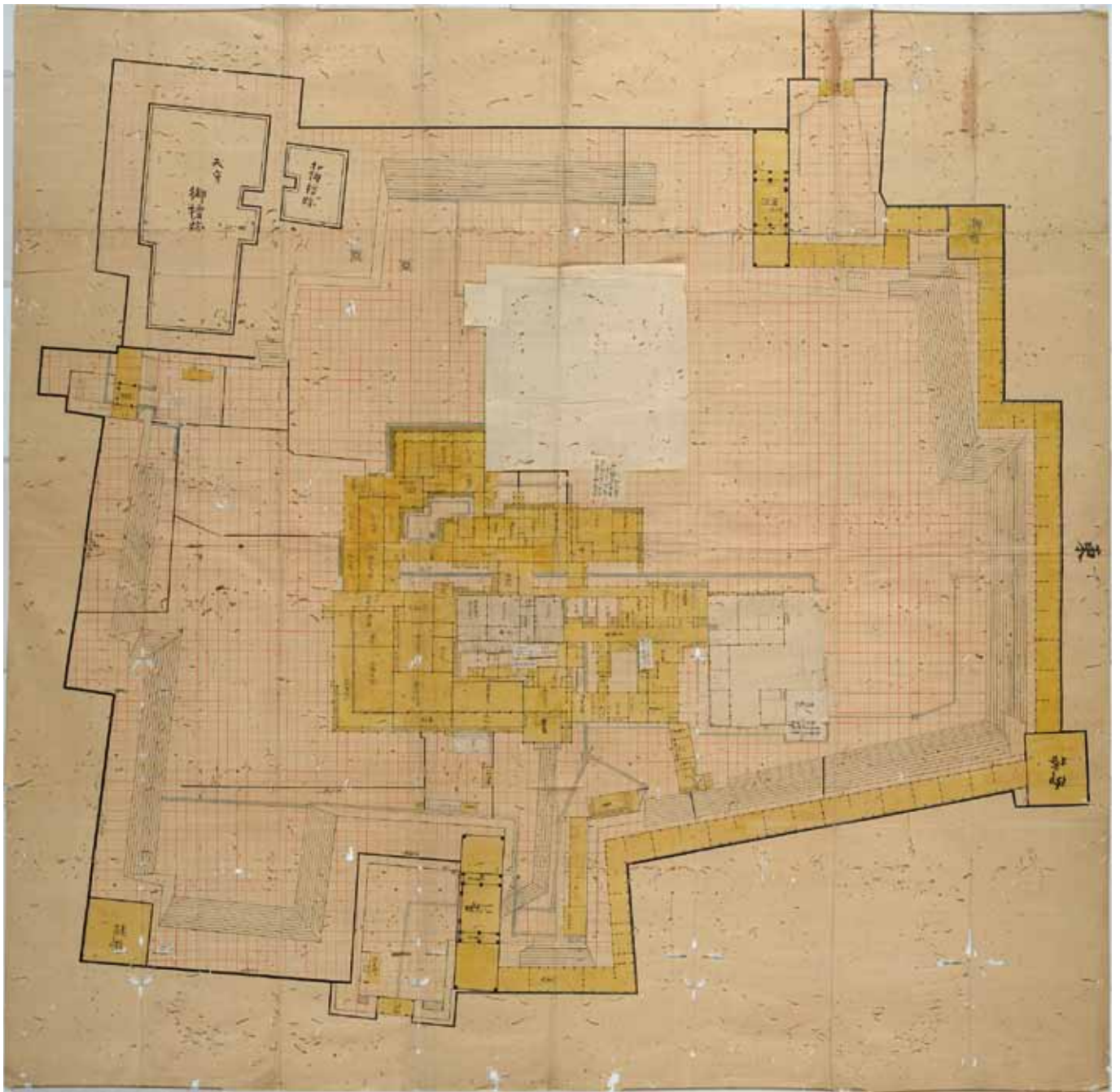


(松平文庫(1364) 福井県立図書館保管)

(137×149cm)

14代齊承のための大奥御座所が完成した頃の本丸御殿の図。

「御本丸御絵図 嘉永元年」



(松平文庫(1365) 福井県立図書館保管)

(160×161cm)

14代齊承、15代齊善の代は本丸に御座所を設けていたが、天保14年(1843)に慶永が16代藩主として入部した際、御座所は再び西三の丸に移された。本図はこの頃の図(嘉永元年(1848))。

「福井城本丸御建物図」



(松平文庫(1370) 福井県立図書館保管)

(114×110cm)

文政6年(1823)頃の本丸御殿の図。

「御本丸御殿ノ図」



(松平文庫(1371) 福井県立図書館保管)

(167×200cm)

14代齊承の御座所が完成した天保2年(1831)以降の本丸御殿の図と考えられる。

その他の史料



『福井城舊景』「御本丸」(福井県立図書館蔵)



---

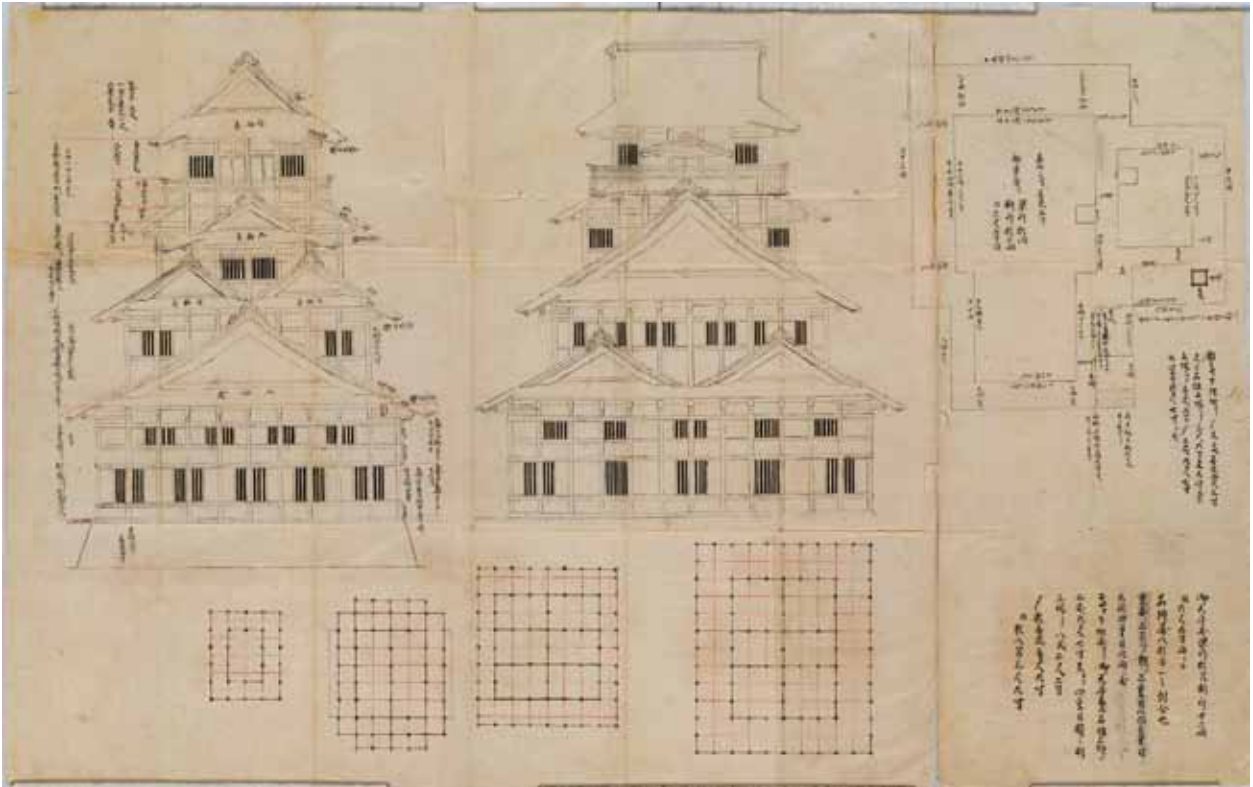
### 第3節 御天守について

---

福井城の御天守は寛文9年(1669)の大火で焼失し、以後、再建されなかった。このため御天守に関する史料は少なく、この節では、2点のみ確認されている立面図を紹介する。

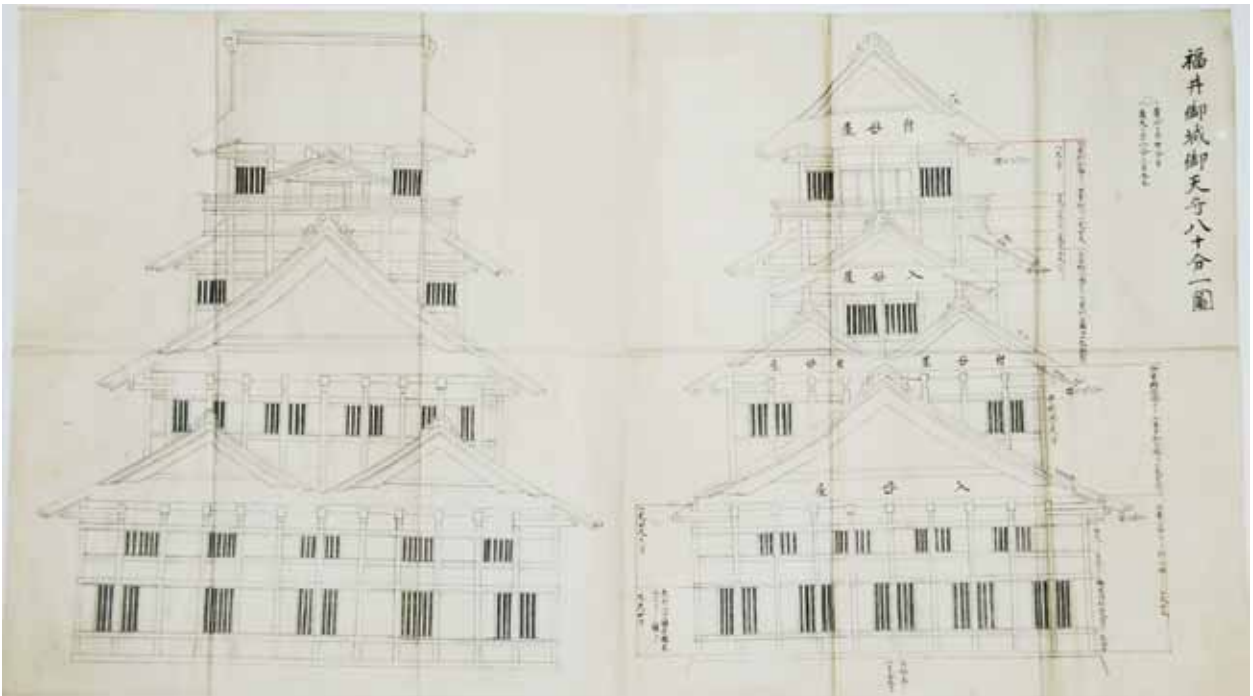


「御天守絵図」



(松平文庫(1361) 福井県立図書館保管)

「福井御城御天守八十分一図」



(福井工業大学蔵)

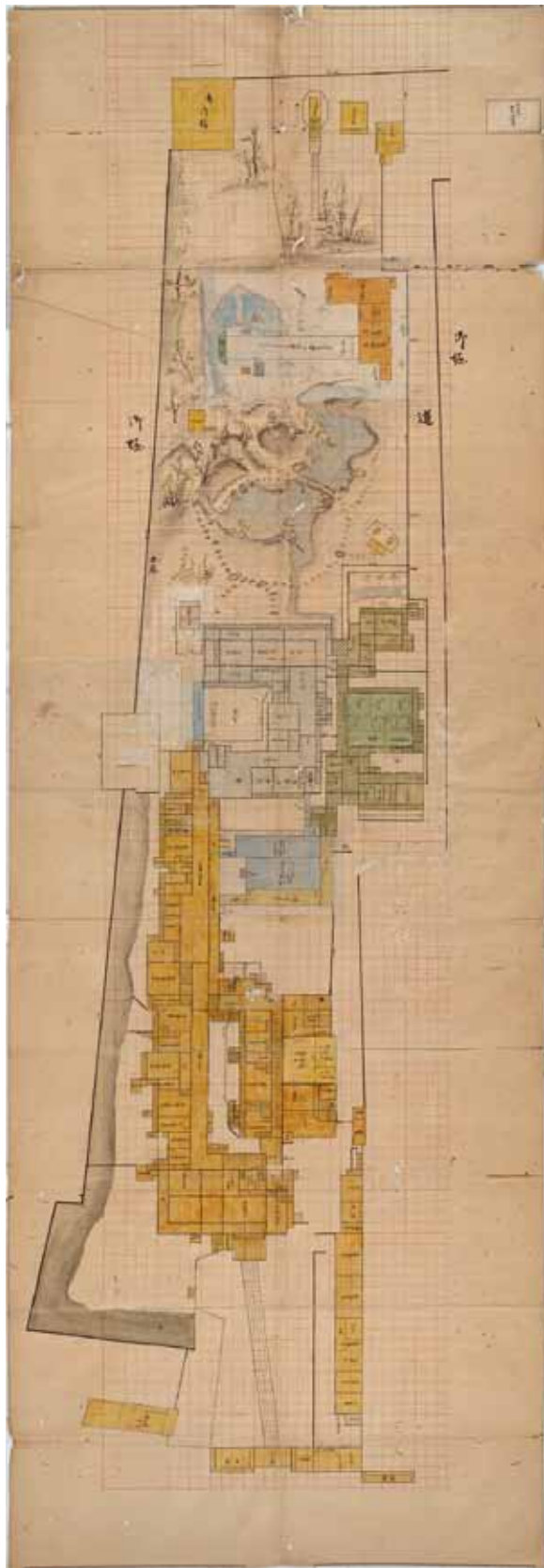
---

## 第4節 御座所について

---

この節では、松平文庫の御座所等指図3点の全体図と拡大図を比較する。  
また、明治期の松平邸長屋門については、立面図や写真の他、絵葉書としてその  
外観写真が多く残っており、その一部を紹介する。

「御座所御絵図 御作事所 弘化四年」

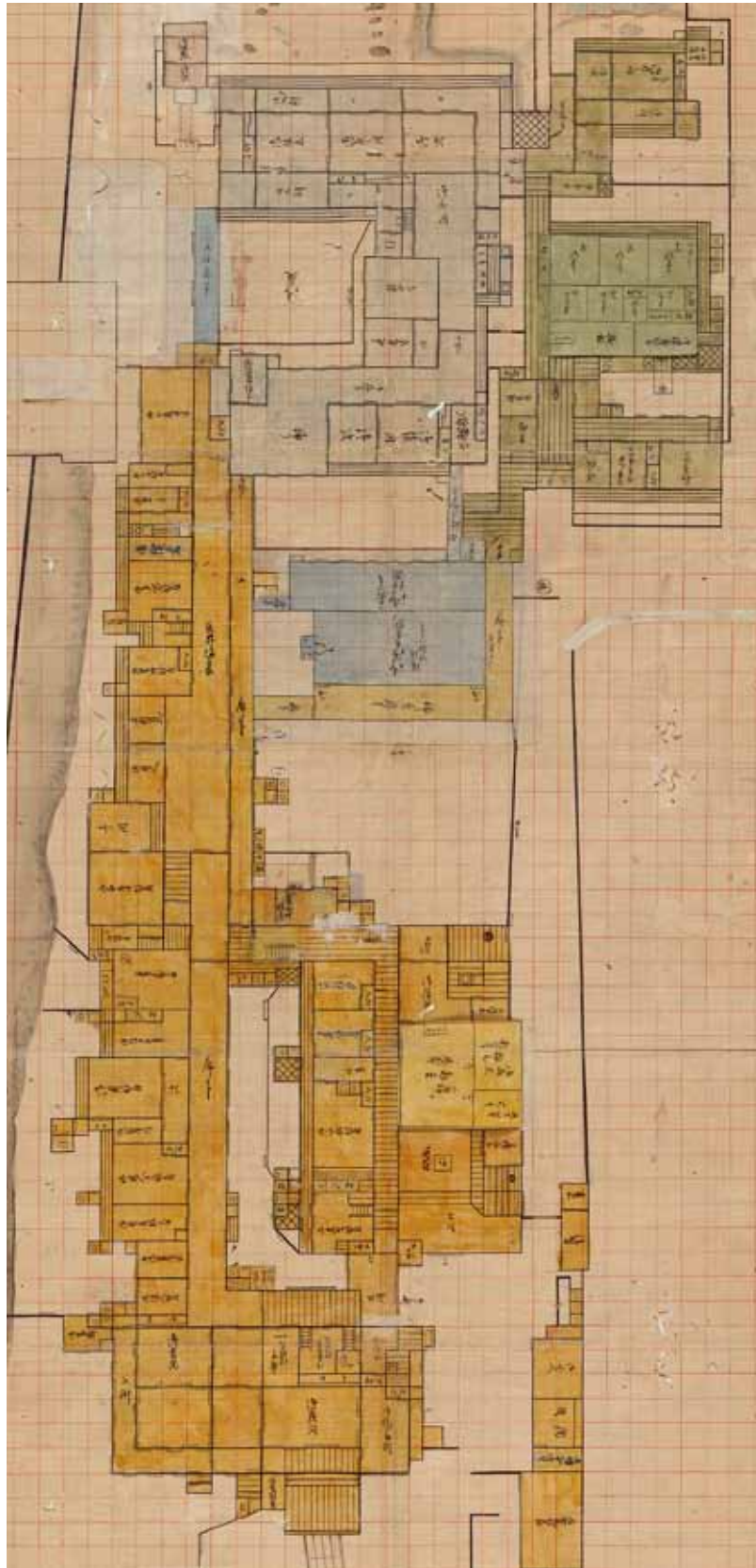


16代慶永は天保14年(1843)の初  
入国に際し、御座所(藩主の住居)を本  
丸から西三ノ丸に移した。本図は弘化4  
年(1847)の年紀から、入国間もない慶  
永の御座所の図であることがわかる。そ  
の後この御座所は17代茂昭の時代、元  
治元年(1864)に東三ノ丸へ新築移転す  
るまで利用された。

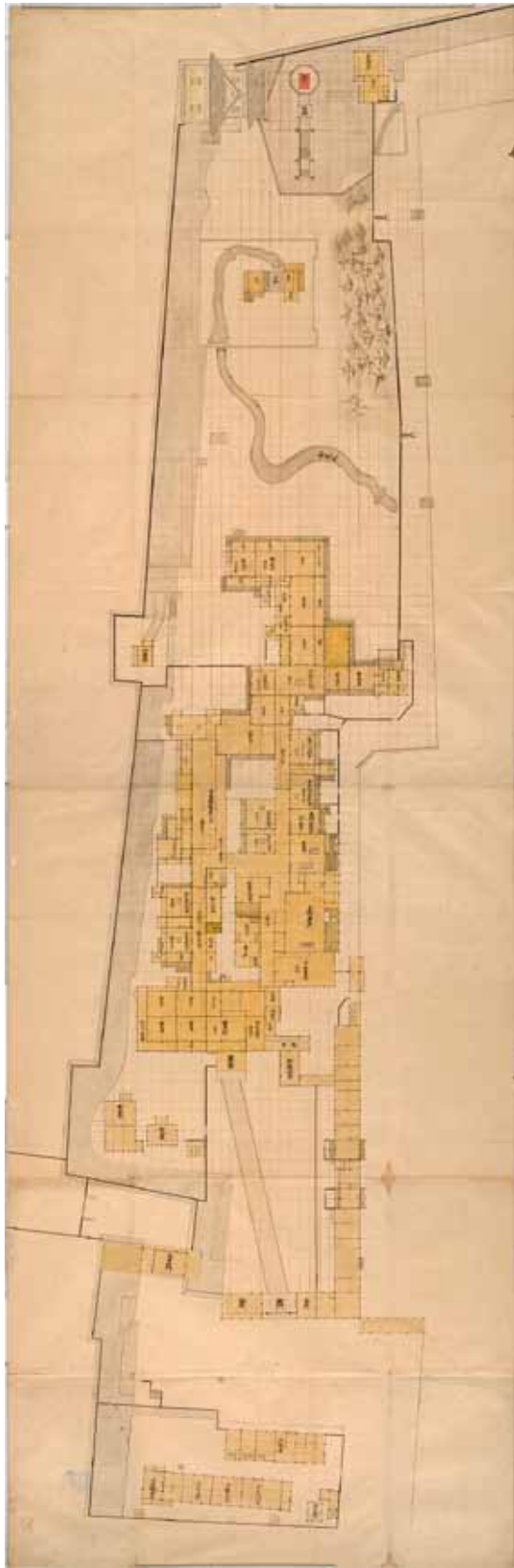
(松平文庫(1379) 福井県立図書館保管)

(75×216mm)

【拡大図】



「御座所絵図」

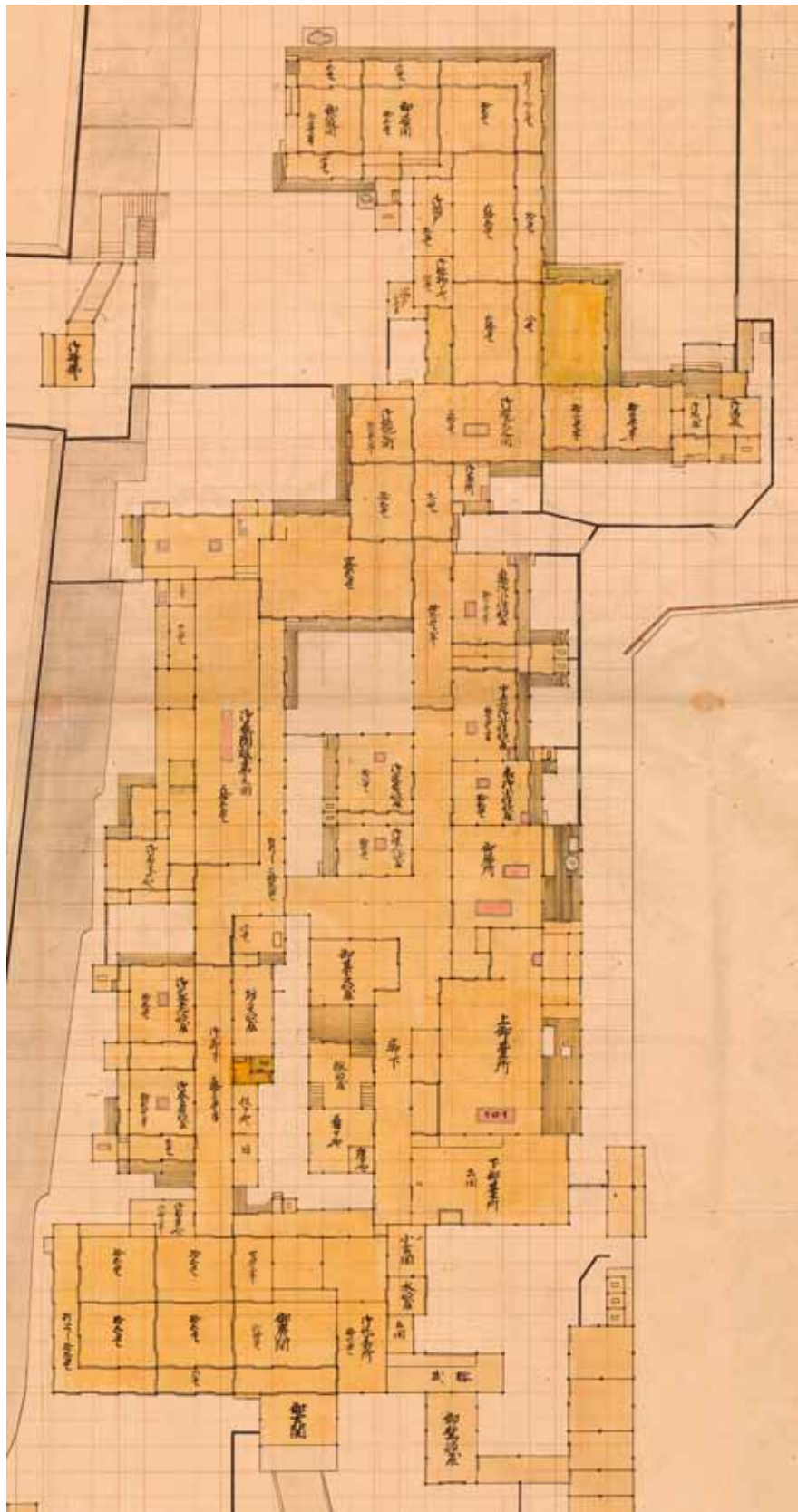


延宝3年(1675)5代昌親は、それまで本丸にあった御座所を西三の丸に移した。これ以後も御座所は西三の丸に置かれたが、文政13年(1830)14代斉承は、御座所を再び本丸に移した。したがって、年紀はないが、本図は文政13年本丸移転以前の御座所を示す図であることは間違いない。

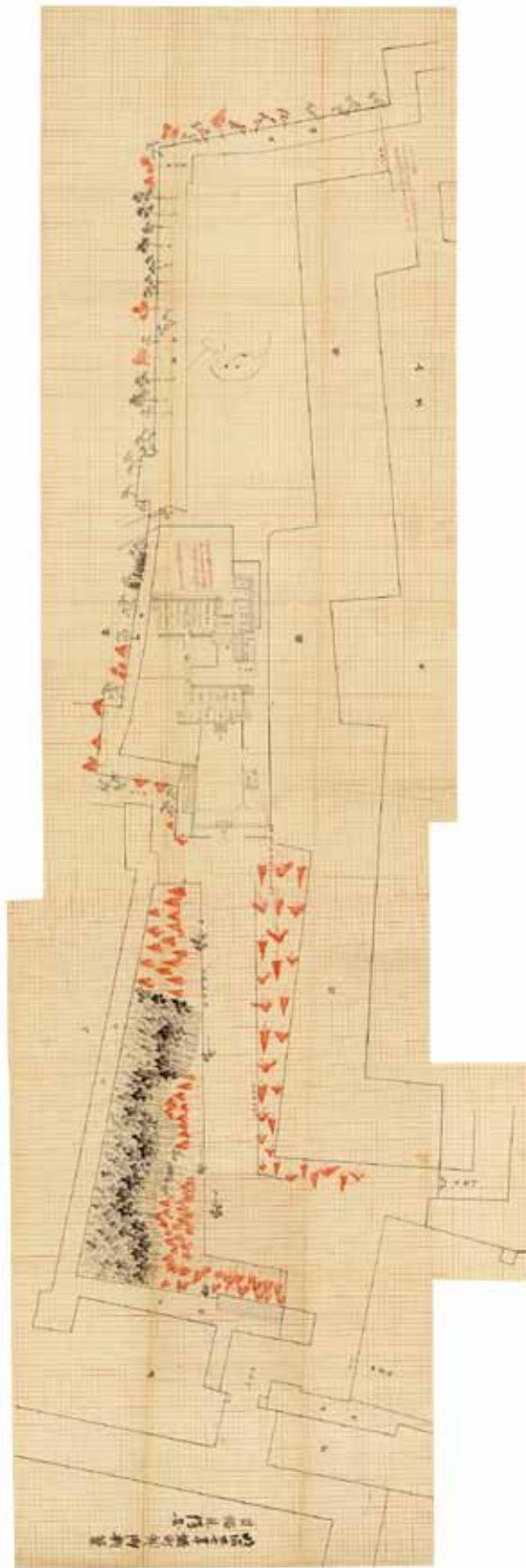
(松平文庫(1383) 福井県立図書館保管)

(77×238cm)

【拡大図】



「城町邸御新築目論見絵図 明治二七年」

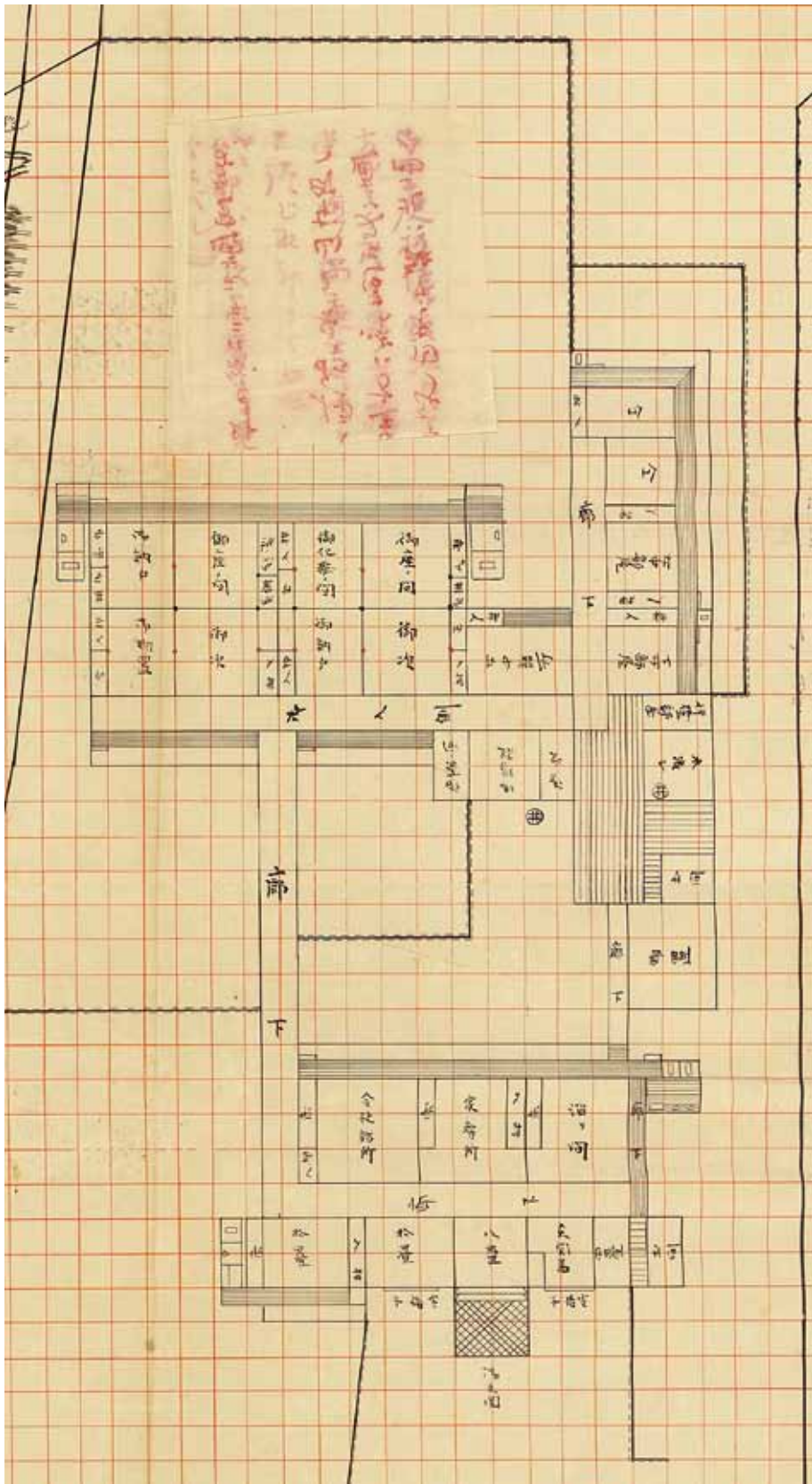


(松平文庫(1392) 福井県立図書館保管)

(80×240cm)

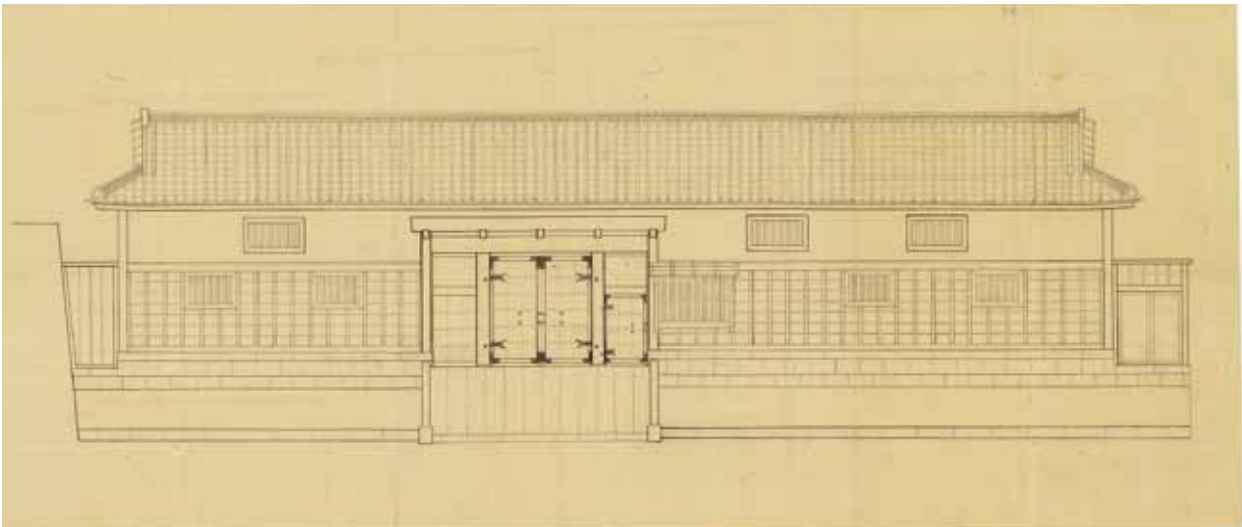
17代茂昭の子松平康莊は、旧城内で試農場を經營するため福井に移住し、明治28年(1895)かつての西三ノ丸御座所跡に邸宅を新築した。本図はその目論見図で、下馬門跡からの長いアプローチを持ち、門や建物が御座所時代と同じように配置されていることがわかる。

【拡大図】





## 明治期の松平邸長屋門



松平邸長屋門の正面図「福井表新築諸絵図 明治二八年」  
(松平文庫(1394) 福井県立図書館保管)



松平邸長屋門『越山若水』(明治42年)  
(福井市立郷土歴史博物館蔵)



同上(絵葉書『福井城内下馬門内の櫻』)  
(福井県立歴史博物館蔵)

その他の史料



『福井城舊景』「御座所御玄關」（福井県立図書館蔵）



---

## 第5節 櫓・御門について

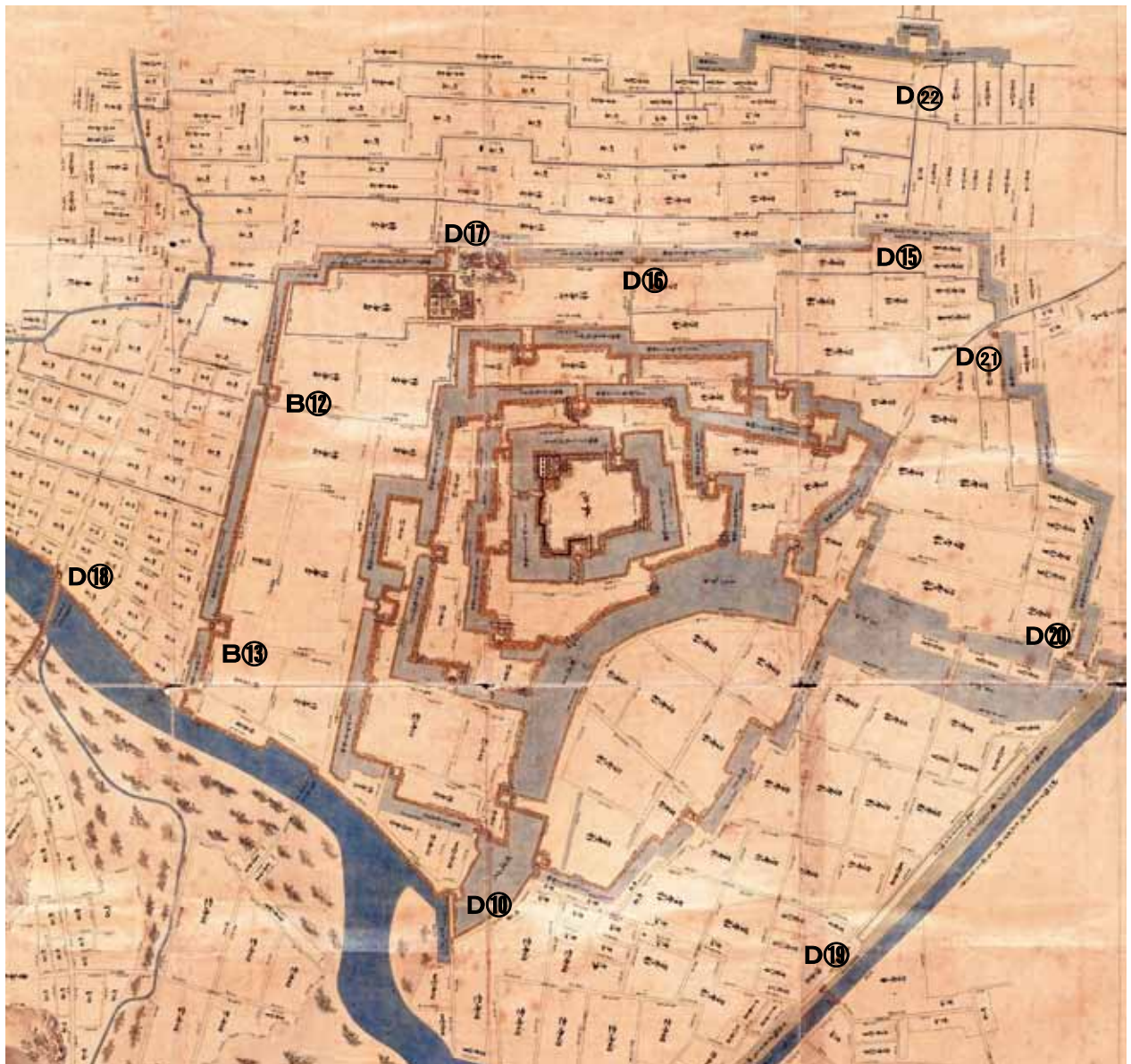
---

福井城下には10箇所櫓と40を超える門が存在していたが、この節では、第1節で紹介した城下絵図を用い、これらの櫓と御門を一覧に整理し、比較する。

また、御天守焼失後に三重櫓として再建され、福井城のシンボルとなっていた坤櫓と巽櫓について、詳細な史料や写真等を紹介する。

御門は大まかな規模により4種類に分類し、そのうち代表的な瓦御門、下馬御門・桜御門、山里口御門、中仕切御門について、詳細な史料や写真等を紹介する。





Y① 坤三重御櫓	Y② 巽三重御櫓	Y③ 北不明御門上良御櫓	Y④ 七ツ蔵角乾御櫓
Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓	Y⑥ 元御作事御櫓	Y⑦ 二之丸御櫓	Y⑧ 御座所内隅御櫓
Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓	Y⑩ 下馬御門内御櫓	A① 瓦御門	A② 御座所御門
B① 北不明御門	B② 太鼓御門	B③ 切手御門	B④ 七人番所御門
B⑤ 御座所脇南不明御門	B⑥ 下馬御門	B⑦ 鉄御門	B⑧ 漆御門
B⑨ 三之丸中御門	B⑩ 御鷹部屋口_高御門	B⑪ 清水御門	B⑫ 柳御門
B⑬ 桜御門	C① 山里口御門	C② 三之丸南_三崎御門	C③ 三之丸北御門
C④ 堂形_春ル秋キ御門	D① 山里奥御門	D② 南山里御門	D③ 中仕切御門
D④ 水車御門	D⑤ 御作事所口御門	D⑥ 川口御門	D⑦ 豊後_酒井脇御門
D⑧ 三之丸間之御門	D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門	D⑩ 御船虎谷_舟蔵御門	D⑪ 中之馬場南_桜木御門
D⑫ 中之馬場北_小桜御門	D⑬ 観音町口御門	D⑭ 元割場_人分ケ御門	D⑮ 不動院脇_佐久間御門
D⑯ 御泉水裏_舎人御門	D⑰ 神明脇_二丁掛御門	D⑱ 大橋_照手_葵御門	D⑲ 勝見口_手寄御門
D⑳ 竹ヶ端_日之出御門	D㉑ 地蔵町口_奥平御門	D㉒ 加賀口_新田御門	

※櫓・御門の名称は、「御門御櫓之部(松平文庫(655))」に従ったが、一部省略など変更したものもある

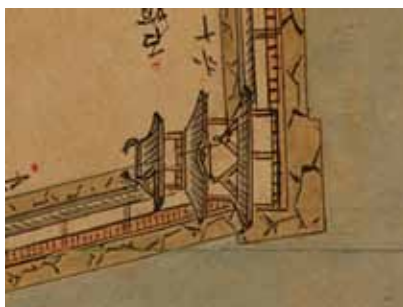
# 代表的な城下絵図の拡大による比較

○「御城下之図 貞享二年」(1322)

櫓



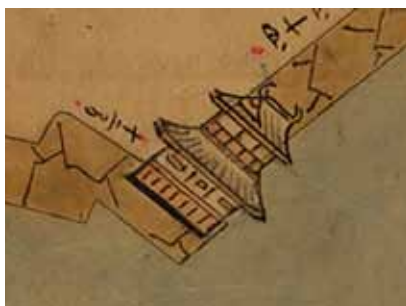
Y① 坤三重御櫓



Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



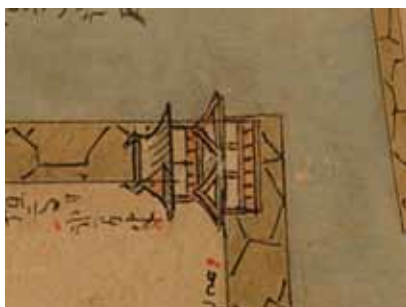
Y④ 七ツ蔵角乾御櫓



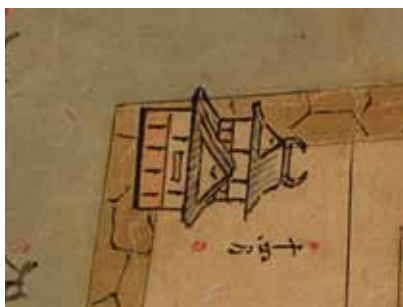
Y⑤ 御厩角弁慶\_信玄御櫓



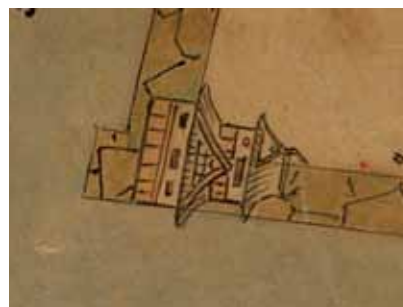
Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

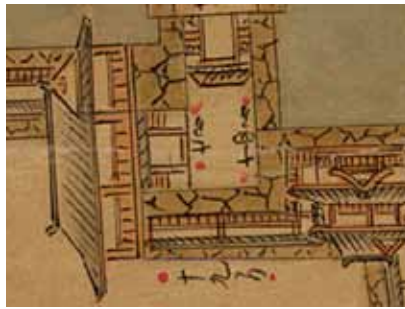


A① 瓦御門



A② 御座所御門 (記載なし)

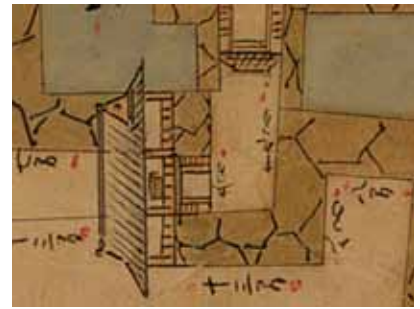
主要な門



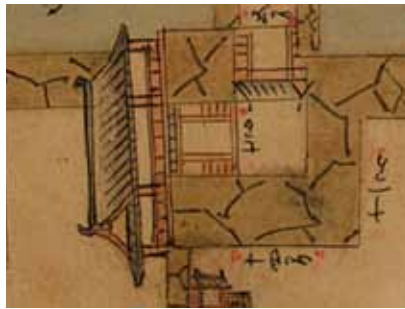
B① 北不明御門



B② 太鼓御門



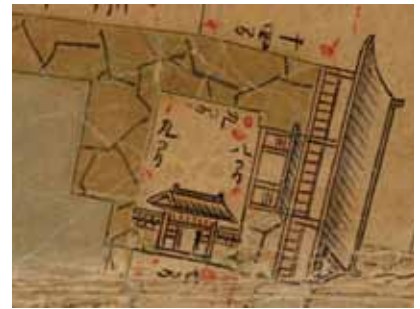
B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



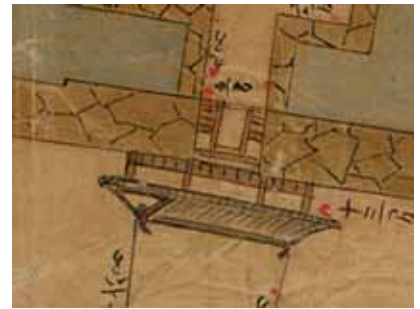
B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



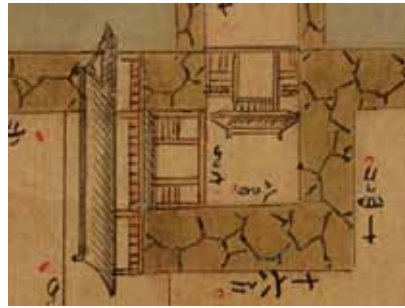
B⑧ 漆御門



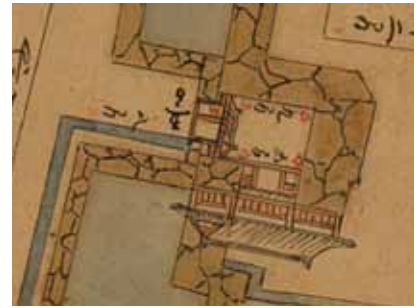
B⑨ 三之丸中御門



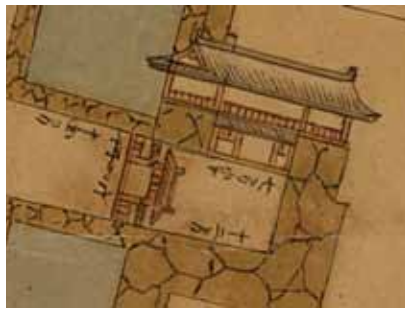
B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門



B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門



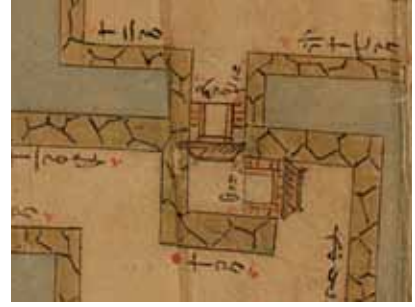
中規模の門



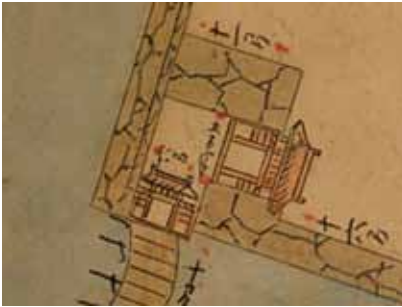
C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門



C③ 三之丸北御門

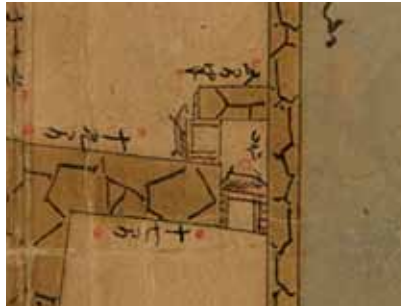


C④ 堂形\_春ル秋キ御門

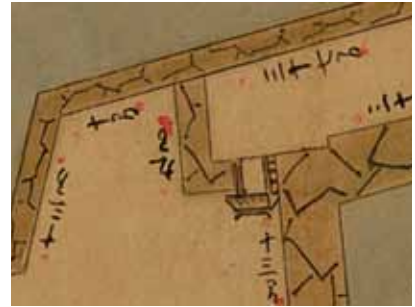
小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



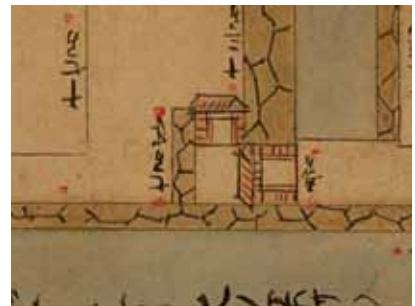
D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



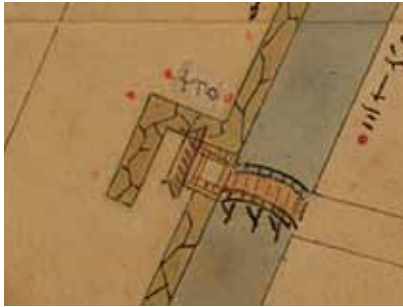
D10 御船虎谷\_舟蔵御門



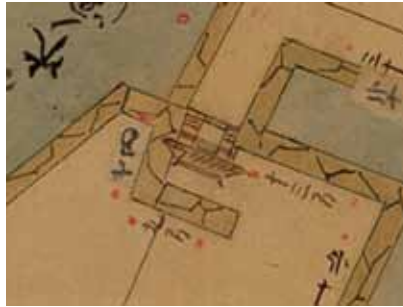
D11 中之馬場南\_桜木御門



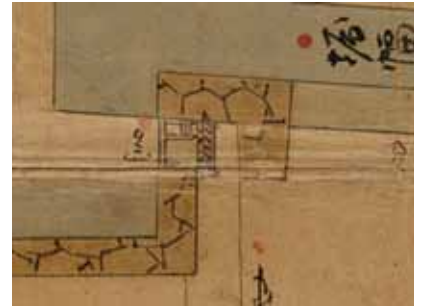
D12 中之馬場北\_小桜御門



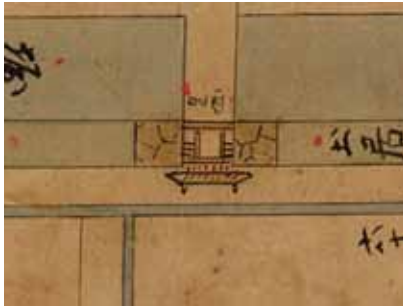
D13 観音町口御門



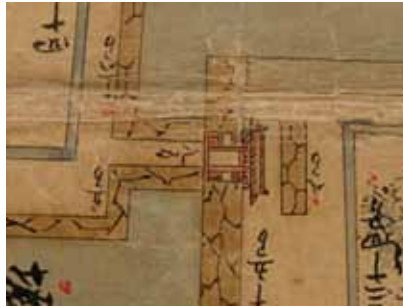
D14 元割場\_人分ヶ御門



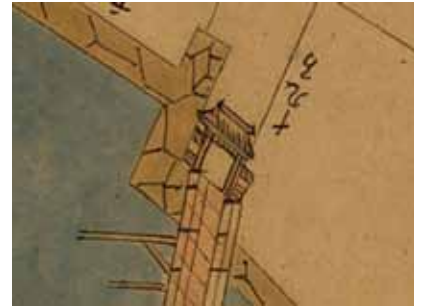
D15 不動院脇\_佐久間御門



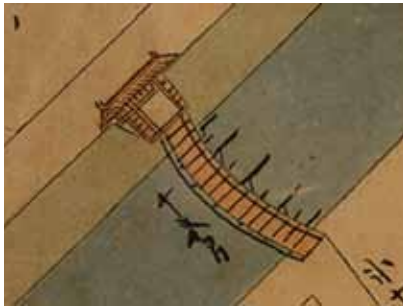
D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



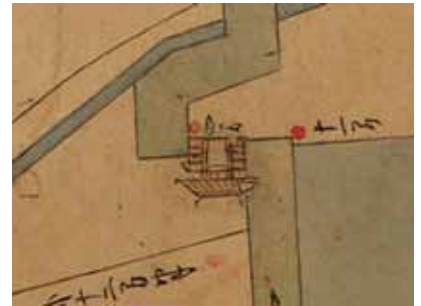
D18 大橋\_照手\_葵御門



D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



D21 地蔵町口\_奥平御門



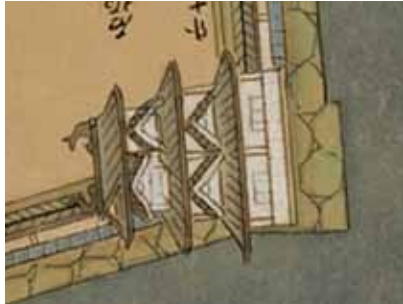
D22 加賀口\_新田御門

○「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)

櫓



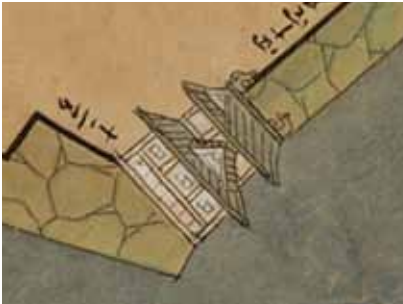
Y①坤三重御櫓



Y②巽三重御櫓



Y③北不明御門上長御櫓



Y④七ツ葺角乾御櫓



Y⑤御厩角弁慶\_信玄御櫓



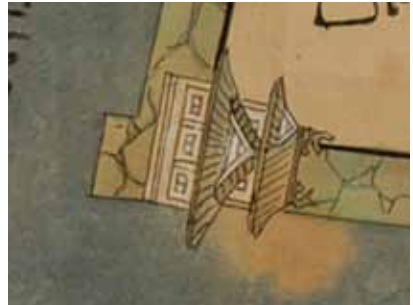
Y⑥元御作事御櫓



Y⑦二之丸御櫓



Y⑧御座所内隅御櫓



Y⑨鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩下馬御門内御櫓

最大規模の門

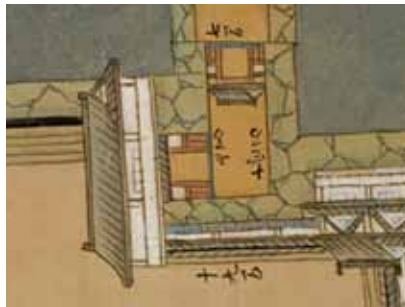


A①瓦御門



A②御座所御門 (記載なし)

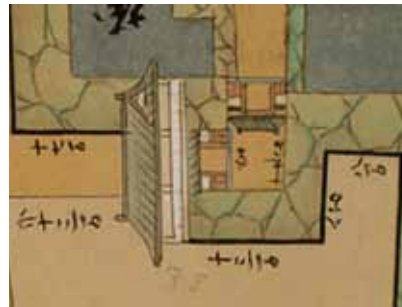
主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門

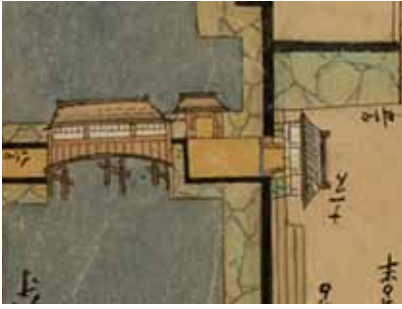


B⑫ 柳御門

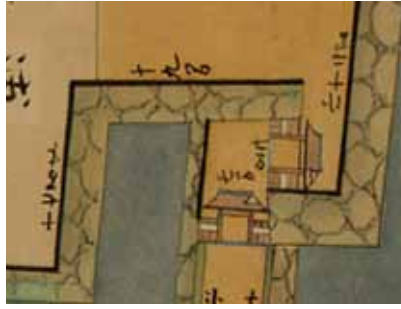


B⑬ 桜御門

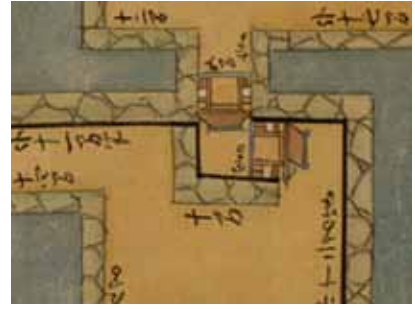
中規模の門



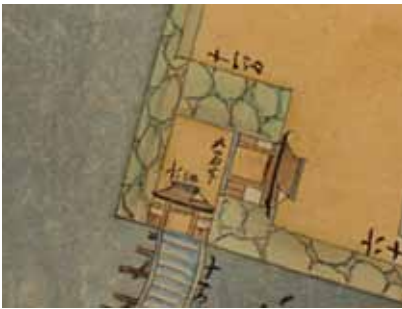
C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門



C③ 三之丸北御門



C④ 堂形\_春ル秋キ御門

小規模の門



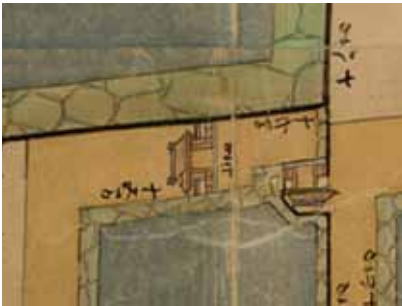
D① 山里奥御門



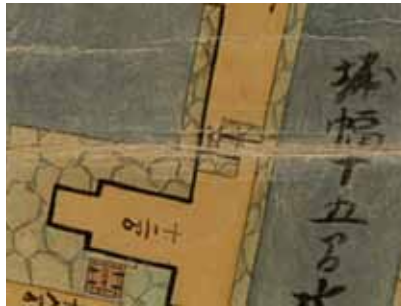
D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



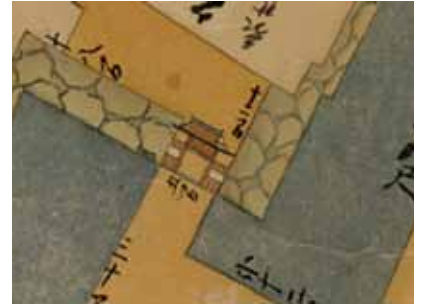
D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



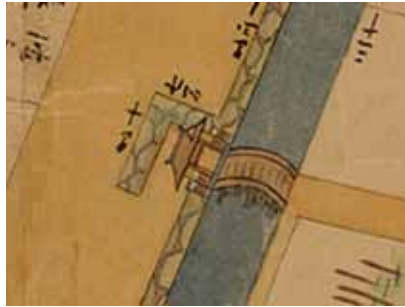
D10 御船虎谷\_舟蔵御門



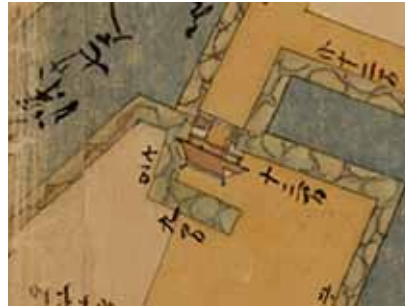
D11 中之馬場南\_桜木御門



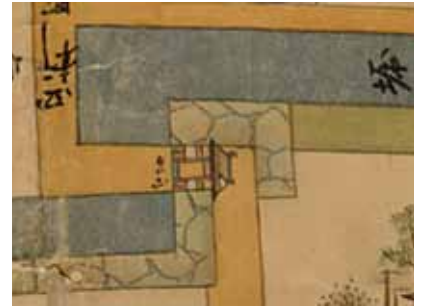
D12 中之馬場北\_小桜御門



D13 観音町口御門



D14 元割場\_人分ヶ御門



D15 不動院脇\_佐久間御門



D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



D18 大橋\_照手\_葵御門



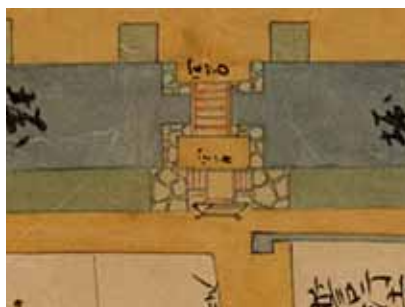
D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



D21 地蔵町口\_奥平御門



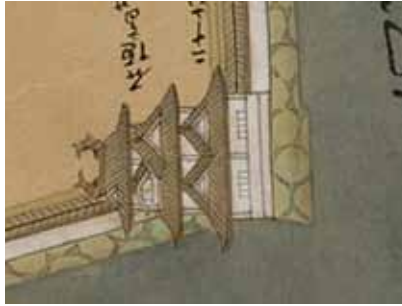
D22 加賀口\_新田御門

○「御城下之絵図 正徳四年」(1325)

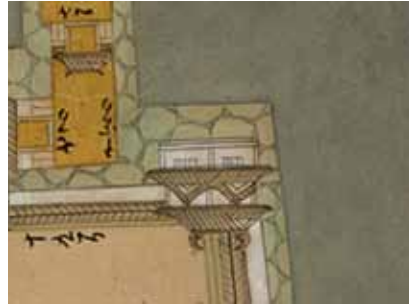
櫓



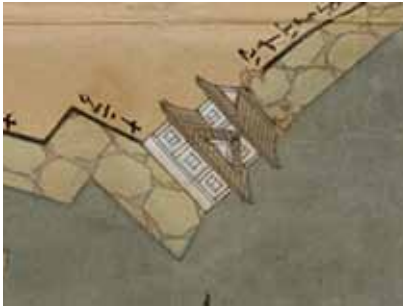
Y① 坤三重御櫓



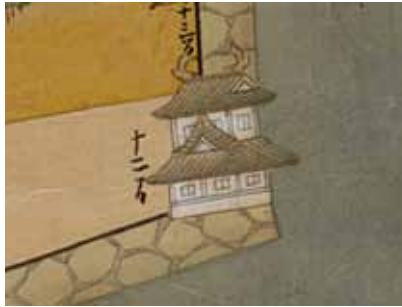
Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ セツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶\_信玄御櫓



Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓

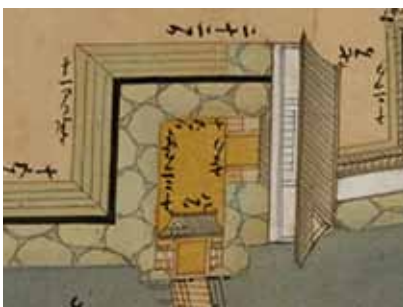


Y⑨ 鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

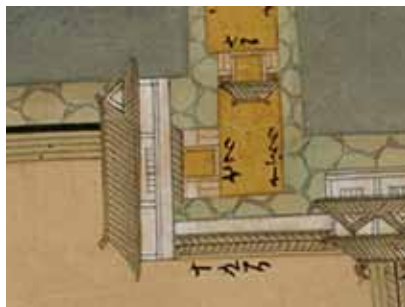


A① 瓦御門



A② 御座所御門 (記載なし)

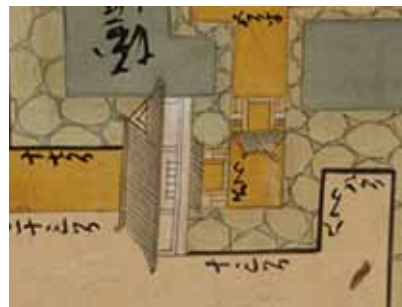
主要な門



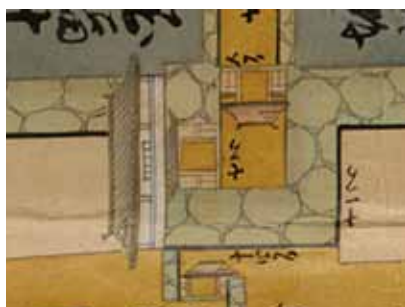
B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



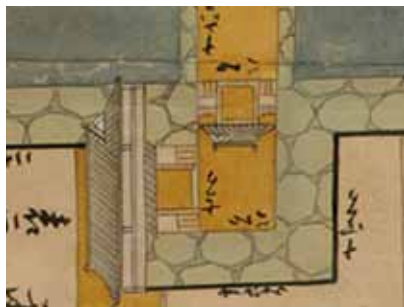
B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



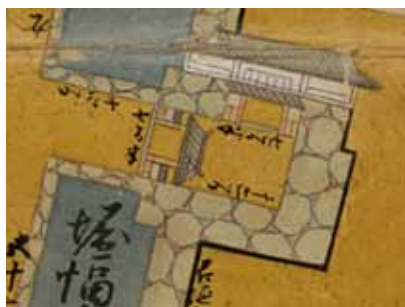
B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門



B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門



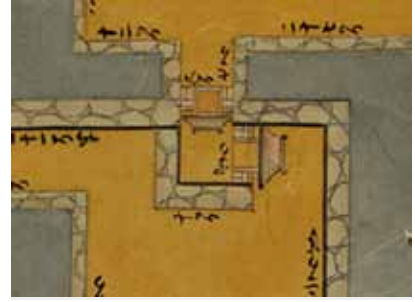
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門



C③ 三之丸北御門

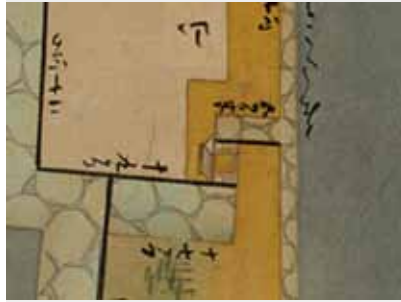


C④ 堂形\_春ル秋キ御門

小規模の門



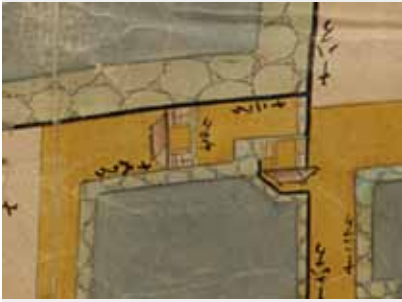
D① 山里奥御門



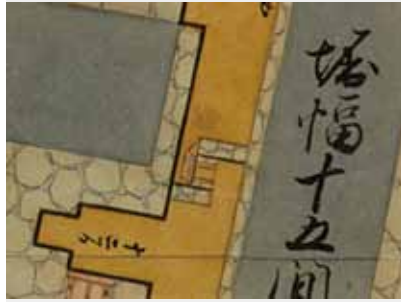
D② 南山里御門



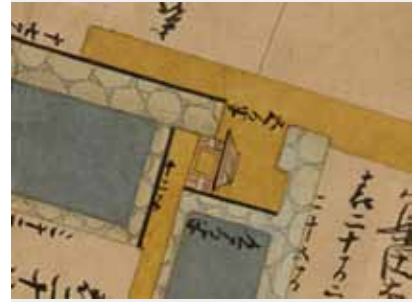
D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



D10 御船虎谷\_舟蔵御門



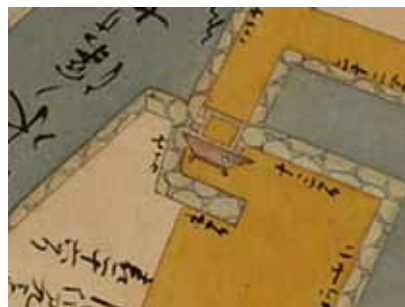
D11 中之馬場南\_桜木御門



D12 中之馬場北\_小桜御門



D13 観音町口御門



D14 元割場\_人分ヶ御門



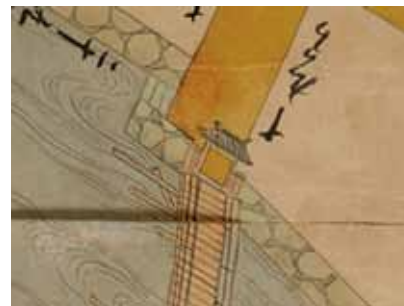
D15 不動院脇\_佐久間御門



D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



D18 大橋\_照手\_葵御門



D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



D21 地蔵町口\_奥平御門



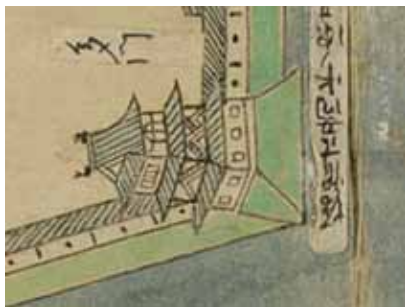
D22 加賀口\_新田御門

○「御城下絵図 安永四年」(1336)

櫓



Y① 坤三重御櫓



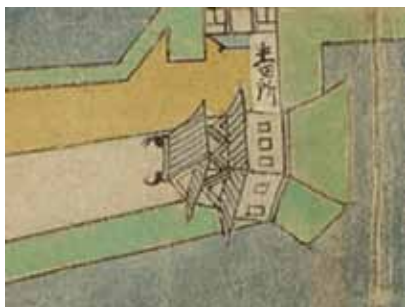
Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ 七ツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶\_信玄御櫓



Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

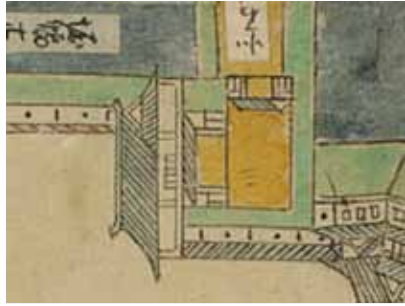


A① 瓦御門



A② 御座所御門

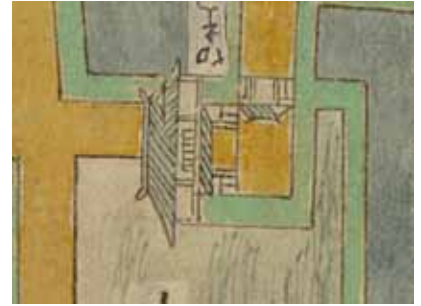
主要な門



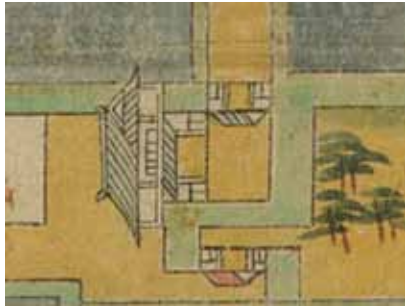
B① 北不明御門



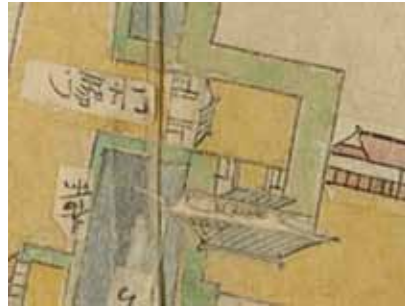
B② 太鼓御門



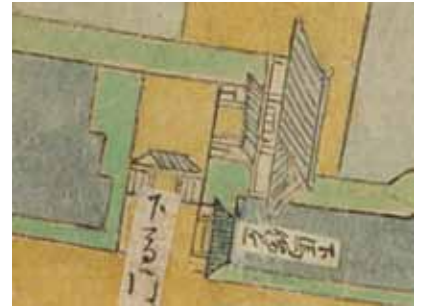
B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



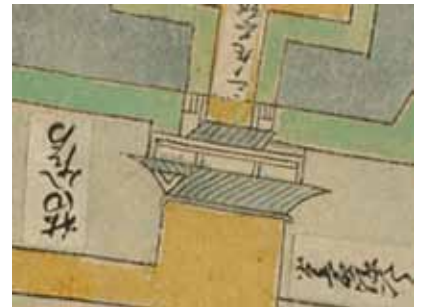
B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門

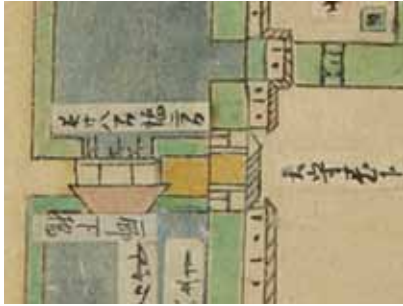


B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門

中規模の門



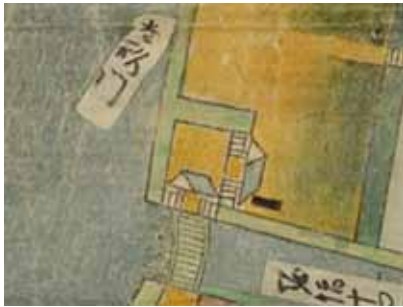
C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門

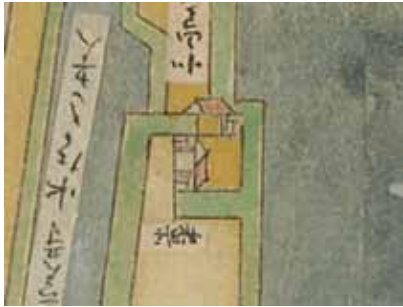


C③ 三之丸北御門



C④ 堂形\_春ル秋キ御門

小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



D10 御船虎谷\_舟蔵御門



D11 中之馬場南\_桜木御門



D12 中之馬場北\_小桜御門



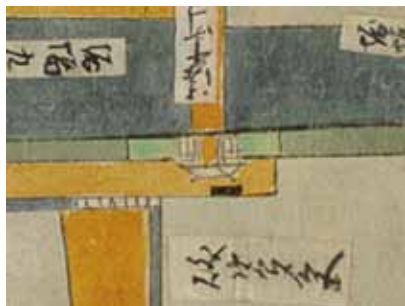
D13 観音町口御門



D14 元割場\_人分ヶ御門



D15 不動院脇\_佐久間御門



D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



D18 大橋\_照手\_葵御門



D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



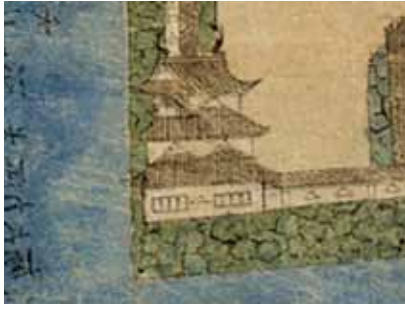
D21 地蔵町口\_奥平御門



D22 加賀口\_新田御門

○「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)

櫓



Y① 坤三重御櫓



Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ 七ツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶\_信玄御櫓



Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門



A① 瓦御門



A② 御座所御門

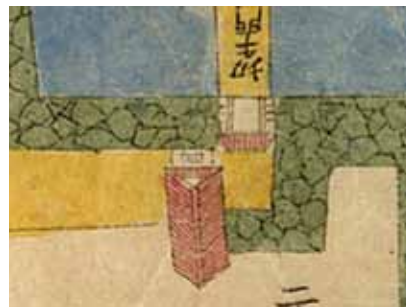
主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



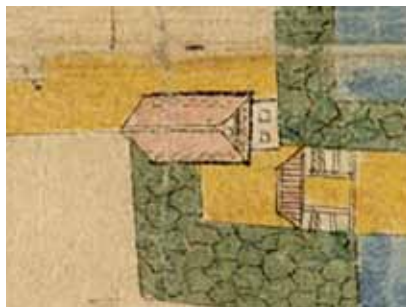
B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門



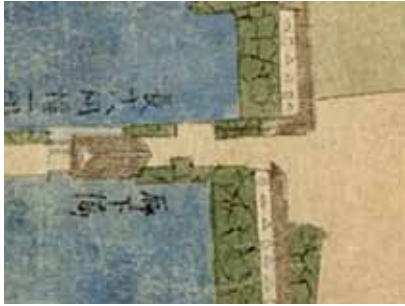
B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門



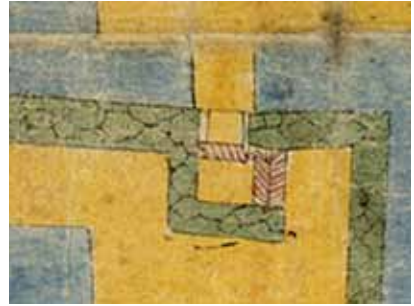
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門



C③ 三之丸北御門



C④ 堂形\_春ル秋キ御門

小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

小規模の門



D10 御船虎谷\_舟蔵御門



D11 中之馬場南\_桜木御門



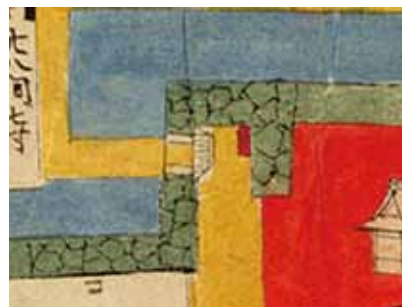
D12 中之馬場北\_小桜御門



D13 観音町口御門



D14 元割場\_人分ヶ御門



D15 不動院脇\_佐久間御門



D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



D18 大橋\_照手\_葵御門



D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



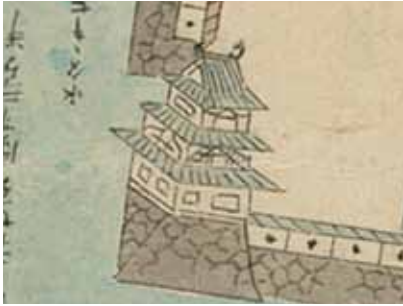
D21 地蔵町口\_奥平御門



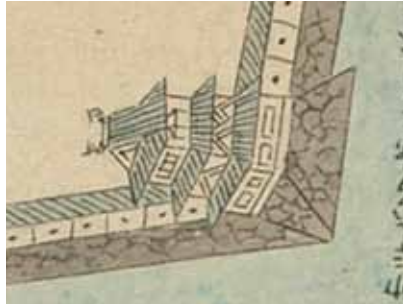
D22 加賀口\_新田御門

○「御城下之図」(1342)

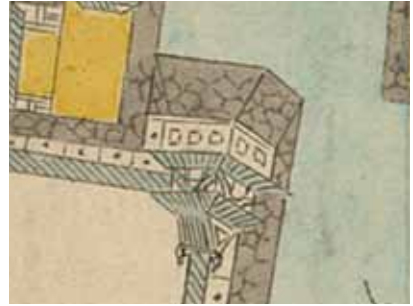
櫓



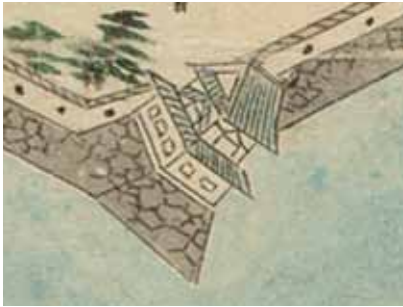
Y① 坤三重御櫓



Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ セツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶\_信玄御櫓



Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到\_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

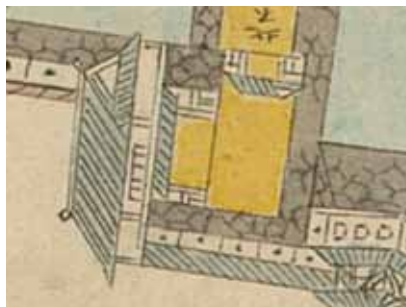


A① 瓦御門



A② 御座所御門

主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



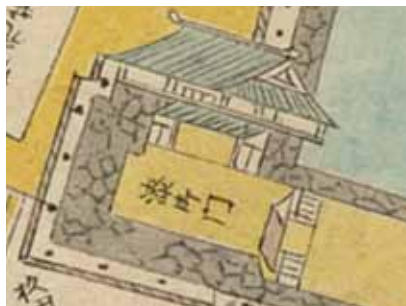
B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



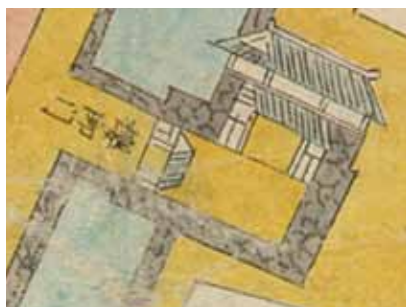
B⑩ 御鷹部屋口\_高御門



B⑪ 清水御門

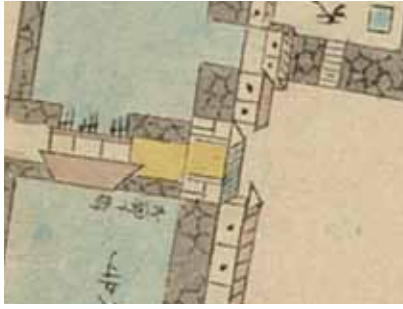


B⑫ 柳御門

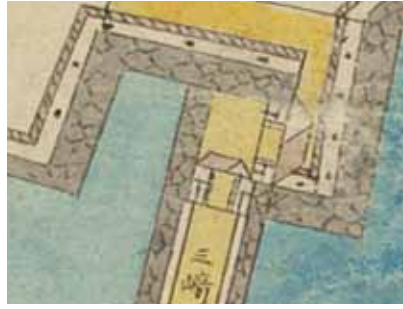


B⑬ 桜御門

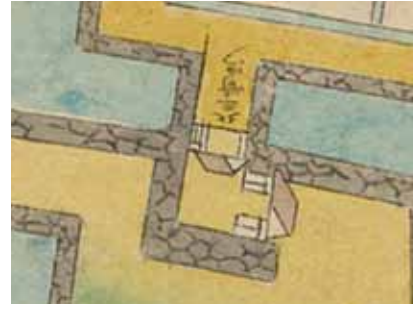
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南\_三崎御門

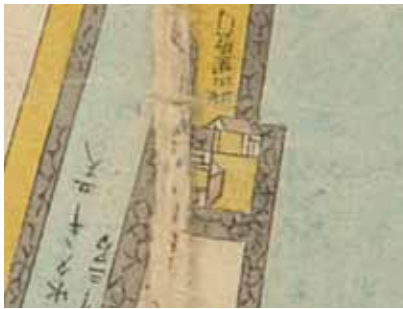


C③ 三之丸北御門



C④ 堂形\_春ル秋キ御門

小規模の門



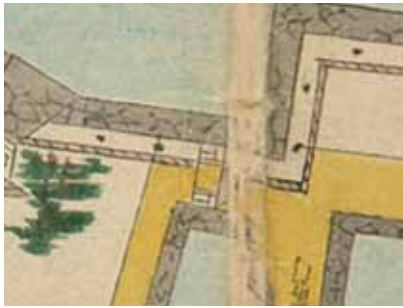
D① 山里奥御門



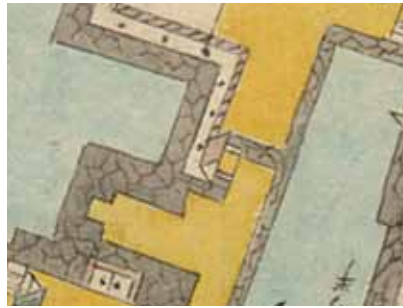
D② 南山里御門



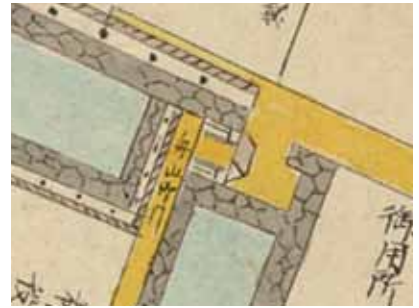
D③ 中仕切御門



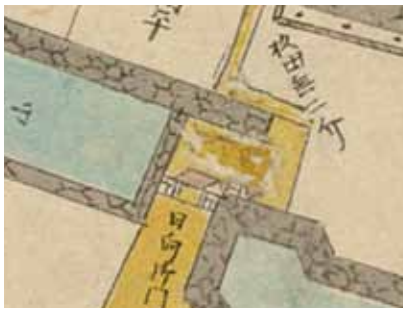
D④ 水車御門



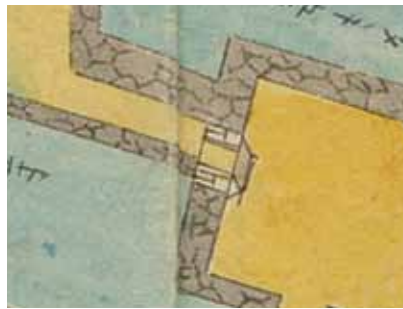
D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後\_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

小規模の門



D10 御船虎谷\_舟蔵御門



D11 中之馬場南\_桜木御門



D12 中之馬場北\_小桜御門



D13 観音町口御門



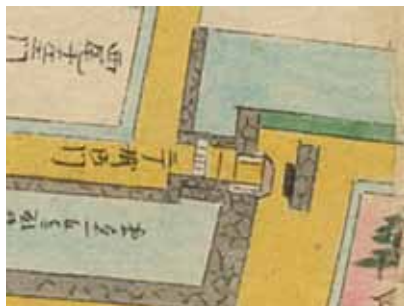
D14 元割場\_人分ヶ御門



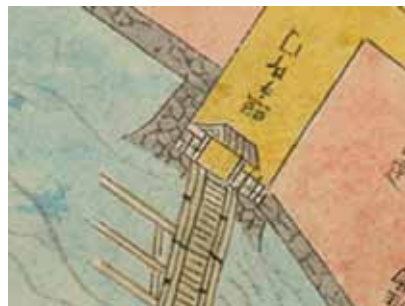
D15 不動院脇\_佐久間御門



D16 御泉水裏\_舎人御門



D17 神明脇\_二丁掛御門



D18 大橋\_照手\_葵御門



D19 勝見口\_手寄御門



D20 竹ヶ端\_日之出御門



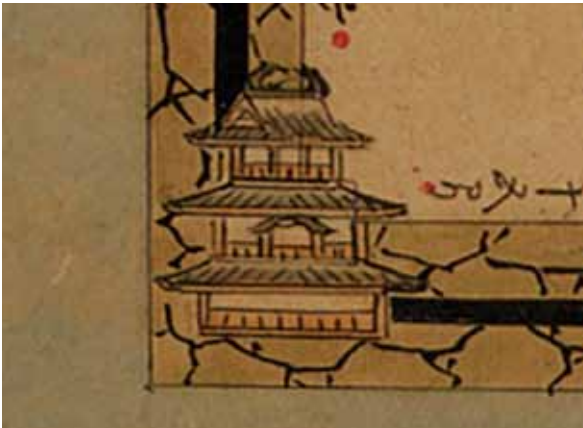
D21 地蔵町口\_奥平御門



D22 加賀口\_新田御門

## 坤櫓の詳細

代表的な城下絵図〔松平文庫蔵(福井県立図書館保管)〕拡大図



〔御城下之図 貞享二年〕(1322)



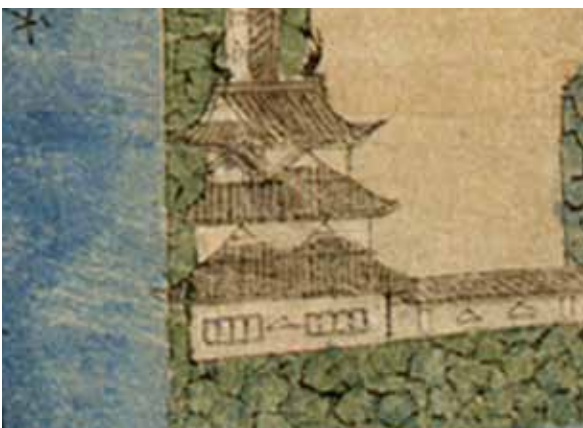
〔福居御城下絵図 貞享二年〕(1320)



〔御城下之絵図 正徳四年〕(1325)



〔御城下絵図 安永四年〕(1336)



〔福井分間之図 中村清綿 文化八年〕(1340)



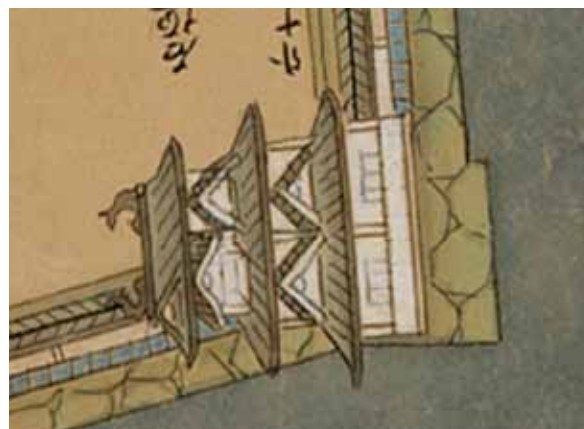
〔御城下之図〕(1342)

## 異櫓の詳細

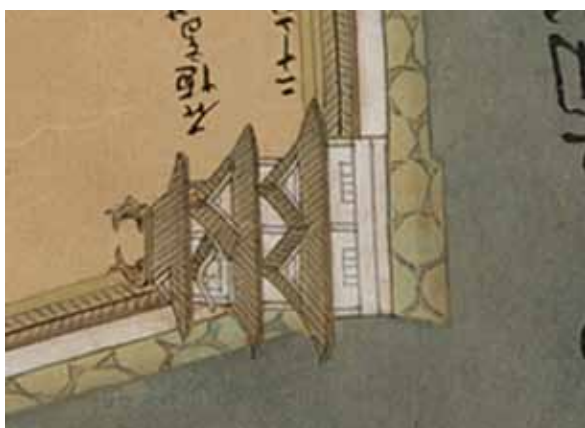
代表的な城下絵図 拡大図



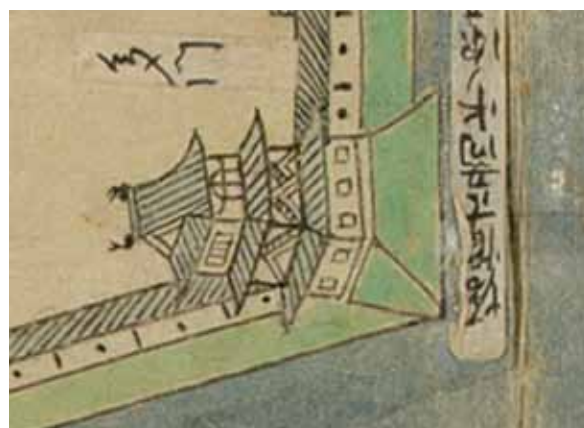
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



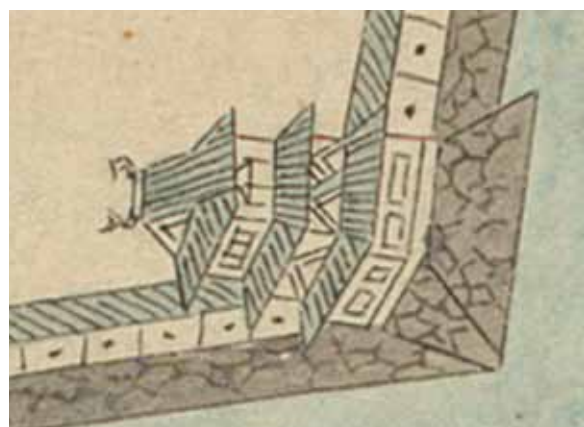
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)



## 坤櫓・巽櫓の詳細《その他の史料》

### 写真等に残る外観



『福井城舊景』  
「御本城橋之図」坤櫓 拡大図  
(福井県立図書館保管)



『福井城舊景』  
「御武具土蔵御天守台一見之図」坤櫓 拡大図



『福井温故帖』  
「本丸登城之図」坤櫓 拡大図  
(越葵文庫)



『福井城舊景』  
「御本城橋之図」巽櫓 拡大図



『福井温故帖』  
「本丸登城之図」巽櫓 拡大図

## 坤櫓・巽櫓の詳細《その他の史料》

---

### 写真等に残る外観



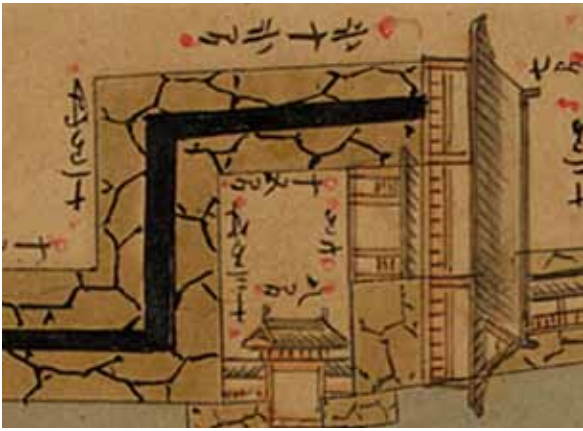
〔『福井温故帖』〕「巽櫓之図」拡大図  
(個人蔵)



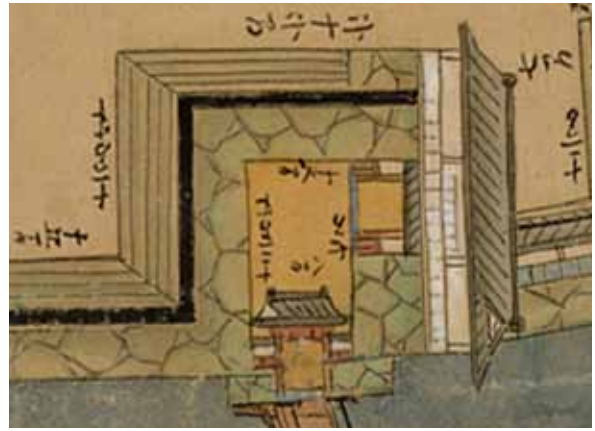
〔明治初年 福井城郭写真〕「本丸巽三重隅櫓」  
(春嶽公記念文庫)

# 瓦門の詳細

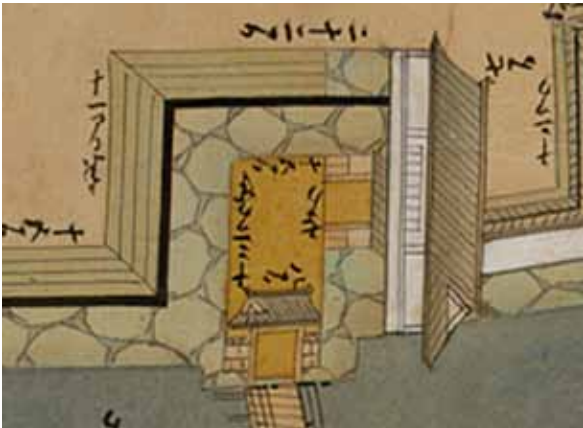
代表的な城下絵図 拡大図



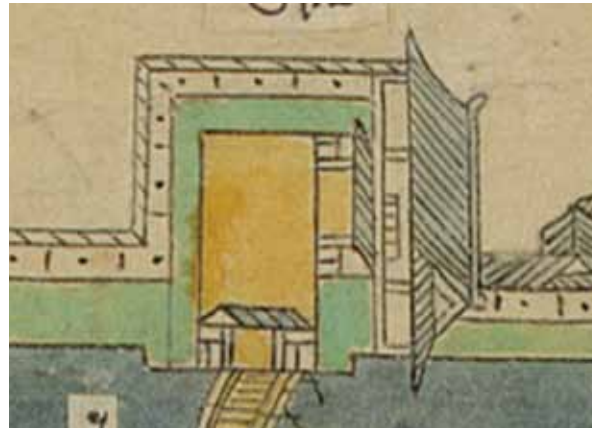
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



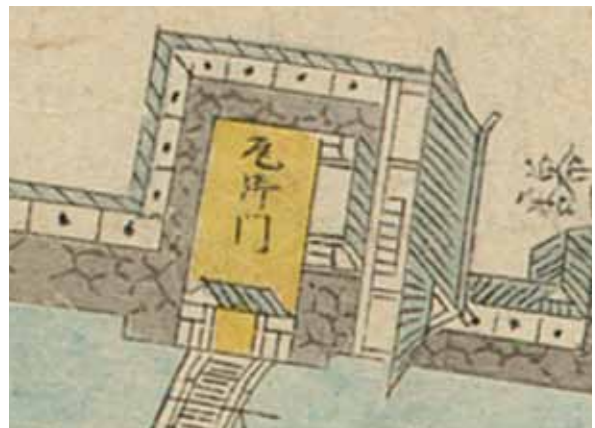
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



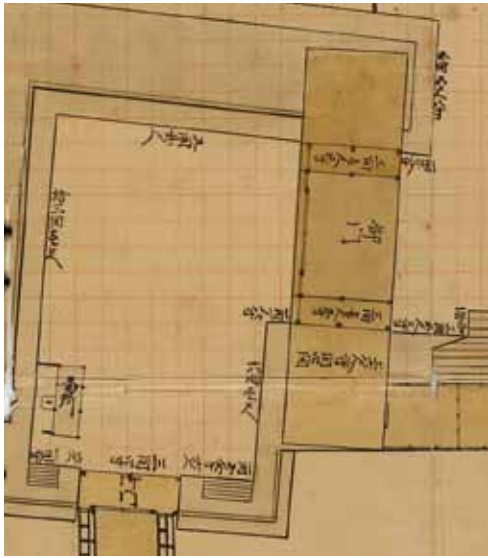
「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



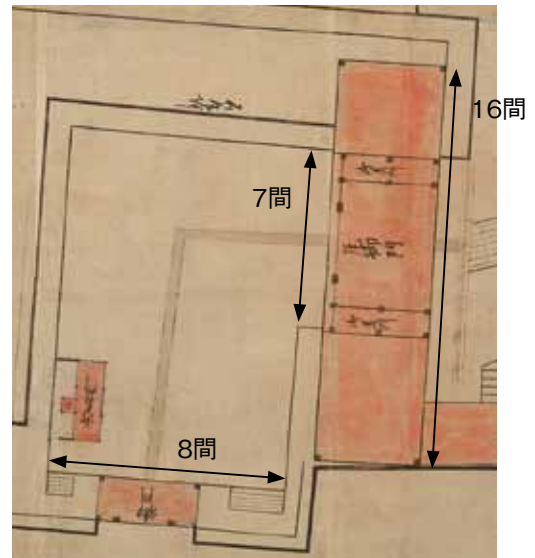
「御城下之図」(1342)

## 瓦門の詳細《その他の史料》

絵図に記された柱位置 および 平面規模



「福井城本丸御建物図」(1370) 拡大図  
(福井県立図書館保管)



「御本丸御殿ノ図」(1371) 拡大図  
(福井県立図書館保管)

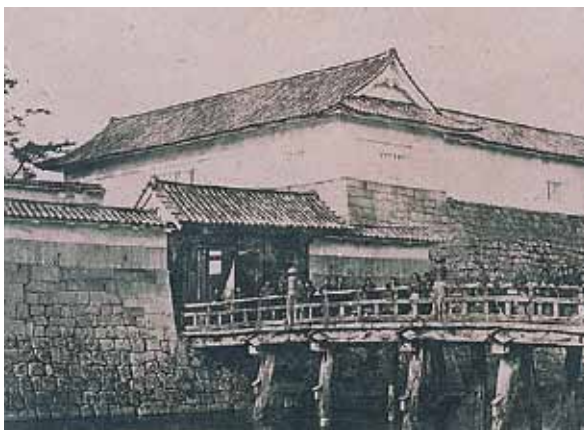
写真等に残る外観



『福井城舊景』瓦御門 拡大図



『福井温故帖』「本丸登城之図」瓦御門 拡大図



『明治初年 福井城郭写真』  
「本丸瓦門及御本城橋」瓦御門 拡大図  
(春嶽公記念文庫)



絵葉書「陸軍特別大演習大本営福井県庁」  
(吉川侃利氏蔵)

# 下馬御門の詳細

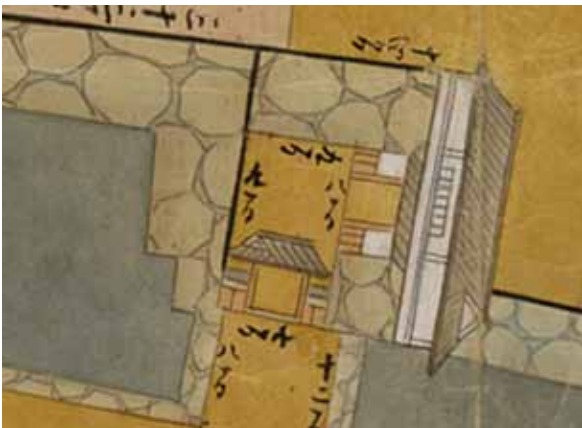
代表的な城下絵図 拡大図



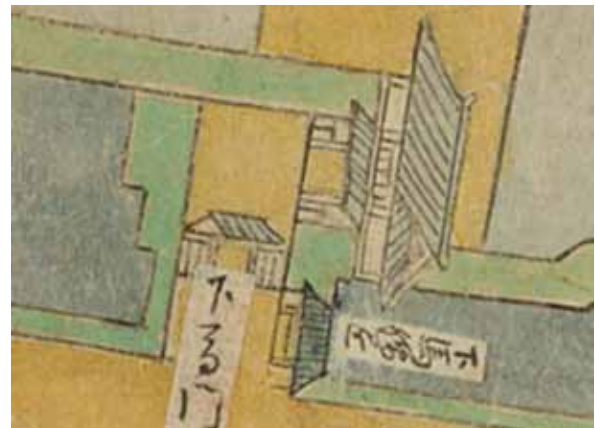
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



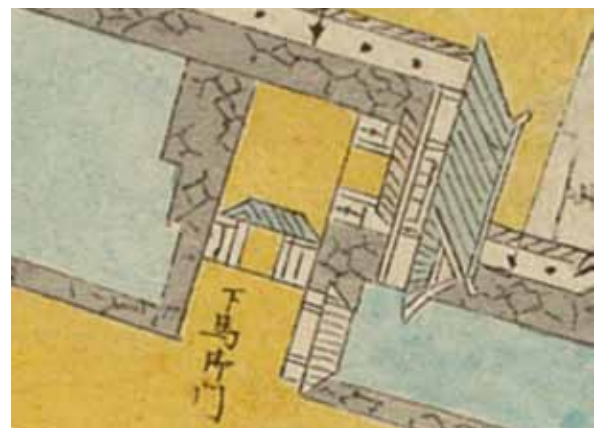
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

## 桜御門の詳細

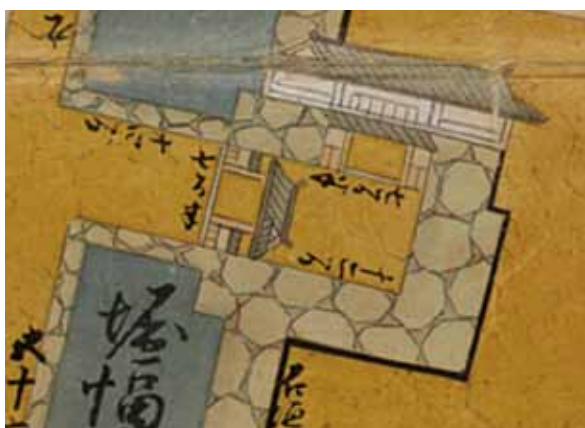
代表的な城下絵図 拡大図



「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



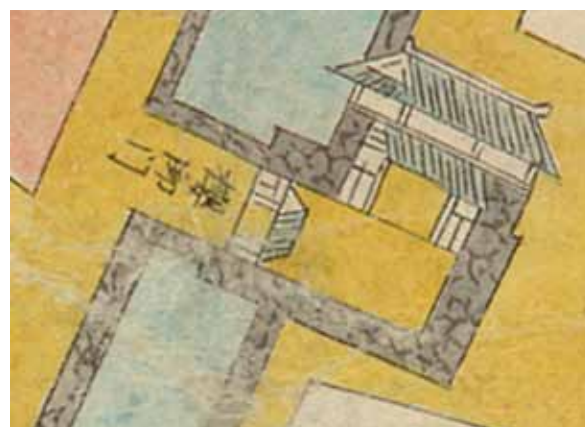
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

## 下馬御門・桜御門の詳細《その他の史料》

### 写真等に残る外観



『福井城舊景』下馬御門前 拡大図



『福井温故帖』(百間堀・下馬御門) 拡大図



『福井藩十二か月年中行事絵巻』  
「十一月 献上寒鱈早駈の図」下馬御門 拡大図  
(春嶽公記念文庫)



『福井温故帖』桜御門之図 拡大図



『爆竹調馬之図絵』桜御門 拡大図  
(越葵文庫)



『夢楽洞絵馬\_馬威図』(復元複製品) 桜御門 拡大図  
(福井県立歴史博物館蔵)

## 下馬御門・桜御門の詳細《その他の史料》

### 写真等に残る外観



『江戸—福井往還図屏風』桜御門 拡大図  
(福井県立歴史博物館蔵)



『江戸—福井往還図屏風』桜御門 拡大図  
(福井県立歴史博物館蔵)

### 下馬御門石垣の写真



「福井古城址照影」(福井県立図書館蔵)



絵葉書「福井市舊城入口」(吉川侃利氏蔵)



石川光陽氏 撮影 (石川令子氏蔵)



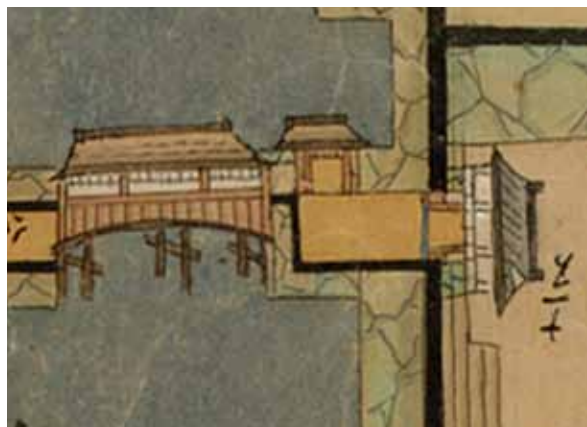


## 山里口御門の詳細

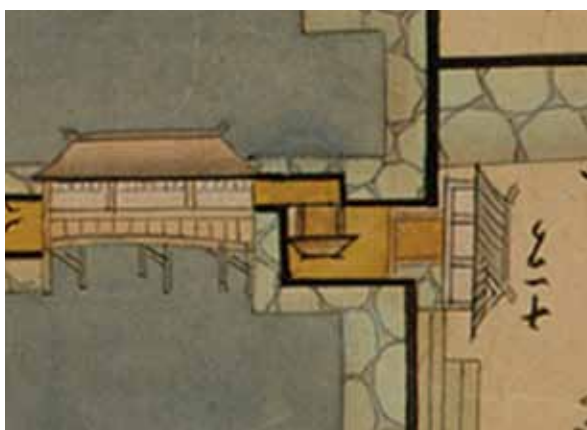
代表的な城下絵図 拡大図



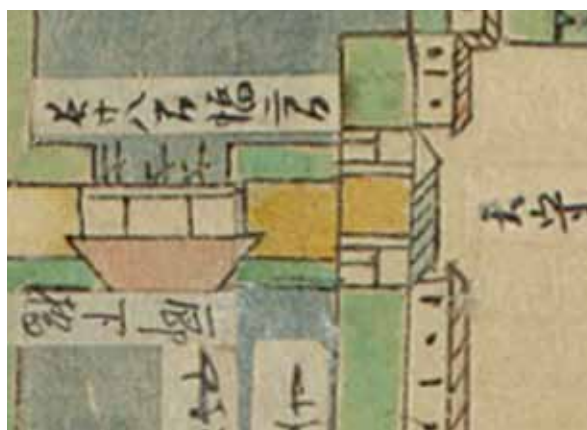
〔御城下之図 貞享二年〕（1322）



〔福居御城下絵図 貞享二年〕（1320）



〔御城下之絵図 正徳四年〕（1325）



〔御城下絵図 安永四年〕（1336）



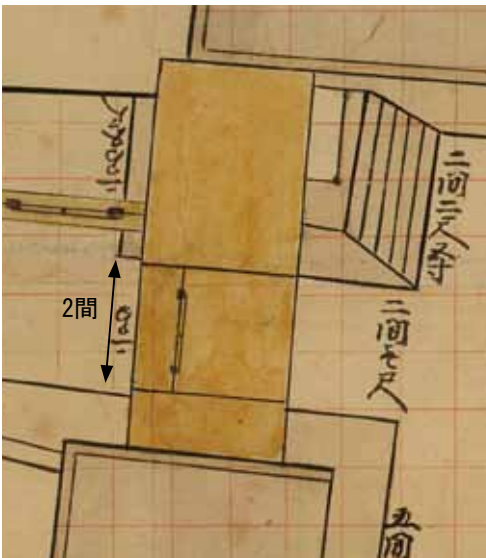
〔福井分間之図 中村清綿 文化八年〕（1340）



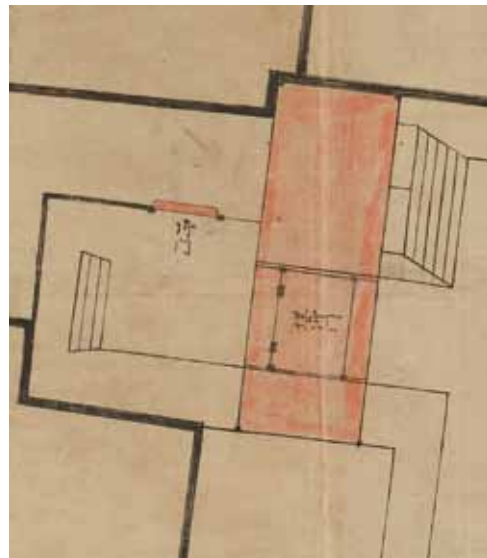
〔御城下之図〕（1342）

## 山里口御門の詳細《その他の史料》

絵図に記された柱位置 および 平面規模

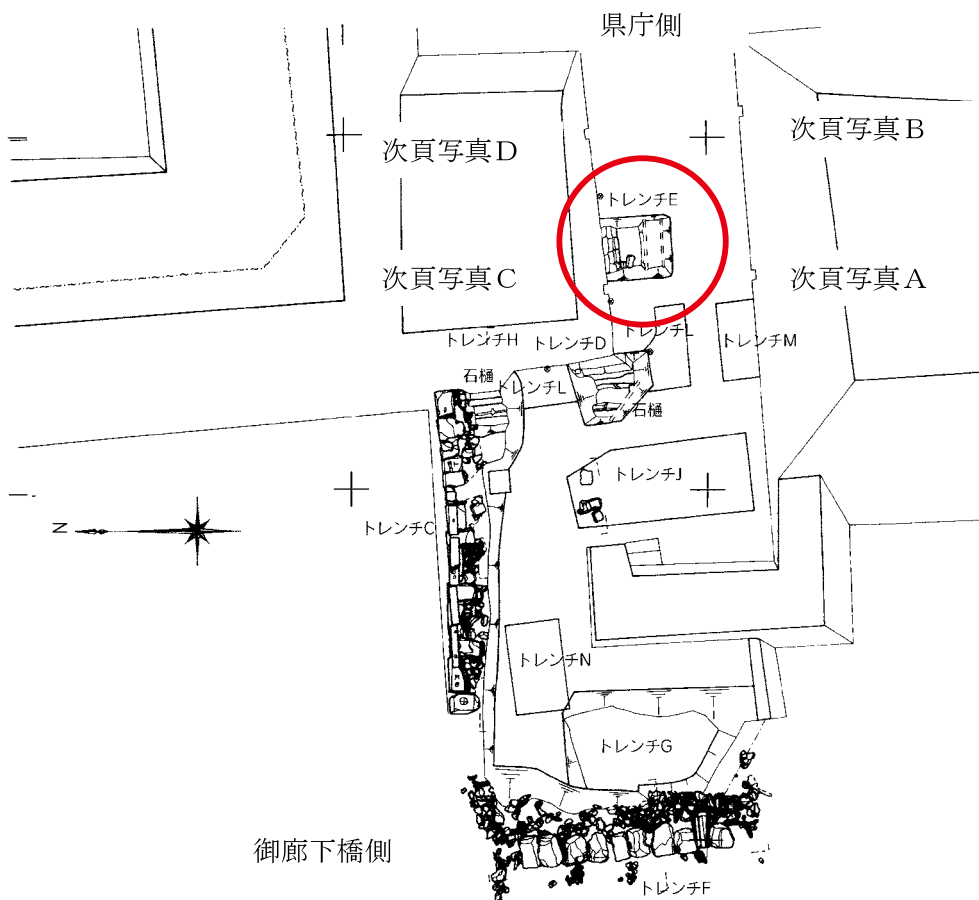


「福井城本丸御建物図」拡大図  
(松平文庫(1370) 福井県立図書館保管)



「御本丸御殿ノ図」拡大図  
(松平文庫(1371) 福井県立図書館保管)

現況と過去の発掘調査の結果



「御廊下橋復元整備事業報告書」平成21年(福井県)

現況写真A



現況写真B



現況写真C



現況写真D



トレンチE写真 (H19年度)



トレンチE横 (S61年度)



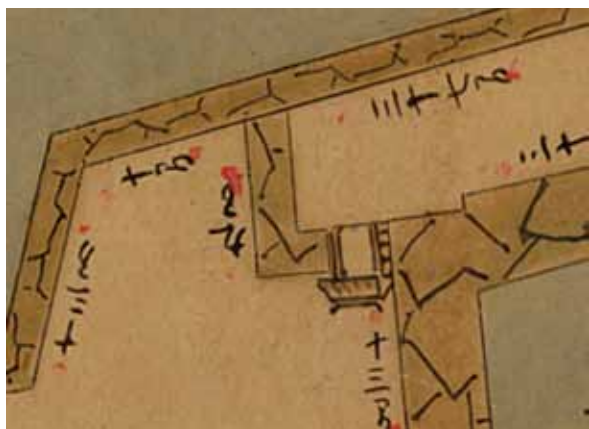
写真等に残る外観



『明治初年 福井城郭写真』「本丸御廊下橋遠景」拡大図  
(春嶽公記念文庫)

## 中仕切御門の詳細

代表的な城下絵図 拡大図



「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



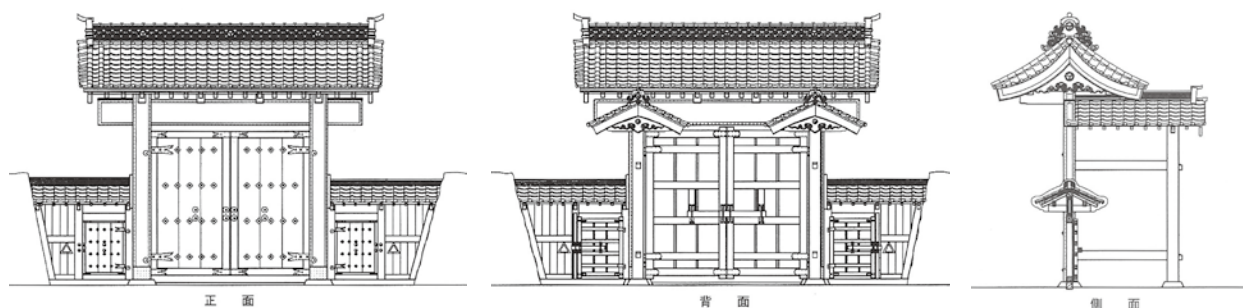
「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

## 同じ規模と推定される舎人門の概要

### 復原された舎人門の立面図



〔福井城舎人門遺構復原整備事業報告書〕平成17年（福井市）

### 復原の参考とした照手門



『明治初年 福井城下写真』「九十九橋」  
(春嶽公記念文庫)

### 復原された舎人門の概要 (福井城舎人門遺構復原整備事業報告書から抜粋)

- ・復元の時代設定 幕末期
- ・門の形式 高麗門
- ・屋根 切妻造越前赤瓦葺き
- ・基本部材の寸法 本柱 1尺4寸5分×9寸  
控柱 9寸角



---

## 第6節 城郭について

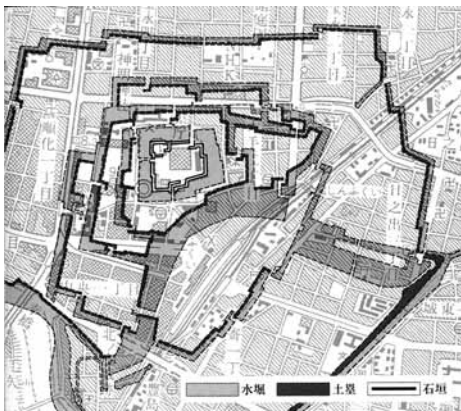
---

この節では、現在の市街地に対する当時の城下町の配置とともに、近隣藩や徳川御三家の城下町の規模と比較する。



# 城郭規模の比較

福井城(福井藩・68万石)



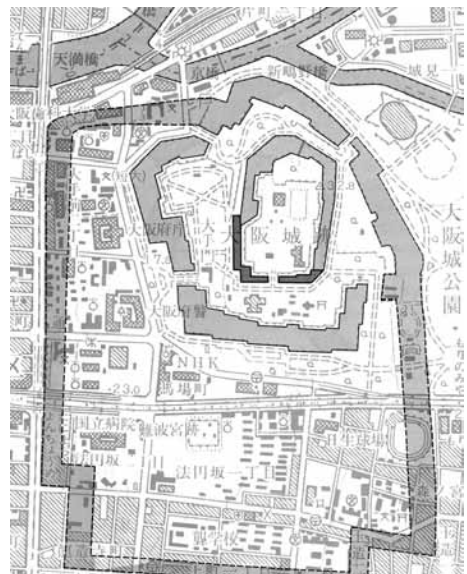
近隣藩等



金沢城  
(加賀藩・122万石)

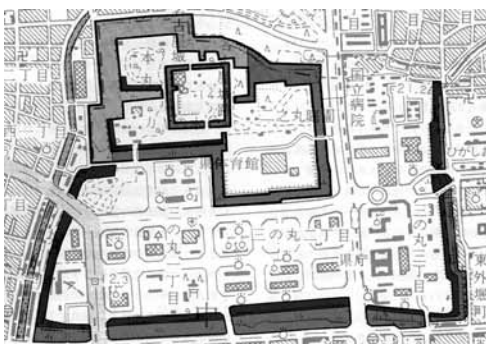


富山城  
(富山藩・10万石)



大阪城

徳川御三家



名古屋城  
(尾張藩・47万石)



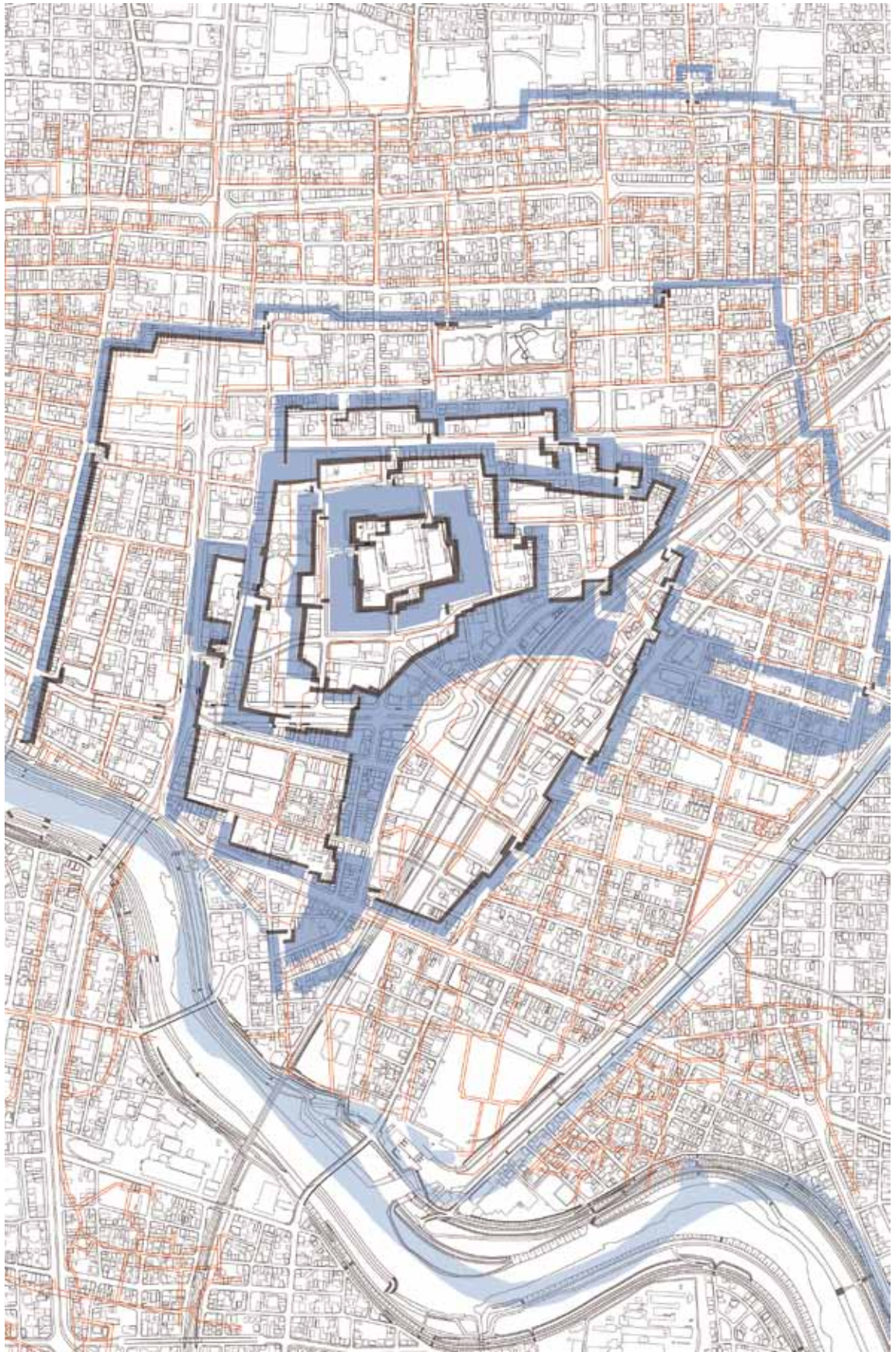
和歌山城  
(紀州藩・55万石)



水戸城  
(水戸藩・35万石)

出典:「日本名城図鑑」(株式会社理工学社発行)

## 城郭新旧対照図



「松原信之氏 福井御城下之絵図（文化3年）による」



## 第7節 史料調査の結果

第2節から第5節においてまとめた、各施設の歴史的史料の調査状況および復元整備の可能性についての検討結果を示す。

### ○ 総 括

- ・ いずれの施設も、平面図、立面図、外観、内装のすべてが分かる完全な史料は確認できていない。
- ・ 御廊下橋、舎人門の復元時と同様に、他城郭の史料等をもとにした考証を行い、復元のための設計をすることが必要である。
- ・ 復元にあたっては、時代設定に留意する必要がある。

### ○施設ごとの調査史料等

施設名		平面関係	立面関係	外観等	現況
本丸御殿		「御本丸御殿ノ図」他	—	「福井城舊景」	県庁舎等が立地
御天守		「御天守絵図」	「御天守絵図」	「御天守絵図」	天守台が残存
御座所		「御座所御絵図」他 試掘調査を実施 明治期の図面等を確認	—	「福井城舊景」	中央公園等
櫓	坤櫓	—	—	「福井城舊景」他 城下絵図	更地
	巽櫓	—	—	写真 「福井城舊景」他 城下絵図	更地
門A	瓦御門	「御本丸御殿ノ図」他	—	写真 「福井城舊景」 城下絵図	枳形石垣が撤去済み
門B	下馬御門	—	—	石垣写真を確認 「福井城舊景」 城下絵図	民間施設または道路
	桜御門	—	—	「福井城舊景」他 城下絵図	道路の可能性
門C	山里口御門	「御本丸御殿ノ図」他 基礎石の遺構確認済み	石垣に柱跡あり	写真(一部) 城下絵図	枳形石垣が残存
門D	中仕切御門	—	—	城下絵図	道路の可能性

※アンダーラインは今回の調査で新たに確認された史料等

## ○施設ごとの調査結果（詳細）

### 本丸御殿

- ・「御本丸御殿ノ図」等から、本丸御殿の間取りが把握できる。

### 御天守

- ・「御天守絵図」に、天守台の配置が記載されており、天守台の発掘調査を行い、絵図面の寸法と合致することを確認できれば、復元可能性は高い。図面上の大きさより、現況の方が一尺ほど大きいのが、礎石位置はほぼ合致する。
- ・同絵図は、寛文大火後の再建のための図面との意見もあるが、建築の形式をみると初期のものと考えられる。史料の年代を解明する必要がある。

### 御座所

- ・「御座所御絵図」等から、御座所の間取りが把握できる。
- ・発掘調査を継続し、御座所の遺構を確認する必要がある。

### 坤櫓、巽櫓

- ・写真が存在するため、更に解析を行うことで規模等が推測できる。発掘調査により平面位置を確認できれば、復元可能性は高い。
- ・隅の柱位置にある土台の石にはノミの跡もあり、天端の石垣自体は残っている。

### 瓦御門

- ・写真が存在するため、更に解析を行うことで規模等が推測できる。枡形の石垣が壊されているが、地下には石垣基礎が残る可能性もあり、平面位置が確認できれば、復元の可能性は高い。
- ・基本的な城の構造を復元するという点で、枡形石垣を復元する価値は高い。
- ・現況は自動車等の出入り口となっており、県庁舎等の移転時に、復元整備の在り方を検討することが適当である。

### 下馬御門、桜御門、中仕切御門

- ・桜御門は、絵画史料が多数残っている。
- ・現況が道路などであり復元は難しい。将来的に道路の付替えがあれば、跡地での復元を検討することは可能と考えられる。

### 山里口御門

- ・現況で、当時の枡形石垣が残り、石垣には柱跡や屋根の傾斜跡が残っているため、短期的な復元の可能性が最も高い。
- ・地盤面が約1m上がっているため、本来の姿にするなら、その分掘り下げる必要がある。周辺との段差が生じる点を対処する必要がある。

## 第Ⅲ部 資料編



## 第1節 県民等からの史料募集結果

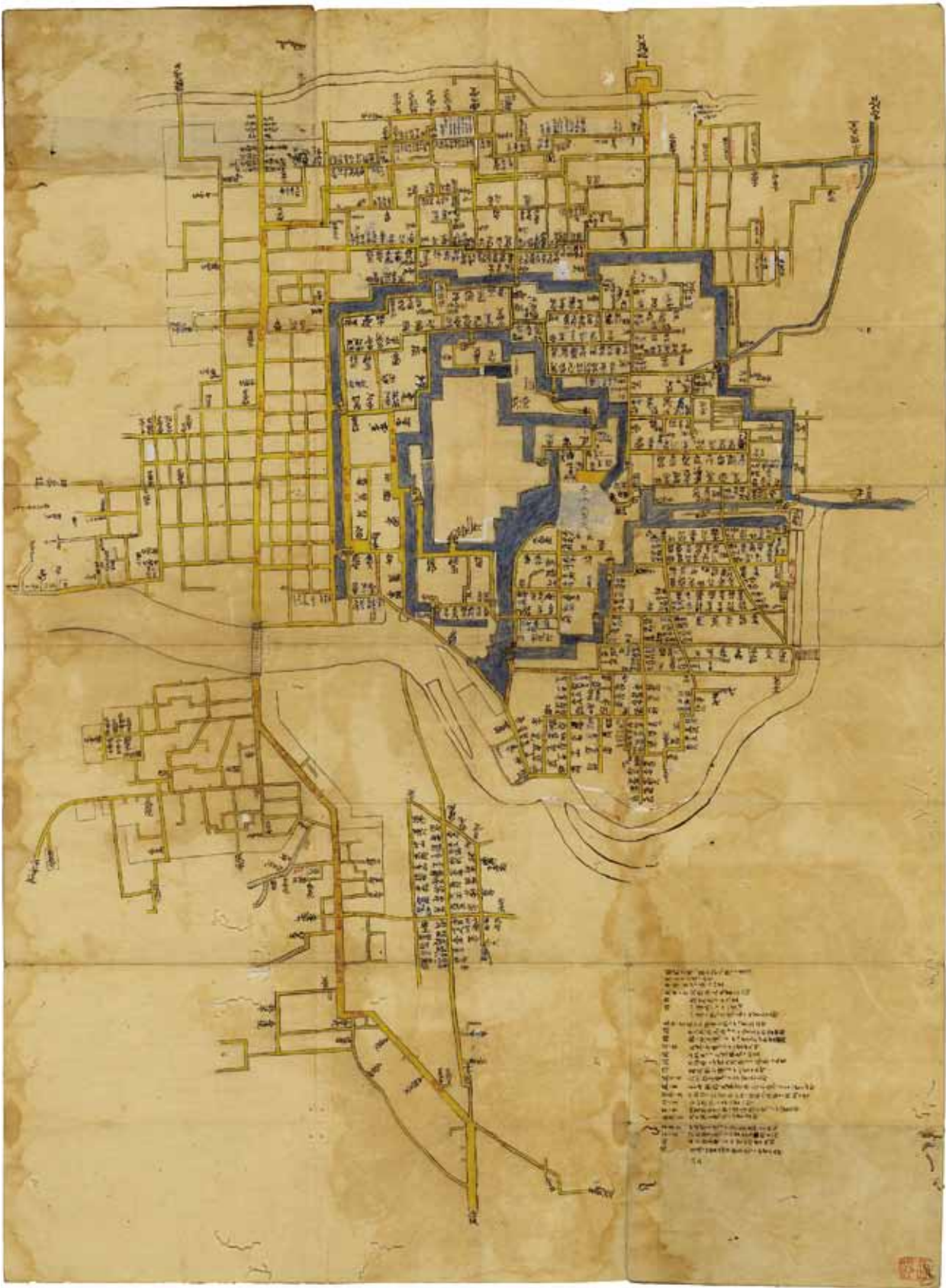
森永和昌氏蔵



「慶長御城下絵図」



森永和昌氏蔵



「天保福井御城下絵図」

『福井古城址照影』(福井県立図書館蔵)



「侯爵邸前から佐佳枝神社にでる道」



「農場の入り口」



「元福井中学校門前」



「元福井中学校門前から県庁に通ずる道」



佐佳枝神社蔵 古写真



絵葉書「越前福井城址内堀の櫻」

吉川侃利氏蔵 絵葉書



「陸軍特別大演習大本營福井県庁」



「福井市舊城入口」



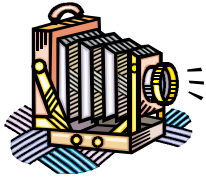
「福井城藩主松平邸」



「大阪朝日毎日新聞飛行機撮影」

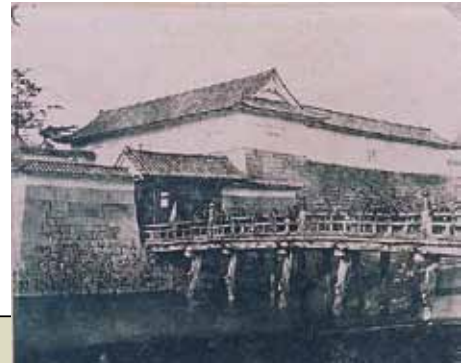
石川光陽氏 撮影(S20) (石川令子氏蔵)





## 福井城に関する史料を募集します！

県と福井市では、2050年を見据えた県都福井のまちづくりの指針となる「ふくい県都ビジョン（仮称）」の策定を進めています。この中で、歴史を活かした福井城址と中央公園の一体的整備について検討するため、福井城等に関する歴史的史料を収集し、復元整備の可能性について検討を行います。ご自宅などに昔の写真や古文書などがありましたら、是非、情報をお寄せください。



福井城本丸瓦御門・御本城橋  
（福井市立郷土歴史博物館蔵）



### 募集の概要

#### ○募集する史料

写真、絵図や掛け軸・屏風絵、古文書等

#### ○対象となる施設

福井城に関する諸施設

※天守、山里口御門等の各御門、坤櫓等の各櫓、御座所、石垣等

福井城以外の施設

※時鐘楼、異人館、三秀園、偉人の生家、その他、江戸期から昭和初期の建造物等

※現存する施設や一般的な民家・商家等は除きます

#### ○募集の方法

ご家庭にある歴史的な史料をデジタルカメラで撮影し、画像データを電子メールにてお送りください。

デジタルカメラをお持ちでない方は、お電話にてご相談ください。

※お送りいただく際には、お名前、ご住所、連絡先を必ずお書きください

#### ○応募いただいた史料の確認

お送りいただいた史料は、専門家の方にご確認いただき、必要に応じてご自宅等で拝見させていただく場合もありますので、ご協力をお願いします。

（県の担当者から、ご記入いただいた連絡先に連絡させていただきます）



異人館（グリフィス客館）  
（福井市立郷土歴史博物館蔵）

### 問合・送付先：

#### 福井県総合政策部政策推進課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

E-Mail: [seisaku@pref.fukui.lg.jp](mailto:seisaku@pref.fukui.lg.jp)

Tel: 0776-20-0258 / Fax: 0776-20-0623

県都デザイン戦略の詳細は、県のホームページをご覧ください

🔍 [「県都デザイン戦略」](#)で検索



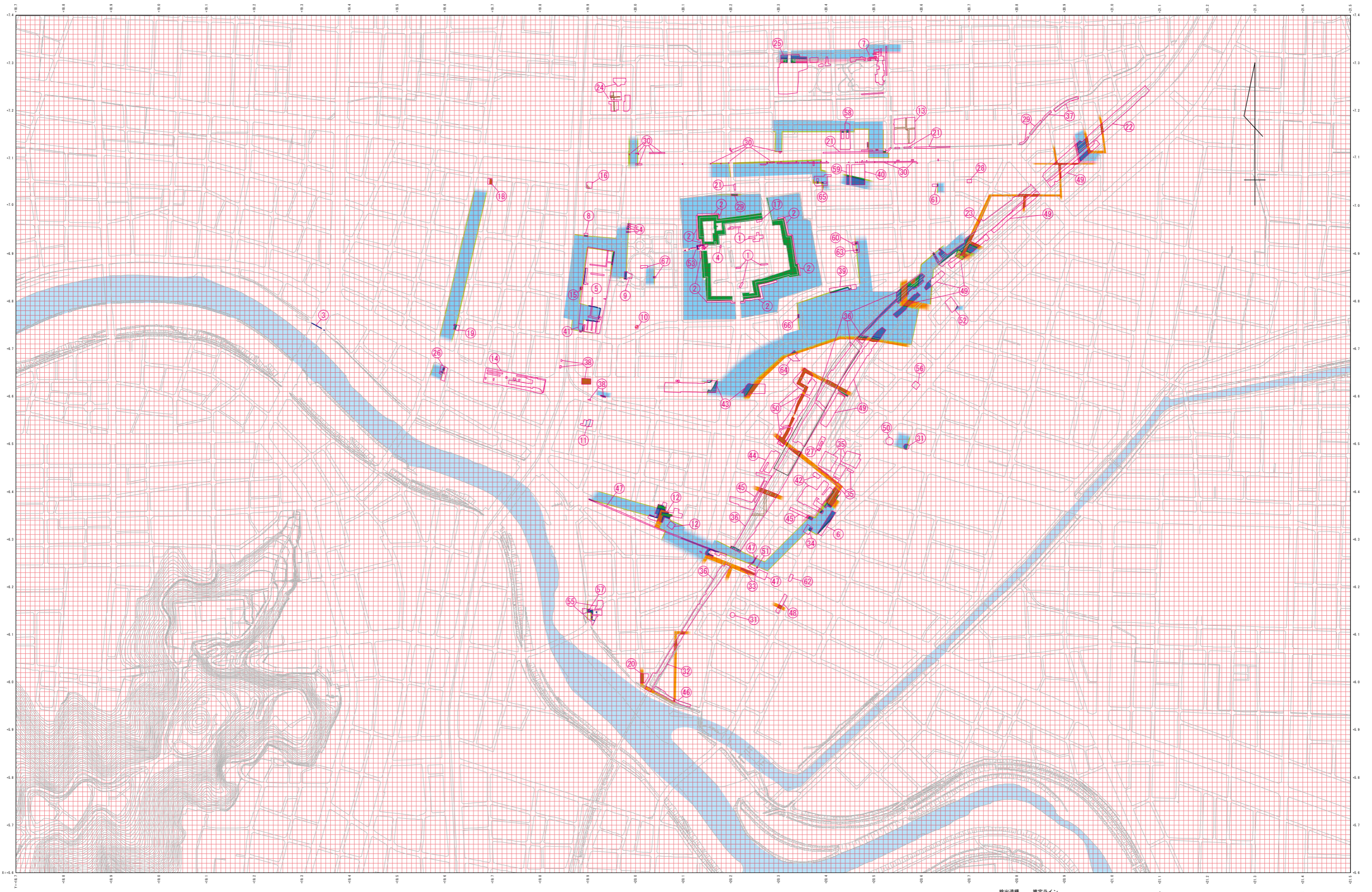
## 第2節 過去の埋蔵文化財調査の実施状況

### 福井城跡に関する発掘調査一覧

	調査地		原因	調査年度	遺構		遺物	調査主体
1	大手3丁目17-1	県庁	県庁舎建設	1978、'79	石垣、水路、井戸	本丸、御台所	焼塩壺、越前焼播鉢、土師質皿	県教委
2	大手3丁目17-1	県庁	石垣修復	1979	石垣	本丸		県教委
3	中央3丁目	九十九橋	橋架け替え	1984	石垣	照手門	陶磁器、木製品(膳、櫛、木札、包丁の柄、漆椀など)金属製品(五徳、鉄、毛抜、火箸、髪飾、こうがい、釘、包丁、釣針、キセル、金箱など)、銭、石製狛犬	県
4	大手3丁目17-1	県警本部	県警察庁舎建設	1986	門跡、石垣の基礎	本丸		県
5	大手3丁目	御屋形地区	御屋形地区再開発	1988、'90'91	石垣、石製暗渠	西三の丸作事所	瓦、石瓦、播鉢	市教委
6	手寄1丁目20-1		ビル新築工事	1989				市教委
6	手寄1丁目地係		道路改良	2010				市教委
7	宝永3丁目	養浩館	庭園整備	1990、91	礎石建物、柱穴、排水路、土居跡	御泉水屋敷(藩主別邸)	陶磁器、灯明皿、焼塩壺、瓦、石瓦	市教委
7	宝永3丁目	養浩館	電線共同溝整備	1999	景石、遺り水、堀、土居	御泉水屋敷庭園		市教委
8	大手3丁目14-3	個人住宅	新築工事	1992	内堀石垣	屋敷地		市教委
9	大手3丁目11	中央公園	再開発事業に伴う公園整備	1992	御座所外堀石垣	屋敷地		市教委
10	大手3丁目10	市営駐車場	市営駐車場建設	1992			弥生土器、土師器、珠洲焼、施釉陶器、灯明皿	市教委
11	中央1丁目7-15	北陸銀行	新築工事	1993	堀、石垣、溝 柱穴一縄文	屋敷地	土師質土器、漆椀、建築部材、木簡、縄文土器	市教委
12	中央1丁目21	柴田神社	公園整備	1993	石垣、溝、土坑、柱穴、石列、石組	舟蔵門	天目茶碗、越前焼甕、ミニチュアバンドコ、赤瓦、瓦、灯明皿	市教委
12	中央1丁目21	柴田公園	公園整備事業	1996	土橋、門跡、排水溝、堀、石垣	堀	陶磁器、越前焼、古銭	市教委
12	中央1丁目21	柴田公園	柴田公園整備事業	1997	柱穴、溝、礎石	屋敷地(南の外曲輪)		市教委
12	中央1丁目21	柴田公園	柴田公園整備事業	1998	石垣、土居、土橋、道路、門跡	屋敷地、堀(百間堀など)日向門		市教委
12	中央1丁目21	柴田公園	公園整備事業	2000	堀、石垣			市教委
13	宝永3丁目1-1	国際交流会館	国際交流会館建設	1994	溝、柱穴、ゴミ穴、竹製水道管、道路	屋敷地	陶磁器、土師質土器、木製品、石製品、金属製品	県
14	中央3丁目、順化1丁目	市営地下駐車場	市営地下駐車場建設	1994	礎石、柱穴、井戸、石製暗渠、ゴミ穴、井戸、溝、柱穴一古代	屋敷地(西の外曲輪)	陶磁器、灯明皿、瓦、銅銭、バンドコ、キセル、漆椀、箸、木簡、武具、須恵器、土師器、銅銭、墨書土器	市教委
15	大手3丁目12-7	個人住宅	店舗建替え工事	1994	石垣	西の大外曲輪		市教委
16	大手3丁目15-9	森八大名園	新築工事	1995	建物跡、暗渠排水	屋敷地	陶磁器、灯明皿、木製品(箸、漆椀、荷札など)、古銭	市教委
17	大手3丁目17-1	県庁(駐輪場)	非常用予備発電装置燃料 タンク増設工事	1995	石垣	本丸	陶器、土師質土器、中国製染付、赤瓦、軒丸瓦、焼塩壺、バンドコ	県(立会)
18	順化1丁目17-20	個人住宅	店舗建替え工事	1995	石垣	西の大外曲輪		市教委
19	順化1丁目6-16	個人住宅	店舗建替え工事	1994、'95	石垣・堀	西の大外曲輪		市教委
20	中央2丁目	三谷館保育園	三谷館保育園新築工事	1995	道路跡、ゴミ穴	屋敷地	陶磁器、灯明皿、越前焼播鉢・甕、瓦など	市教委
21	宝永3丁目他	さくら通り 光明寺用水①	県営水環境整備事業	1996	堀、石垣、柱穴、土坑、井戸、柱穴、土坑一中世・律令	芝原用水、屋敷地	陶磁器、土師質土器、赤瓦、瓦、墨書土師皿 須恵器、土師器	県
22	宝永1丁目	宝永清川線	宝永清川線及び福井駅付近連続立体交差	1996	道路跡、水路、柱穴、溝、ゴミ穴、木製導水管	屋敷地	陶磁器、灯明皿、古銭、櫛状木製品	市教委
22	宝永1丁目2	宝永清川線	宝永清川線及び福井駅付近連続立体交差	1997	堀、土居、道路、建物跡	屋敷地、堀(外堀)(外曲輪の北東隅)		市教委
22	宝永1丁目	宝永清川線	宝永清川線及び福井駅付近連続立体交差	1998	道路、水路、柱穴	屋敷地		市教委
22	宝永1丁目2	宝永清川線	宝永清川線及び福井駅付近連続立体交差	2001	堀、土居、道路、水路	屋敷地		市保護センター
23	大手1丁目	高架側道4号線	JR北陸線外2線連続立体交差事業及び高架側道4号線街路事業	1996	道路跡、溝、柱穴、ゴミ穴、土坑、井戸、竹製水道管	屋敷地	陶磁器、土師質土器、越前焼、中国製染付、木簡、漆塗椀、下駄、箸など	県
23	大手1丁目	高架側道4号線	JR北陸線外2線連続立体交差事業及び高架側道4号線街路事業	1997	堀、石垣、道路、井戸	屋敷地(外曲輪の北東部)		県
23	大手1丁目	高架側道4号線	JR北陸線外2線連続立体交差事業及び高架側道4号線街路事業	1998	石垣、道路、門跡	屋敷地		県
24	宝永4丁目	仁愛女子高校	仁愛女子高校校舎建て替え	1997	石垣、石組水路、溝、土抗	屋敷地、神社?(外曲輪の北西部)		市教委
24	宝永4丁目9	仁愛女子高校	学校整備事業	2010	掘立柱建物、水溜り、ゴミ穴	屋敷地	鋳造遺物、伊万里、唐津、越前焼、土師質皿、箸	市保護センター
24	宝永4丁目	仁愛女子高校	仁愛女子高等学校整備事業	2012	ゴミ穴、石垣	社寺	瓦、石塔	市保護センター
25	宝永3丁目	福井市立郷土歴史博物館	公共施設建設	1997	堀、土橋、道路、石垣、門跡	屋敷地、堀、舎人門(北の外曲輪中央北部)		市教委
25	宝永3丁目14	福井市立郷土歴史博物館	公共施設建設	1998	礎石	屋敷地		市教委
25	宝永3丁目14ほか	福井市立郷土歴史博物館	公共施設建設	1999	堀、土橋、道路、石垣、門跡	舎人門		市教委
25	宝永3丁目14ほか	福井市立郷土歴史博物館	公共施設建設	2000	堀、土橋、道路、石垣、門跡	舎人門		市教委
26	中央3丁目4-20		ホテル建設	1999				市教委
27	中央1丁目	福井駅跨線橋	福井駅付近連続立体交差事業(跨線人道橋新設工事)	1997	礎石、堀	屋敷地(中の馬場)		県
28	大手1丁目1		(店舗建て替え)工事立会	1997	石垣	堀、屋敷地		県
29	宝永1丁目	光明寺用水②	県営水環境整備事業	1998	水路	芝原用水		県
29	大手3丁目、宝永1丁目	光明寺用水②	県営水環境整備事業	1999	水路			県
30	宝永3丁目	さくら通り	電線共同溝整備・電線地中化等	1998	石垣			県
31	日之出2丁目		ガス管布設替工事	1998	堀跡			市保護センター
32	中央2丁目	高架側道5号線	JR北陸線外2線連続立体交差事業及び高架側道5号線街路事業	1998	石組井戸、ゴミ穴、溝	屋敷地(南の外曲輪南端)		県
32	中央2丁目	高架側道5号線	JR北陸線外2線連続立体交差事業及び高架側道5号線街路事業	1999	道路、溝、土抗、井戸、礎石、土抗 中世一火葬墓 律令一柱穴			県
32	中央2丁目	足羽川右岸	福井駅付近連続立体交差(橋梁部)	1999	道路、埋壘、手水	屋敷地(南の外曲輪南端)		県
33	豊島1丁目	豊島地下道	福井駅付近連続立体交差(豊島地下道延伸工事)	1998	道路	大野街道		県
33	豊島1丁目	豊島地下道	福井駅付近連続立体交差(豊島地下道延伸工事)	1999	石列	町屋		県
34	手寄1丁目6-9~12		福井駅周辺土地区画整理事業	1999				市教委
35	日之出1丁目	木田橋通り(東口都心環状線)	福井駅周辺土地区画整理	2000	堀、柱穴列	屋敷地(中の馬場)、堀		市教委
35	日之出1丁目	福井駅周辺	福井駅周辺土地区画整理事業	2001	柱穴、溝、池	屋敷地(中の馬場)		市保護センター
35	大手2丁目、中央1丁目、日之出1丁目	福井駅周辺	福井駅周辺土地区画整理	2002	溝、瓦溜り(火災処理に係わる)	屋敷地(中の馬場)		市保護センター
35	豊島1丁目9	木田橋通り	福井駅周辺土地区画整理事業	2004	道路、溝、井戸、石畳	屋敷地(東の大外曲輪)		市保護センター
35	中央1丁目・手寄1丁目	駅前道路拡幅	福井駅周辺土地区画整理事業	2008	道路、井戸、ゴミ穴、礎石	屋敷地		市保護センター
35	手寄1丁目38、中央1丁目1	北の庄線、東口交通広場、東口南線	福井駅周辺土地区画整理事業	2005	堀、井戸、池	屋敷地		市保護センター

	調査地		原因	調査年度	遺構		遺物	調査主体
36	大手2丁目ほか	福井駅	福井駅付近連続立体交差	2000	石垣、道路、石組み溝、礎石	屋敷地、堀、町屋		県
36	大手2丁目ほか	福井駅	福井駅付近連続立体交差	2001	石垣、道路、柱穴、溝、池	屋敷地、堀		県
36	大手2丁目	福井駅	福井駅付近連続立体交差	2002	土橋、石垣	堀(百間堀)		県
37	宝永1丁目	光明寺用水③	県営水環境整備事業	2000	水路			県
38	大手3丁目	福井駅前線、大名町交差点	地下道改修工事	2001	道路			県
39	大手2丁目	三の丸地区	福井市三の丸地区第一種市街地再開発事業	2001	石垣	屋敷地(二の丸)		市保護センター
39	大手2丁目3		三の丸地区開発事業	2001				市保護センター
40	大手22-28	さくら通り	県教育センター建て替え工事	2001	石垣	屋敷地(三の丸)、堀		市保護センター
41	大手3丁目1201-1		店舗建設	2008				市教委
	大手3丁目、順化1丁目地係		下水管移設工事	2001				市教委
42	手寄1丁目	東口商業ビル建設	手寄地区市街地再開発事業	2002	堀、石垣、土居、門柱	屋敷地(中の馬場)桜木門、堀		市保護センター
42	手寄1丁目	東口商業ビル建設	手寄地区再開発事業	2003	掘立柱建物、井戸、溝	屋敷地		市保護センター
42	手寄1丁目4		手寄地区再開発事業	2004	溝、井戸、大型土坑、柱穴	屋敷地(東の外曲輪)		市保護センター
43	大手2丁目ほか	福井駅前線	特定交通安全施設など(第2種)および福井駅前地下駐車場(仮称)整備事業	2002	百間堀	屋敷地(三の丸)堀(百間堀)		県
43	大手2丁目	福井駅前線	特定交通安全施設など(第2種)および福井駅前地下駐車場(仮称)整備事業	2003	百間堀	屋敷地(三の丸)堀(百間堀)		県
43	大手2丁目	福井駅前線	福井駅前地下駐車場(仮称)整備事業	2006	石垣			県
44	中央1丁目	西口再開発	福井駅西口中央地区市街地再開発	2009	溝、井戸、ゴミ穴、柱穴	屋敷地		市保護センター
45	中央1丁目1、手寄1丁目地係	6-1号線など	福井駅周辺土地区画整理事業	2003	道路、堀、堀、土居	屋敷地		市保護センター
46	豊島1丁目	足羽川右岸線	足羽川右岸線整備事業	2004	道路、土坑、柱穴 律令-土坑、柱穴、溝	屋敷地		県
46	豊島1丁目	足羽川右岸線	足羽川右岸線整備事業	2006	道路、堀、井戸、礎石列 平安時代-包含層	屋敷地		県
47	中央1丁目	城の橋通り	高架排水事業	2004	石垣	堀、屋敷地		県(立会)
47	中央1丁目、豊島1丁目	城の橋通り	道路改良工事	2004	礎石、柱穴、溝	屋敷地		県(立会)
48	豊島1丁目9	豊島木田線1・2区	福井駅周辺土地区画整理事業	2004	道路跡	屋敷地		市保護センター
49	大手2丁目		北陸新幹線福井駅部	2005	溝、井戸、大型土坑、柱穴	屋敷地(中の馬場)		県
49	大手1・2丁目、宝永1丁目	駅周辺	北陸新幹線福井駅部	2006	堀、土橋、土居、道路、溝、園地、土坑、井戸、柱穴 古墳~平安時代-溝、柱穴 室町~安土・桃山時代-井戸・掘立柱建物	堀、屋敷地		県
49	宝永1丁目	駅周辺	福井駅付近連続立体交差事業	2006	堀、道路、石組水路、洗い場、柱穴、土坑	堀、屋敷地		県
49	大手2丁目	駅周辺	福井都市計画事業 福井駅周辺土地区画整理事業	2006	堀、土坑、溝、石積井戸、柱穴	屋敷地		県
50	日之出1丁目、中央1丁目	東口都心環状線、西口交通広場	福井駅周辺土地区画整理事業	2006	道路、井戸、土坑、溝	屋敷地(東の外曲輪)		市保護センター
50	中央1丁目1	福井ステーションビル跡地	福井駅周辺土地区画整理事業	2009	道、ゴミ穴	屋敷地		市保護センター
51	手寄1丁目9	城の橋通り	街路整備工事	2006	石垣			県
52	日之出1丁目7		福井駅周辺土地区画整理事業	2006				市教委
53	大手3丁目	県庁	御廊下橋	2007	石垣、橋脚	御廊下橋		県
54	大手3丁目11-17	県民会館	福井県民会館解体工事	2012	石垣、堀			県(立会)
55	中央2丁目	泉橋	足羽川河川激甚災害対策特別緊急事業	2007	礎石、堀、石垣、井戸	屋敷地	伊万里、唐津、越前焼、土師質皿、漆器椀、下駄	県
56	日之出1丁目17	東大通	東口都心環状線9区	2005	石垣抜き取り痕			市保護センター
57	中央2丁目9	泉橋	佐佳枝ポンプ場排水渠建設工事	2007、'08	石垣			市保護センター
58	宝永3丁目301、324、332-1、323、333		店舗建設工事	2007				市教委
59	大手2丁目305、330-1、331		共同住宅建設	2007~2009				市教委
60	大手2丁目13-11		個人住宅新築工事	2008				市教委
61	大手1丁目910		遺跡確認調査	2009				市教委
62	手寄1丁目9-18		福井駅周辺土地区画整理事業	2009				市教委
63	大手2丁目607-1		個人住宅新築工事	2010				市教委
64	大手2丁目5-1		店舗建設	2011				市教委
65	大手2丁目315		遺跡確認調査	2012				市教委
66	大手2丁目		試掘	2012	石垣	堀		県
67	大手3丁目10-1	中央公園	中央公園における福井城跡の確認調査	2012	石垣、礎石、	屋敷地・堀		市保護センター

福井県埋蔵文化財調査センター作成、福井市文化財保護センター協力



福井城跡調査地点図 (縮尺 1/2500)

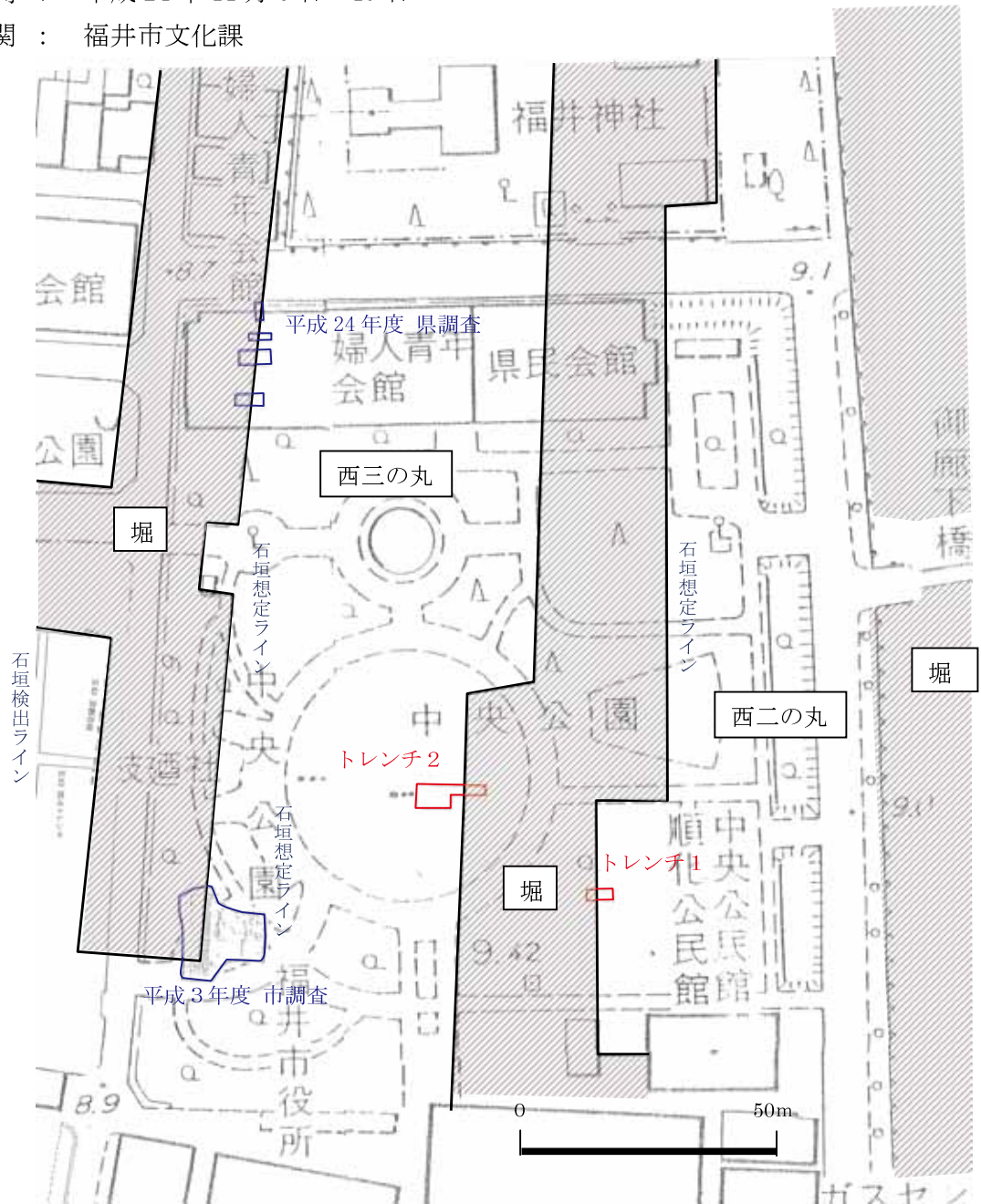
凡例	
石垣	緑
堀	青
道路	赤
土層	紫
川	水色
検出遺構	緑
推定ライン	黄



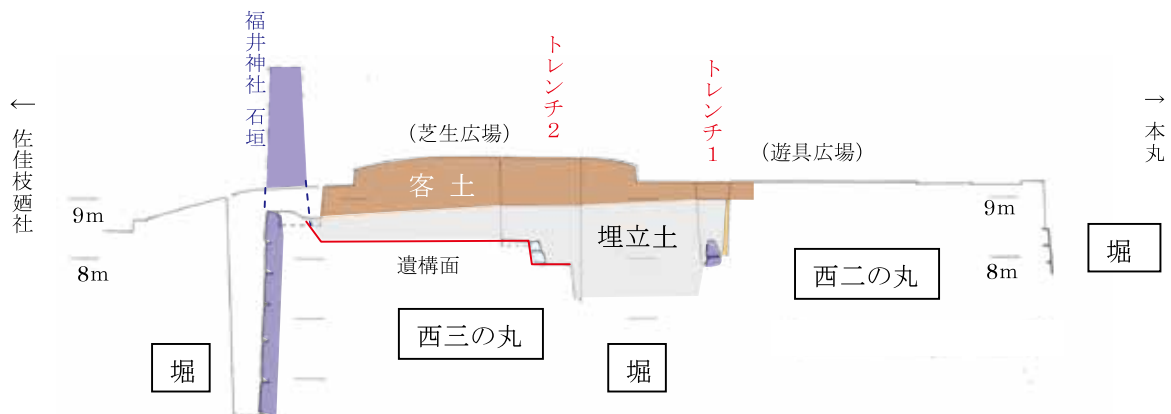
### 第3節 中央公園における福井城跡確認調査

○調査期間 : 平成24年11月5日～19日

○実施機関 : 福井市文化課



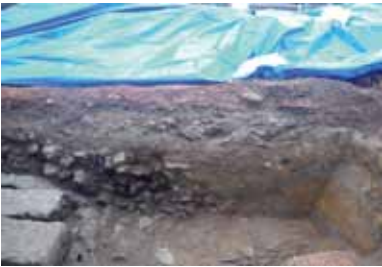
第1図 調査トレンチ位置図



第2図 調査地断面図

## ○トレンチ1 調査結果

- ・現地表から約1m下（標高約7.2m）で石垣を検出
- ・石垣の残存段数は不明。調査では2段までを確認
- ・石垣に刻印あり
- ・もとは高石垣であったと思われる
- ・トレンチ東端で土居跡を確認



北壁土層堆積状況（南から）



刻印（上が堀）



石垣出土状況（西から）

## ○トレンチ2 調査結果

- ・石垣は取り除かれ、正確な堀の位置は不明
- ・西側では地表-1.2m（標高8.0m）で遺構面を確認
- ・遺構には南北に延びる石列のみを確認
- ・御座所絵図と対照すると、石列は道と屋敷の境に位置する堀跡と推定される



石列検出状況（北から）。



石列検出状況（東から）。手前の石列より奥が屋敷内にあたる。

## ○まとめ

- ・西二の丸の東西幅は約56m（約31間）である
- ・平成3年度に福井市、平成24年度に福井県が実施した調査から西三の丸東面の石垣方向や位置は判明する。今回、西面にあたるトレンチ2では石垣の位置を確定できなかったが、西三の丸の東西幅は約50m（約28間）を推定
- ・西二の丸、三の丸間の堀幅は約25m（14間）を推定（『福井分間之図』には13間と記載）
- ・調査の結果、堀跡と推定できる石列は御座所に伴う遺構と考えられる

## 第4節 史料目録

福井城に関する記載がある史料

松平文庫関係史料等(福井県立図書館保管)

【絵図類】

番号	資料番号	史料名	寸法(cm)	備考
1	1177 (M71 口-1)	越前国絵図〔慶長年間〕	226×276	国絵図
2	1309 (M73 -1)	(北之庄城郭図)[慶長年間]	143×140	城下図
3	1311 (M73 -3)	北ノ庄城郭図	167×167	城下図
4	1312 (M73 イ-1)	(御城下四ツ割図)[慶長年間]	260×238	城下図
5	1314 (M73 -4)	(御城下之図)	135×143	城下図
6	1315 (M73 ハ-1)	(御城之図)	163×130 (軸装)	城下図
7	1316 (M73 イ-4)	(寛文九年福井城焼失之絵図)	280×235	城下図
8	1317 (M73 ハ-3)	(御城下之図) 寛文一〇年	150×135 (軸装)	城下図
9	1318 (M73 -5)	御城下之絵図〔寛文九年大火後ノ図〕	135×147	城下図
10	1319 (M73 ハ-2)	御城下絵図〔寛文年間〕	138×133 (軸装)	城下図
11	1320 (M73 イ-5)	福居御城下絵図 貞享二年	282×317	城下図
12	1321 (M73 口-1)	(御城下之図)	288×310	城下図
13	1322 (M73 イ-3)	(御城下之図)(貞享二年)	255×241	城下図
14	1323 (M73 -6)	御城下絵図別記(貞享二年)	3冊	城下図
15	1324 (M74 -1)	越前国福井庄城絵図 元禄一六年	90×105	城下図
16	1325 (M73 口-2)	御城下之絵図 正徳四年	285×320	城下図
17	1326 (M73 -7)	御城下絵図別記 正徳四年	3冊	城下図
18	1328 (M73 -9)	御城下惣町間数帳(正徳四年)	1冊	城下図
19	1330 (M73 口-3)	松平千次郎領知越前国福井城下家中寺社并町絵図 享保一〇年	208×208	城下図
20	1332 (M73 -11)	福井城下ノ絵図〔享保年間〕	127×144	城下図
21	1333 (M73 イ-6)	(御城下之図)[享保年間]	286×318	城下図
22	1335 (M73 -13)	福井御城下絵図〔享保年間〕	160×191	城下図
23	1336 (M73 -14)	(御城下絵図) 安永四年	230×217	城下図
24	1337 (M73 口-5)	福井分間之図 田辺利忠・跡部敏勝 享和三年	306×282	城下図
25	1338 (M73 口-6)	(福井分間之図)	306×269	城下図
26	1339 (M73 -15)	福井城下之図	258×287	城下図
27	1340 (M73 口-7)	福井分間之図 中村清綿 文化八年	290×302	城下図
28	1341 (M74 -4)	(福井城図)	26×33	城下図
29	1342 (M73 -16)	(御城下之図)	232×228	城下図
30	1343 (M74 -2)	越前国福井城絵図	94×104	城下図
31	1344 (M74 -3)	越前福井城之図	105×94	城下図
32	1345 (M73 -18)	越前福井城并城下之図古図	129×138	城下図
33	1346 (M73 -17)	(福井町内桑園地絵図)(明治二〇年)	91×103	城下図
34	1348 (M74 -6)	越前国福井旧城郭地全図(明治二三年)	145×197	城下図
35	1361 (仮 496)	御天守絵図	1枚	御天守絵図
36	1362 (M74 -22)	御本丸御絵図 文政六年	172×162	御本丸絵図
37	1363 (M74 -23)	御本丸指図 文政一三年	162×163	御本丸絵図
38	1364 (M74 -25)	天保二卯年出来御本丸御住居中之図	137×149	御本丸絵図
39	1365 (M74 -28)	御本丸御絵図 嘉永元年	160×161	御本丸絵図
40	1366 (M74 -24)	御本丸御絵図 御用部屋	75×91	御本丸絵図
41	1367 (M74 -13)	火事以前御本丸御指図	122×130	御本丸絵図
42	1368 (M74 -14)	御本丸御差図	154×155	御本丸絵図
43	1369 (M74 -15)	福井城本丸御建物図	120×125	御本丸絵図

番号	資料番号	史料名	寸法 (cm)	備考
44	1370 (M74-16)	福井城本丸御建物図	114×110	御本丸絵図
45	1371 (M74-26)	御本丸御殿ノ図	167×200	御本丸絵図
46	1372 (M74-27)	越前福井御本丸御建物図	116×112	御本丸絵図
47	1373 (M74-17)	(本丸御建物図)	98×111	御本丸絵図
48	1375 (M74-19)	(本丸御建物図)	113×111	御本丸絵図
49	1377 (M74-21)	(本丸御建物図)	170×160	御本丸絵図
50	1379 (M74-32)	御座所御絵図 御作事所 弘化四年	75×216	御座所絵図
51	1380 (M74-33)	越前国御座所三ノ丸御屋形ノ図 (文久三年)	165×210	御座所絵図
52	1381 (M74-34)	(越前国御座所三ノ丸御屋形ノ図)	165×210	御座所絵図
53	1382 (M74-31)	越前福井二ノ丸御座所之図	56×123	御座所絵図
54	1383 (M74-30)	(御座所絵図)	77×238	御座所絵図
55	1384 (M74-41)	(二ノ丸指図)	112×83	御座所絵図
56	1385 (M74-40)	二ノ丸御風呂屋之指図	72×53	御座所絵図
57	1386 (仮 494)	御泉水指図 御作事所 文政六年	136×160	御泉水絵図
58	1387 (M74-37)	越前福井泉邸ノ図	70×40	御泉水絵図
59	1388 (仮 495)	(泉邸絵図)	袋入4枚	御泉水絵図
60	1391 (M74-39)	慶永様御簾中様越前福井御住所二付本多源四郎宅仮御殿之図 (文久三年)	111×106	明治期諸図
61	1392 (M74-35)	城町邸御新築目論見絵図 明治二七年	80×240	御座所絵図
62	1393 (仮 467)	明治二七年六月以来福井表新築諸絵図并見積書類	2綴・1枚	明治期諸図
63	1394 (仮 341)	(福井表新築諸絵図) (明治二八年)	3枚・1綴	明治期諸図
64	1395 (M74-36)	福井市城町御住居絵図 松平家務所 明治二九年	35×89	明治期諸図
65	1396 (仮 376)	福井城地世襲財産二御届出相成節城地調査絵図 明治三一年	156×190	明治期諸図
66	1397 (仮 421)	(明治期諸絵図)	2枚	明治期諸図

※史料名等は、「松平文庫福井藩史料目録」(福井県立図書館、1989年)による

#### 【文献類】

番号	資料番号	史料名	寸法	備考
1	201-9 (仮 487)	[貞享絵図および舟橋覚書]	5コマ	
2	637 (M42-36)	御門下馬太鞍切手御定書	28コマ	
3	649 (M42-7)	執法秘録	326コマ	
4	653 (M42-11)	御城下諸事之部	98コマ	
5	654 (M42-12)	御国他国諸事之部	102コマ	
6	655 (M42-13)	御門御櫓之部	100コマ	
7	663 (M42-21)	恐悦之部御出殿之部文武諸芸之部	81コマ	
8	664 (M42-22)	天災之部御普請之部屋敷之部	91コマ	
9	680 (M54-1)	諸御礼式	61コマ	
10	681 (M54-2)	寛永十五寅正月隆芳院様御代之帳	10コマ	
11	682 (M54-3)	年始亥猪節分御帰城御発駕御規式帳	43コマ	
12	683 (M54-4)	御本丸諸士出仕次第	22コマ	
13	684 (M54-5)	高知席年中行事	50コマ	
14	685 (M54-6)	御本丸御間所座配図 荒川直方 天保三年	57コマ	
15	686 (M54-7)	(御本丸御間所座配図)	17コマ	
16	687 (M54-8)	御座所御間所座配図 御右筆部屋 弘化三年	26コマ	
17	688 (M54-9)	孫年始御礼并月次御礼席 文政五年	14コマ	

番号	資料番号	史料名	寸法	備考
18	689 (M54-10)	隠居席合調 嘉永三年	9コマ	
19	690 (仮638)	(御礼式)(明治二年)	4コマ	
20	703 (M43-13)	与力番所書付写	46コマ	
21	704 (M43-16)	御櫓御門所附	8コマ	
22	734 (M43-15)	(福井藩諸組之由来御門御定書)	25コマ	
23	754 (M34-8)	旧御本丸御建物福井中学校	5コマ	
24	797 (M35-4)	寛文九酉年大火之節類焼所附	6コマ	
25	798 (M35-3)	御焼失後御普請出来場所 寛文三年	12コマ	
26	799 (M35-2)	寛文十二子年御城廻り御普請二付御家老中始御用懸り御役人中江江戸表より岩村門右衛門を被遣候節御意之趣之写	11コマ	
27	800 (M35-5)	八月二十日大風雨二而大橋高欄損御修覆一向留帳(寛政三年)	9コマ	
28	801 (M35-6)	桜御門御普請御作事方諸事留	18コマ	
29	802 (仮639)	大風雨二付御損所并御家中初其餘委細達書写	324コマ	
30	803 (M43-5)	御門所古格并故障在之被仰出之留	32コマ	
31	804 (M35-7)	城郭百間濠東ノ方弁慶櫓西ノ方石垣大修繕諸費留帳(明治三四年)	42コマ	
32	1451 (M25-21)	(下馬御門内御飭)	10コマ	
33	1454 (M75-21)	県庁絵図	6コマ	
34	1488 (仮411)	城町地ノ内佐佳枝廼社江寄附并貸地図	5コマ	
35	1624 (8-2)	温古集(寺嶋知義)5冊	592コマ	

※史料名等は、「松平文庫福井藩史料目録」(福井県立図書館、1989年)による

※文献類の寸法欄には、史料撮影のコマ数を記載

越葵文庫・春嶽公記念文庫関係史料等(福井市立郷土歴史博物館保管)

【越葵文庫】

番号	史料名	寸法(cm)	備考
1	(北庄家中図)	134×126	寺島知義写
2	(北庄家中図)	127×121	秋田勝季写
3	(福井城下絵図、寛文十年写)	123×138	寺島知義写、寛文大火以前
4	(福井城下絵図「貞享元年之図」)	92×103	寺島知義写
5	福井城郭各御門其他見取絵	30×1060	25場面より構成
6	福井温故帖	27×18	以下の他、6場面
	本丸登城之図		
	(百間堀・下馬御門)		
	藩政時代大名町通		
	桜御門之図		
	(隅御櫓・宗像宮)		
	(東照御宮・泉蔵院)		
	御泉水之図		史料2点
	(百間堀)		
	御花鳥より百間堀城郭眺望の略図		
	毛矢操船之図		
	(九十九橋北詰)		
	桜馬場之図		
	(中嶋堀)		
	(馬威し)		
	調練場之図		

【春嶽公記念文庫】

番号	史料名	寸法(cm)	備考
1	福井城下眺望図	54×112	
2	春嶽公記念文庫作成影写史料		以下内訳、春文解説目録より
	忠昌公・光通公御代御代絵図御家中福井之図	110×105	
	福井城下絵図	79×94	文政2年写、天方友成
	福井城内御勘定所絵図	55×80	
3	明治初年福井城郭写真	—	以下内訳、春文解説目録より
	三ノ丸より撮影の二ノ丸・本丸遠景	—	
	本丸巽三重隅櫓	—	
	本丸御廊下橋遠景	—	
	本丸瓦門及御本城橋	—	
4	明治初年福井城下写真	—	以下内訳、春文解説目録より
	九十九橋	—	
	九十九橋北詰高札場	—	
	明新館外人教師居館	—	
	浜町時鐘所	—	
	大馬出前取締出張所	—	本町出角
	番所	—	太鼓門
5	愛宕山から撮影した福井城下古写真	—	春文解説目録外、史料3点

※括弧書きの史料は、題名がないため、便宜的に史料の内容を表記

松平文庫、越葵文庫、春嶽公記念文庫以外の史料

番号	所蔵者	史料名	寸法 (cm)	備考
1	福井県立図書館	福井城舊景	—	
2	福井県立歴史博物館	越前国北之庄御城下絵図	131 × 143	慶長年間
3	福井県立歴史博物館	福井城下切絵図	19 × 363	
4	福井県立歴史博物館	福井城下絵図	112 × 80	明治初年写
5	福井市立郷土歴史博物館	北庄家中図	164 × 164	嘉永6年山崎英繁写
6	福井市立郷土歴史博物館	福居城下絵図 (貞享元年)	93 × 125	嘉永5年山崎英繁写
7	福井市立郷土歴史博物館	福井城下絵図 (寛政年間)	69 × 51	旧市図書館時代の写か
8	福井市立郷土歴史博物館	福井分間之図 (文化年中)	187 × 97 248 × 79 248 × 78	嘉永6年山崎英常写
9	福井市立郷土歴史博物館	福井城下絵図	57 × 49	安政3年鈴木拾五郎作成
10	国立公文書館	〔日本分国絵図〕 越前福井城図写	81.6 × 83.6	
11	神戸市立博物館	福井城下図	111 × 109	
12	三井文庫	越前国福井城図写	109 × 122	元禄6年
13	三井文庫	越前福居城之図	162 × 193	
14	岩瀬文庫	福井城図	135 × 141	
15	浅野文庫	福井城下絵図	27.7 × 40.0	天和2～3年
16	蓬左文庫	越前福居城図写	127 × 158	慶長期、享保元年写
17	高橋 好視	御城之図	66.6 × 82.5	
18	高橋 好視	福井御城下絵図	54.5 × 61.0	安政4年
19	辻川 利雄	越前福井御城下大法之図	115 × 122	天保14年写
20	田代 清痴	福井御城下絵図	89.4 × 98.9	
21	柳廼社 (越前大野土井家)	福井城下図	111 × 107	
22	明治大学図書館	安政前後福井城下之図	91.2 × 117	蘆田文庫
23	明治大学図書館	貞享二年福井城下図	288.1 × 251.8	蘆田文庫
24	明治大学図書館	福井御城下之図	77.6 × 73.7	蘆田文庫
25	明治大学図書館	寛文十年福井城下ノ図	65.7 × 73.2	蘆田文庫
26	明治大学図書館	寛文以前之図	109.6 × 117.4	蘆田文庫
27	明治大学図書館	福井御城下之図	92.4 × 117.5	蘆田文庫
28	直井 光男	北庄城 (福井城) 城郭図	105 × 108	
29	森永 和昌	慶長御城下絵図	124 × 123	
30	森永 和昌	天保福井御城下絵図	70 × 90	

# 福井城史料調査委員会 報告書

平成25年3月 発行

発行 福井県総合政策部政策推進課  
〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号  
電話 0776-20-0225

福井市総務部政策調整室  
〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号  
電話 0776-20-5283

印刷 株式会社 国府印刷社  
〒915-0802 越前市北府2丁目12-31  
電話 0778-22-3706